

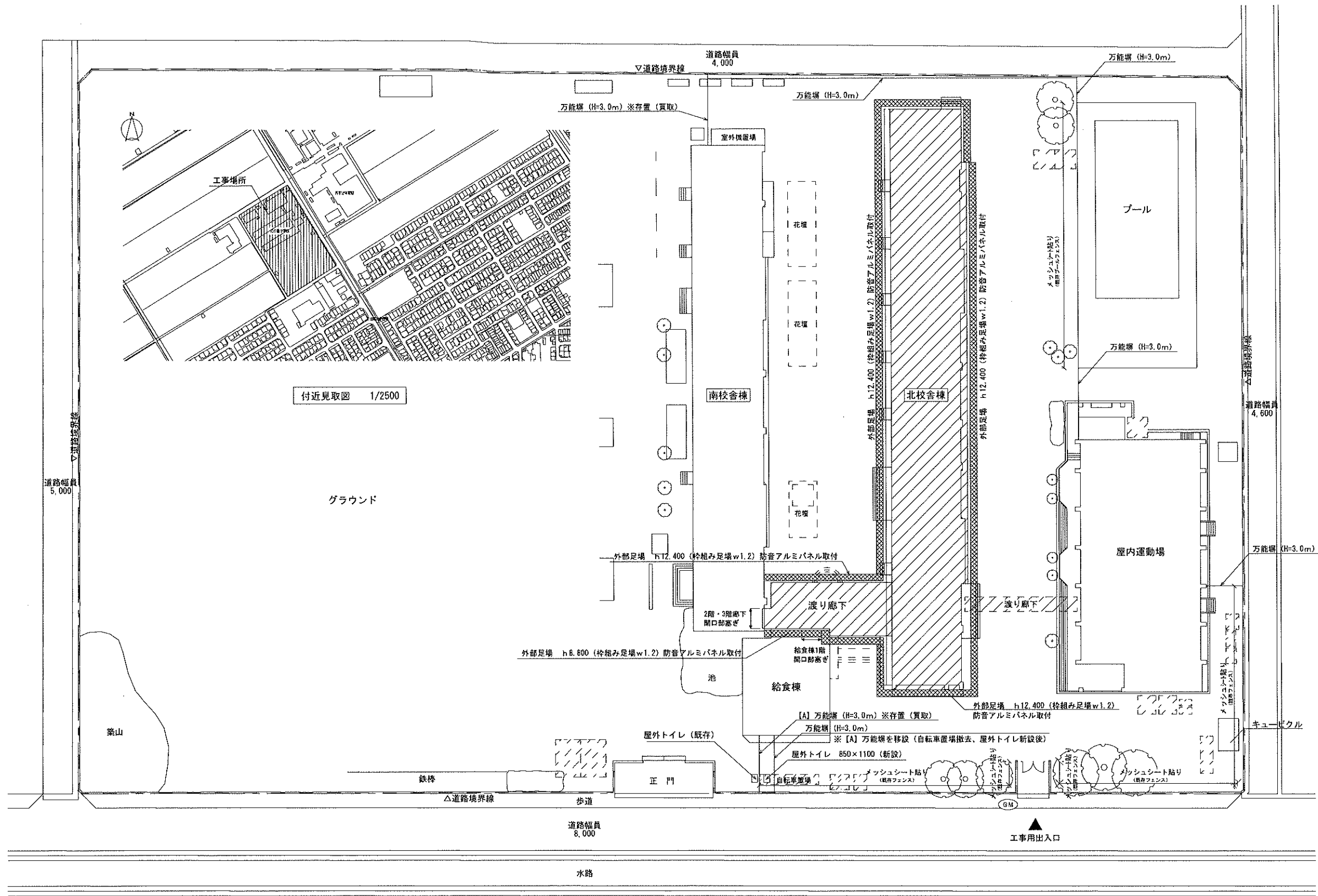
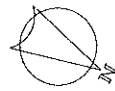
(受学管 8-5) 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙 図面リスト	——	A-26	北校舎 煙突詳細図 (当初建築時) 中庭側屋外階段	1/30	M-01	機械設備工事特記仕様書 - 1	——	E-01	電気設備工事特記仕様書 - 1	
A-01	解体工事特記仕様書	——	A-27	北校舎 基礎リスト	1/50	M-02	機械設備工事特記仕様書 - 2	——	E-02	電気設備工事特記仕様書 - 2	
A-02	アスベスト対策工事仕様書	——	A-28	北校舎 地中梁・柱リスト	1/50	M-03	凡例 衛生器具表	——	E-03	高圧単線結線図 参考図	
A-03	付近見取図 配置図 仮設足場位置図	1/400 1/2500	A-29	北校舎 梁リスト1	1/50	M-04	撤去 給排水 1階平面図	1/200	E-04	分電盤結線図 (1)	
A-04	現況建物等撤去配置図	1/400	A-30	北校舎 梁リスト2	1/50	M-05	撤去 給排水 2階平面図	1/200	E-05	分電盤結線図 (2)	
A-05	現況仕上表-1	——	A-31	北校舎 床・壁リスト	1/50	M-06	撤去 給排水 3階平面図	1/200	E-06	電気設備 改修外構図	1/300
A-06	現況仕上表-2	——	A-32	北校舎 既設耐震耐板内蔵コンクリート構造ブレースリスト	——	M-07	撤去 給排水 屋上階、塔屋階平面図	1/200	E-07	キュービクル廻り 平面図	1/50
A-07	北校舎 1階、2階平面図	1/200	A-33	北校舎 基礎・1階柱・2階梁伏図	1/200	M-08	北校舎 1、2、3階便所平面詳細図	1/50	E-08	幹線系統図・幹線リスト	
A-08	北校舎 3階平面図	1/200	A-34	北校舎 2階柱・3階梁図 3階柱・R階梁伏図	1/200	M-09	系統図及び給食室平面図	1/200	E-09	幹線・動力設備 1階平面図	1/200
A-09	北校舎ほか 屋上平面図	1/200	A-35	北校舎 軸組図 Y1通り・Y2通り	1/200	M-10	北校舎 塔屋上部 高架水槽	1/20	E-10	幹線・動力設備 2階平面図	1/200
A-10	北校舎 普通教室 平面詳細図 展開図	1/50	A-36	北校舎 軸組図 Y3通り	1/200	M-11	ガス設備 1階 撤去平面図	1/200	E-11	幹線・動力設備 3階平面図	1/200
A-11	北校舎 普通教室 床伏図	1/100	A-37	北校舎軸組図 X1～X12通り	1/200	M-12	空調機器表	——	E-12	幹線・動力設備 R階平面図	1/200
A-12	北校舎 ランチルーム 平面詳細図	1/50	A-38	北校舎 既設耐震補強部 基礎伏・基礎詳細図	1/200	M-13	撤去 空調 系統図	——	E-13	照明器具姿図	
A-13	北校舎 ランチルーム 軸組図 8通り	1/50	A-39	北校舎 既設耐震補強部詳細図	1/200ほか	M-14	撤去 空調 1階平面図	1/200	E-14	電灯設備 1階平面図	1/200
A-14	北校舎 ランチルーム 展開図	1/50	A-40	渡り廊下 (北校舎～南校舎) 平面・立面図	1/200	M-15	撤去 空調 2階平面図	1/200	E-15	電灯設備 2階平面図	1/200
A-15	北校舎 1階、2階天井伏図	1/200	A-41	渡り廊下 (北校舎～南校舎) 断面詳細図	1/50	M-16	撤去 空調 3階平面図	1/200	E-16	電灯設備 3階平面図	1/200
A-16	北校舎 3階天井伏図 塔屋階天井伏図	1/200	A-42	渡り廊下 (北校舎～南校舎) 基礎・梁リスト	1/50	M-17	屋外給水配管図	1/400	E-17	コンセント設備 1階平面図	1/200
A-17	北校舎 既設便所 平面詳細図・天井伏図	1/100ほか	A-43	渡り廊下 (北校舎～南校舎) 柱・梁・床・壁リスト	1/50				E-18	コンセント設備 2階平面図	1/200
A-18	北校舎 北側立面図	1/200	A-44	渡り廊下 (北校舎～南校舎) 基礎・1・2・3階柱・2・3・R階梁伏図	1/200				E-19	コンセント設備 3階平面図	1/200
A-19	北校舎 西側・東側・南側立面図	1/200	A-45	渡り廊下 (北校舎～南校舎) 軸組図 B・C・D 通り 9.10通り	1/200				E-20	放送・TV・インターネット設備 1階平面図	1/200
A-20	北校舎 既設建具リスト1	1/50	A-46	渡り廊下 (北校舎～体育館) 詳細図	1/100ほか				E-21	放送・TV・インターネット設備 2階平面図	1/200
A-21	北校舎 既設建具リスト2	1/50	A-47	南校舎2・3階平面図 給食棟平面図 (地下開口部閉塞箇所図)	1/200ほか				E-22	放送・TV・インターネット設備 3階平面図	1/200
A-22	北校舎 屋上 防水納まり図等	1/25							E-23	自火報設備 1階平面図	1/200
A-23	北校舎 矩計詳細図	1/50							E-24	自火報設備 2階平面図	1/200
A-24	北校舎 矩計詳細図 (耐震補強部)	1/30							E-25	自火報設備 3階平面図	1/200
A-25	北校舎 階段矩計図	1/50									

特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所 411-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生			製図年月日		工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺	図面番号 No. A-00 号図	
					訂正年月日					
					監修	設計	製図	図面名称 表紙・図面リスト		枚ノ内

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R08.08 訂正年月日			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 図面名称 解体工事特記仕様書	縮尺	図面番号	
							No.	A-01 号図
								枚/内

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																				
13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	①適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 ● アスベスト含有吹付け材除去工事（軒裏下地調整材） ● 除去工法（ 集塵装置付き超高压水洗工法 湿式集じん装置付きすゝみ（サグ）工法） ○ 封じ込め工法（ ） ○ 囲い込み工法（ ） ● アスベスト含有保温材等除去工事 ○ アスベスト含有成形板除去工事 施工にあたっては、「大気汚染防止法（昭和43年法律97号）」「労働安全衛生法（昭和47年法律57号）」「石棉障害予防規則（平成17年厚生労働省令21号）」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）」「建築基準法（昭和25年法律201号）」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（平成12年法律104号）」「京都府建築物の解体等に伴う石棉の飛散防止に関する緊急措置条例（平成17年京都府条例45号）」等、石棉除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。	13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	5 仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示による ○	13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	⑨アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 ※ 図示による ● 煙突内部、北校舎3階給水管保温材 除去の方法 ※ 原形のまま平ばらし ○ 平ばらし以外（この場合は改修仕様9.1.3(a)による隔離とする） ● 集じん装置付き超高压水洗工法（煙突部） 除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様 <table><tr><th>種 類</th><th>種 類</th></tr><tr><td>●石棉保温材</td><td>○石棉含有耐火被覆材</td></tr><tr><td>○石棉含有けいそう土保温材</td><td>○石棉含有けい酸カルシウム板第二種</td></tr><tr><td>○石棉含有バーライト保温材</td><td>○屋根用折板置断熱材</td></tr><tr><td>○石棉含有けい酸カルシウム保温材</td><td>●煙突用断熱材</td></tr><tr><td>○石棉含有水練り保温材</td><td>○塩基性炭酸マグネシウム保温材</td></tr></table> 除去物の処理方法 ※ 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 ○ セメント固化 ○ 溶融固化 除去物等の保管 ※ 他の建設副産物等と分別して保管する。 ※ 飛散防止措置を講ずる。 ※ アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。 ○ 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。	種 類	種 類	●石棉保温材	○石棉含有耐火被覆材	○石棉含有けいそう土保温材	○石棉含有けい酸カルシウム板第二種	○石棉含有バーライト保温材	○屋根用折板置断熱材	○石棉含有けい酸カルシウム保温材	●煙突用断熱材	○石棉含有水練り保温材	○塩基性炭酸マグネシウム保温材	13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	⑩アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 ※ 図示による ○ 除去の方法 ※ 湿潤化したのちに手ばらし ○ 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕 ○ 下地調整材撤去 ○ 改修仕様9.1.3(b)(1)による ● 主工法：集塵装置付き超高压水洗工法 ● 副工法：湿式集じん（スグ）工法 除去を行うアスベスト含有成形板の仕様 <table><tr><th>種 類</th><th>厚 (mm)</th><th>種 類</th><th>厚 (mm)</th></tr><tr><td>○石棉含有スレート</td><td></td><td>○石棉含有ビニル床タイル</td><td>2.0</td></tr><tr><td>○石棉含有けい酸カルシウム板</td><td></td><td>○石棉セメントけい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td>○石棉含有押出成形セメント板</td><td></td><td>○化粧石棉シートけい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td>○石棉含有岩綿吸音天井板</td><td></td><td>●7/16/1/2吹付下地調整剤</td><td></td></tr><tr><td>○石棉含有石膏ボード</td><td>9.5</td><td>○</td><td></td></tr></table> 除去物等の保管 ※ 他の建設副産物等と分別して保管する。 ※ 飛散防止措置を講ずる。 ※ アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。 アスベスト含有石膏ボード（管理型最終処分場における埋立処分）を除くアスベスト含有成形板 ○ 石棉含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地（（財）宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	○石棉含有スレート		○石棉含有ビニル床タイル	2.0	○石棉含有けい酸カルシウム板		○石棉セメントけい酸カルシウム板		○石棉含有押出成形セメント板		○化粧石棉シートけい酸カルシウム板		○石棉含有岩綿吸音天井板		●7/16/1/2吹付下地調整剤		○石棉含有石膏ボード	9.5	○	
	種 類	種 類																																													
	●石棉保温材	○石棉含有耐火被覆材																																													
	○石棉含有けいそう土保温材	○石棉含有けい酸カルシウム板第二種																																													
○石棉含有バーライト保温材	○屋根用折板置断熱材																																														
○石棉含有けい酸カルシウム保温材	●煙突用断熱材																																														
○石棉含有水練り保温材	○塩基性炭酸マグネシウム保温材																																														
種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																												
○石棉含有スレート		○石棉含有ビニル床タイル	2.0																																												
○石棉含有けい酸カルシウム板		○石棉セメントけい酸カルシウム板																																													
○石棉含有押出成形セメント板		○化粧石棉シートけい酸カルシウム板																																													
○石棉含有岩綿吸音天井板		●7/16/1/2吹付下地調整剤																																													
○石棉含有石膏ボード	9.5	○																																													
②法令等の遵守																																															
④石棉含有建材の調査 (1.5.1)	事前調査 ・ 施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・ 施工計画に先立ち、石棉障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石棉含有建材調査者、石棉作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 ※ 図示による ○ 調査事項 ※石棉使用部位の確認 ※石棉層の厚さの確認 ※施工範囲と工事管理区分の確認 ※更衣施設等の仮設計画 ※廃棄物等の撤出方法 アスベスト含有分析 ○ 行う（分析結果を監督職員に提出する） <table><tr><th>材 料 名</th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr><tr><td></td><td>○（箇所数）</td><td>○（箇所数）</td></tr><tr><td></td><td>○（箇所数）</td><td>○（箇所数）</td></tr><tr><td></td><td>○（箇所数）</td><td>○（箇所数）</td></tr><tr><td></td><td>○（箇所数）</td><td>○（箇所数）</td></tr></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル ※JIS A 1481に基づくこと。 ● 行わない 既存の石棉含有建材の調査報告書の貸与 ○ あり ○ なし	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法		○（箇所数）	○（箇所数）		○（箇所数）	○（箇所数）		○（箇所数）	○（箇所数）		○（箇所数）	○（箇所数）	8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)	施工業者 ※ 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 ○ 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について（一財）日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。 除去を行う範囲 ※ 図示による（仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認） ○ 全ての室 ○ 除去工法 ※ 改修仕様9.1.3(b)(1)による ○ 除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様 <table><tr><th>種 類</th><th>種 類</th></tr><tr><td>○吹付け石棉</td><td>○</td></tr><tr><td>○石棉含有吹付けロックウール</td><td>○</td></tr><tr><td>○石棉含有吹付けひる石</td><td>○</td></tr><tr><td>○石棉含有吹付けバーライト</td><td>○</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td></tr></table> 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※ 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 ※ 湿潤化 ○ セメント固化 ○ 溶融固化 除去物等の保管 ※ 他の建設副産物等と分別して保管する。 ※ 飛散防止措置を講ずる。 ※ アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。 ○ 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。	種 類	種 類	○吹付け石棉	○	○石棉含有吹付けロックウール	○	○石棉含有吹付けひる石	○	○石棉含有吹付けバーライト	○	○	○																	
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																													
	○（箇所数）	○（箇所数）																																													
	○（箇所数）	○（箇所数）																																													
	○（箇所数）	○（箇所数）																																													
	○（箇所数）	○（箇所数）																																													
種 類	種 類																																														
○吹付け石棉	○																																														
○石棉含有吹付けロックウール	○																																														
○石棉含有吹付けひる石	○																																														
○石棉含有吹付けバーライト	○																																														
○	○																																														
④アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)	アスベスト粉じん濃度測定 ● 行う <table><tr><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点(各施工箇所ごと)</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">除去作業前</td><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ○2点 ○ 3点 ○ 点</td><td></td></tr><tr><td>調査対象室外部付近</td><td>● 1点 ○ 2点 ○ 点</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">除去作業中</td><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td><td></td></tr><tr><td>負圧粉じん装置の排出吹き出し口</td><td>吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ● 1点 ○ 2点 ○ 3点</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">除去作業後</td><td>除去作業室外</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点</td><td></td></tr><tr><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td><td>シート養生中</td></tr><tr><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td><td>シート撤去後</td></tr><tr><td>調査対象室外部付近</td><td>● 1点 ○ 2点 ○ 点</td><td>1週間以降</td></tr></table> ※周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 ○ 行わない 測定機関 ※（公社）日本作業環境測定協会による「石棉含有の有無の判定及び石棉の含有率の測定が可能な石棉含有率分析可能機関」とする。 ○ 報告書提出部数 ※ 3部 ○ 部	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考	除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ○2点 ○ 3点 ○ 点		調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点		除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		負圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ● 1点 ○ 2点 ○ 3点		除去作業後	除去作業室外	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点		除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後	調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降															
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考																																												
除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ○2点 ○ 3点 ○ 点																																													
	調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点																																													
除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																													
	負圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ● 1点 ○ 2点 ○ 3点																																													
除去作業後	除去作業室外	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点																																													
	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中																																												
	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後																																												
調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降																																													



配置図 1/400

凡 例	
	北校舎撤去建物（※その他、撤去対象物は別図面参照）

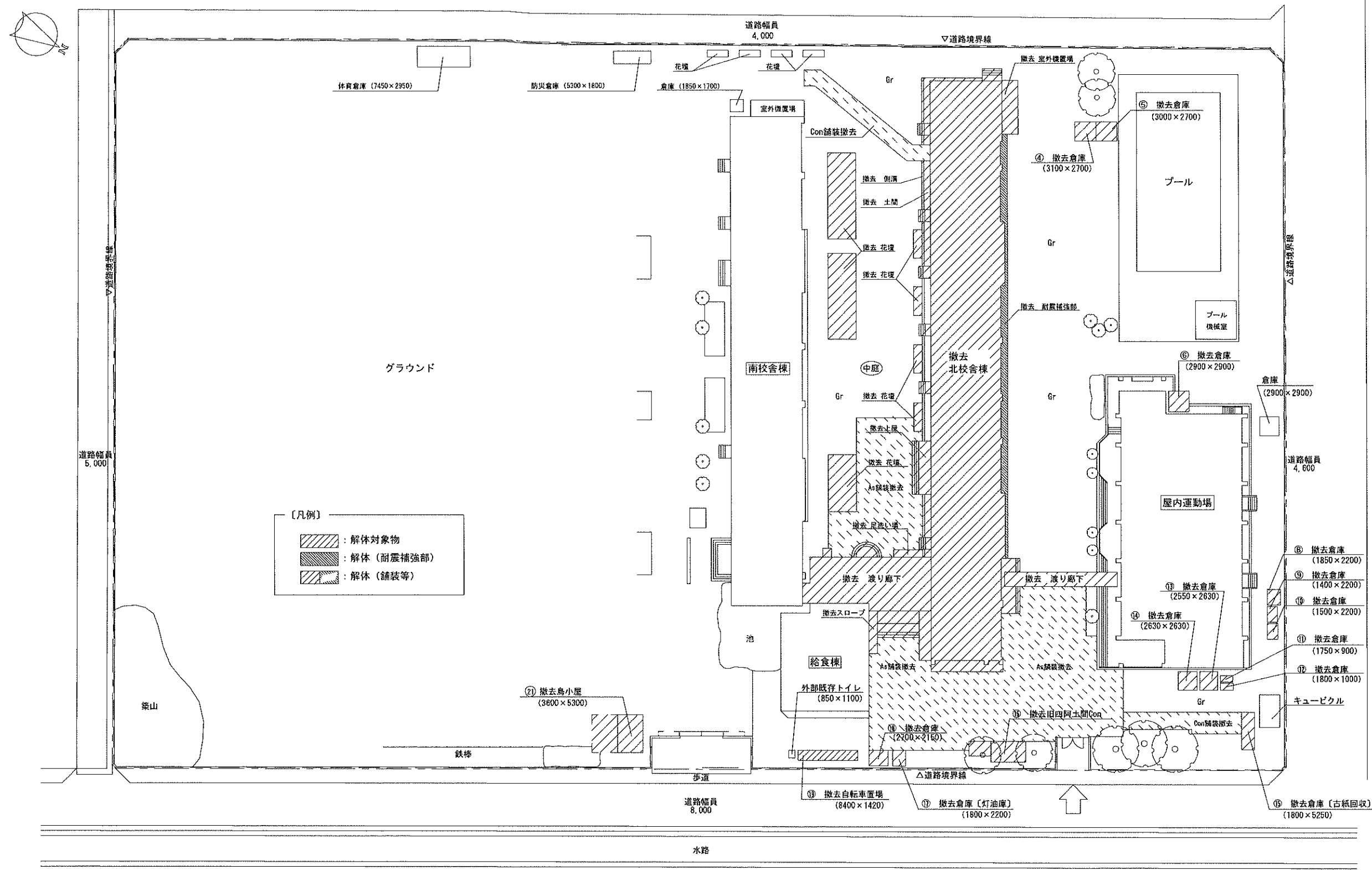
特記仕様
・工事用出入口については、交通誘導員を常駐させること（常駐1名）
・外部足場に設置する防音パネル類は、建物より1m以上高く設置すること。
・本仮設計画図は基本方針を示したもので、これを基本として受注者において、構造及び施工方法を十分検討の上、関係法令に従い安全緊固に設置すること。



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生

製図年月日	R08.08	工事名称	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺	1/400	図面番号	図面番号
訂正年月日		図面名称	付近見取図 配置図 仮設足場位置図		1/2500		No. A-03 分図
監修							枚ノ内
設計							
製図							



特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生	製図年月日 R08.08	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1/400	図面番号	
		訂正年月日			No. A-04 号図	
			監修	設計	図面名称 現況建物等撤去配置図	枚ノ内
				製図		

屋上防水・屋根改修工事 内容表 （参考：平成14年度校舎改修工事）

図面番号	場 所	現 状	改 修 内 容 （参考：平成14年度校舎改修工事）
屋根伏図 A	北校舎屋上・ ベントハウス屋上	防水モルタル塗り目地切 伸縮目地：発泡スチロールt=18 押え：気泡コンクリートt=75 アスファルト防水	高圧洗浄、けれんがけ、清掃 既設モルタル不良箇所はつり撤去、撤去跡樹脂モルタル補修 伸縮目地不良部撤去処理、PH壁取合部に水切目地新設 パラベットあご下断熱材にて面合せ、緩衝フォーム敷き込み、 入り隅・端末処理の上、（詳細は図面No.11 による） シート防水新設（パラベット天端まで一体巻込み） ※北校舎フェンス内については、軽歩行用とする。
屋根伏図 B	南校舎屋上	砂利敷き ア50 アスファルト防水 コンクリート金こて押え	砂利（砂利流れ止め縁石共）撤去、校舎北側に敷き均し 高圧洗浄、けれんがけ、清掃 既設防水 不良箇所はつり撤去、撤去跡樹脂モルタル補修 パラベットあご下端末処理、緩衝フォーム敷き込み、 入り隅処理の上、（詳細は図面No.11 による） シート防水新設（パラベットあご下まで） 塗膜防水新設（パラベット部）
屋根伏図 C	渡廊下屋上・ 給食堂屋上	シルバーライト吹付 露出アスファルト防水 均しモルタル塗り	高圧洗浄、けれんがけ、清掃 既設防水 不良箇所はつり撤去、撤去跡樹脂モルタル補修 パラベットあご下端末処理、緩衝フォーム敷き込み、 入り隅処理の上、（詳細は図面No.11 による） シート防水新設（パラベットあご下まで） 塗膜防水新設（パラベット部）
屋根伏図 D	給食用リフト屋根	瓦葺 鉄板葺き	けれん・錆止め塗り・OP塗り
その他	旧昇降口屋根 ・屋外倉庫屋根 ・体育館渡廊下屋根	カラー折板葺き	カラー折板葺き替え、鉄骨組OP塗り替え カラー塩ビ製軒樋・堅樋・集水桝取替え（径は既存と同じ）
	ポンペ庫屋根	波型スレート大波葺き	波型スレート（大波）葺き替え、鉄骨組OP塗り替え
	丸環	スチール製19φ、OP塗@4000	けれん・錆止め塗り・OP塗り、周囲防水シート巻き、コーキング処理
	煙突脱気筒		煙突脱気筒撤去・穴埋め・撤去跡樹脂モルタル補修の上、 北校舎：あご下断熱材にて面合せ、緩衝フォーム敷き込みの上、防水シート巻き込み 南校舎：防水シートあご下まで立ち上げ、端末処理、上部塗膜防水新設
	フェンス	スチール製メッシュフェンスH=1500 （コンクリート製基礎 240×240×H300）	基礎共撤去処分・撤去跡樹脂モルタル補修 スチール製メッシュフェンスH=1800基礎共新設（詳細は図面No.11 による）
	受水槽	FRP製水槽	高圧洗浄・下地調整・ポリウレタン樹脂塗装（詳細は図面No.22による）
		配管保温巻き	保温巻き全て撤去処分。保温巻き新設（詳細は図面No.22による） 配管露出部：けれん・錆止め塗り 配管支柱：取り外し・OP塗り替え後復旧
	受水槽架台	H型钢OP塗り	けれん・錆止め塗り・OP塗り
		コンクリート製基礎	防水シート巻き込み（詳細は図面No.11 による）
	給食堂ルーフファン		防水シートあご下まで立ち上げ、端末処理、笠木塗膜防水新設。
	ドレン	铸铁製 縦型・横型	シート防水用ドレン新設、周辺処理
	EPJカバー	鉄板OP塗り	一旦取り外し、 防水施工後、 けれん・錆止め塗り・OP塗りの上、復旧。

内部改修工事 内容表 （参考：平成14年度校舎改修工事）

場 所	現 状	改 修 内 容 （参考：平成14年度校舎改修工事）
床（踏面・蹴上 含む）	モルタル塗りの上、 塗床塗装	下地清掃・補修の上、 塩ビシート及び床押え金物新設（金物位置：幅木以外の端部全て）
幅木	モルタル塗り	下地調整の上、ソフト幅木新設（階段部はササ材幅木）
壁	コンクリート打放の上 EP塗り	けれん・下地処理・ EP塗り
スチール製建具（防火戸 含む）・電気盤等鉄部	OP塗り	けれん・錆止め塗り・OP塗り
階段ノズスリップ金具	滑り止めゴム付SUS製ノズスリップ	撤去処分、滑り止めゴム付SUS製ノズスリップ新設
階段手すり	スチール製OP塗り	けれん・錆止め塗り・OP塗り
階段笠木	モルタル塗りシリコン塗装	そのまま
掲示板	1階・3階 壁面固定式	そのまま
	2階吊下げ式	取り外し、壁面EP塗り替え後、取り付け
卒業制作	1～3階壁面固定式	そのまま
消火器	プレート及び本体壁面取付	取り外し、壁面EP塗り替え後、取り付け

天井塗装改修 内容表 （参考：平成14年度校舎改修工事）

番号	場 所	現 状	改 修 内 容 （参考：平成14年度校舎改修工事）
天井伏図 A	廊下天井・ 渡り廊下天井・ 階段最上階天井	コンクリート打放の上 吸音材吹付	吸音材及びポリシン掻き落とし・下地調整の上、 カチオンフィーラー吹付
天井伏図 E	段裏	コンクリート打放の上 リシン吹付	カチオンシーラー吹付 弾性リシン吹付
天井伏図 B	渡り廊下天井（一部）	石膏ボード底目貼の上 VP塗り	石膏ボード撤去処分（下地組・点検口共） 軽鉄下地組新設 ケイ酸カルシウム板t=6新設、VP塗り
天井伏図 D	ベランダ天井	コンクリート打放の上 シリコン吹付け	高圧洗浄、クラック部・欠損部補修の上、 カチオンフィーラー吹付
天井伏図 H	外部梁型・ 北校舎西面庇裏	コンクリート打放の上 リシン吹付	カチオンシーラー吹付 弾性リシン吹付
天井伏図 G	梁型	コンクリート打放の上 EP塗り	けれん・下地調整・EP吹付け

特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生

製図年月日 R08.08

訂正年月日

監修

設計

製図

工事名称

旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称

現況仕上表 - 1（参考：平成14年度校舎改修工事）

縮尺

図面番号

No. A-05 号図

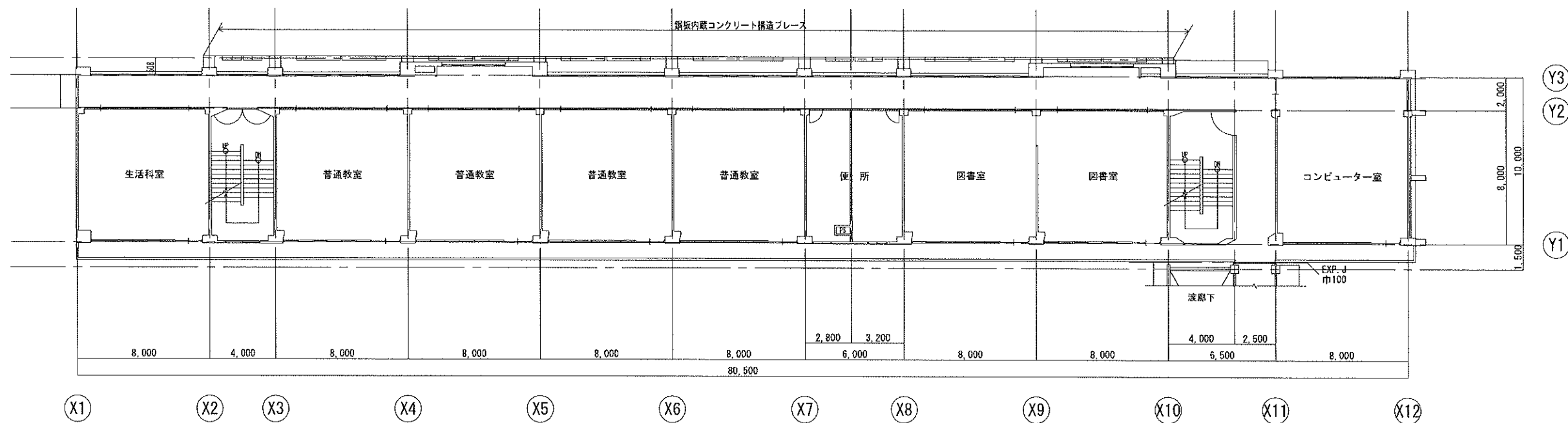
枚ノ内

外壁塗装工事 内容表 (参考：平成14年度校舎改修工事)

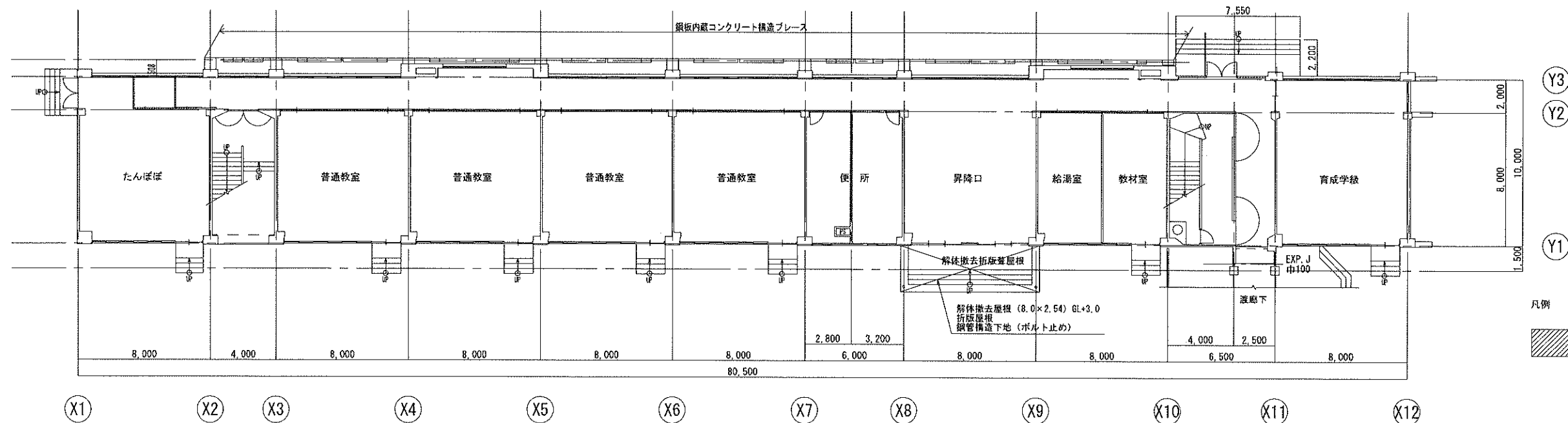
図面番号	場所	現 状	改修内容 (参考：平成14年度校舎改修工事)
立面図①	外壁	コンクリート打放しの上 リシン吹付	高圧洗浄、クラック部・欠損部補修の上、 カチオンフィーラー吹付 カチオンシーラー吹付 弾性リシン吹付
立面図②		コンクリート打放しの上 シリコン吹付	
立面図⑥・⑦		化粧目地	
立面図⑧	ボンベ庫・屋外倉庫	CBリシン吹付	
立面図③	幅木	防水モルタル塗 刷毛引	高圧洗浄、クラック部・欠損部補修
立面図④		防水モルタル塗 コテ押さえ	
立面図⑨		CB 防水モルタル塗 刷毛引	
その他	スチール製建具	OP塗り	けれん・錆止め塗り・OP塗り(適用箇所は、区分表による。)
	建具周り	コーキング	コーキング打替え(適用箇所は、区分表による。)
	窓台	防水モルタル塗り	浮き部補修の上、簡易塗膜防水新設(適用箇所は、区分表による。)
	笠木	防水モルタル塗り	浮き部補修の上、簡易塗膜防水新設
	軒樋・壁樋・集水樹	塩ビ製VP塗り	全て撤去処分 (径は既存と同じ) カラー塩ビ製軒樋・壁樋・集水樹・スチール製保護管(OP塗仕上)新設
	ベランダドレン	铸铁製	清掃
	水抜パイプ・通気口	塩ビ製VP塗り	けれん・下地調整・VP塗り
	ベランダ手すり	スチール製OP塗り	けれん・錆止め塗り・OP塗り
	壁面エキスパンションカバー		給食室壁面のみ新設 その他 けれん・錆止め塗り・OP塗り
	旧昇降口・体育館渡廊下 骨組み	鉄骨造OP塗り	けれん・錆止め塗り・OP塗り
	給食室前倉庫	既製品	移動
	北校舎西面・渡廊下 庇	モルタル防水	高圧洗浄・浮き部補修の上、塗膜防水新設
	正門	コンクリート打放しの上 アクリルタイル吹付け	高圧洗浄、クラック部・欠損部補修、浮き・はがれ部撤去の上、 カチオンフィーラー吹付 カチオンシーラー吹付 アクリルタイル吹付け
	渡り廊下内面 (壁及び柱型) 及び外部倉庫内面	コンクリート打放しの上 EP塗り	けれん、下地調整のうえ、EP塗り
	南校舎 1階通気口		通気口金物新設 (株)新協和 SK24Z1 同等品以上
配置図	犬走り	コンクリート土間 t=100	土間解体撤去・復旧(詳細は図面No.15による)

※建具工事区分表 (参考：平成14年度校舎改修工事)

番号	形状
立面図A	スチール製サッシ(北校舎3階)
立面図B	アルミ製建具
立面図C	カバー工法によるアルミ製建具
立面図D	鋼製建具
立面図E	改修済 鋼製建具
立面図F	ガラスブロック
立面図G	電気盤・消火栓BOX
立面図H	スチール製サッシ(給食室)



2 階平面図 S=1/200

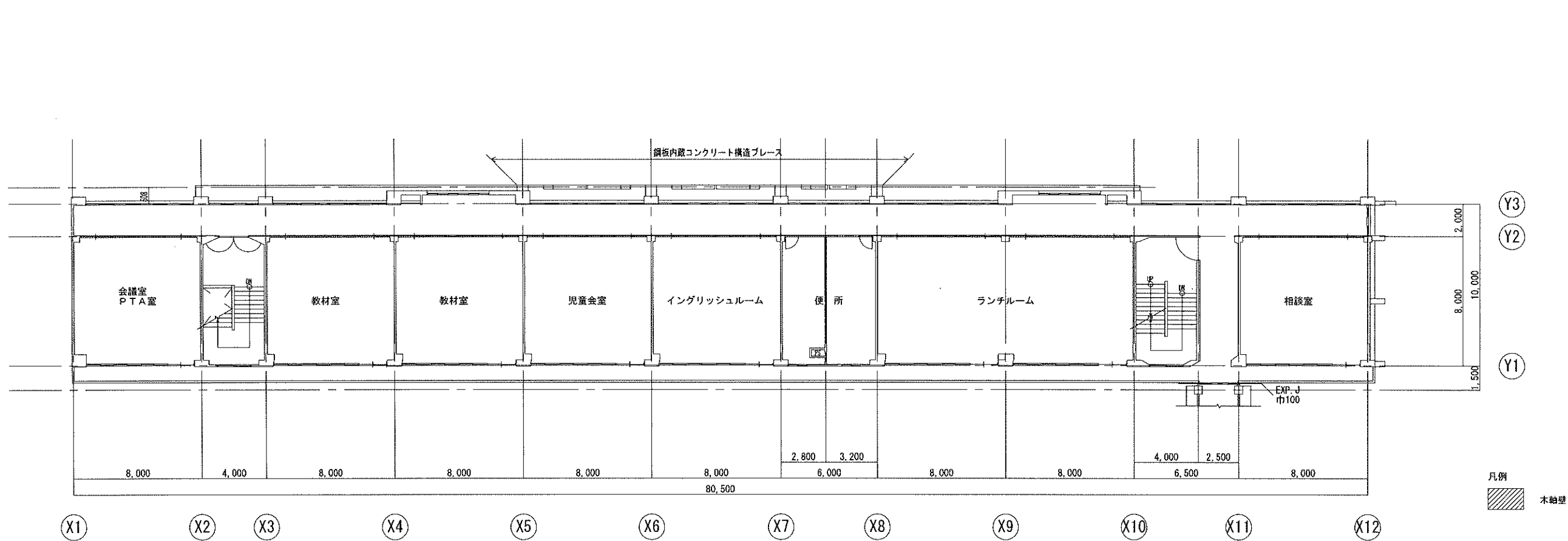


1 階平面図 S=1/200

凡例
木軸壁

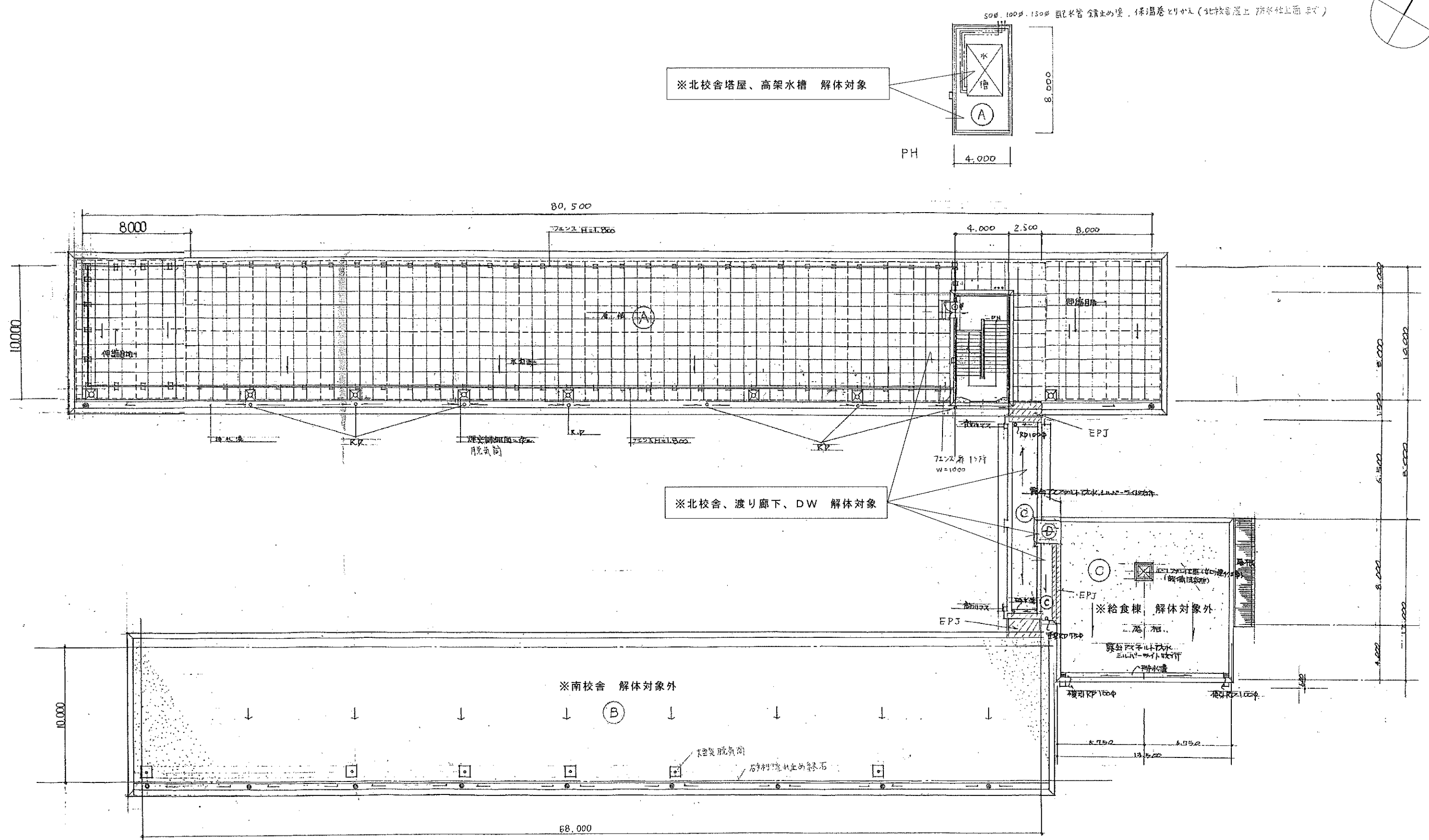
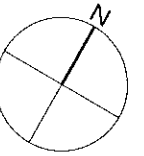
参考図

特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R08.08			工事名称	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1:200	図面番号
			訂正年月日						
			監修	設計	製図	図面名称	北校舎 1階、2階平面図		No. A-07 号図
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号						
			TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生						



3 階平面図 S=1/200

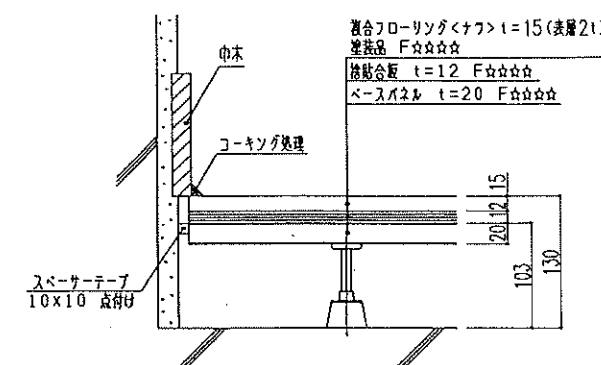
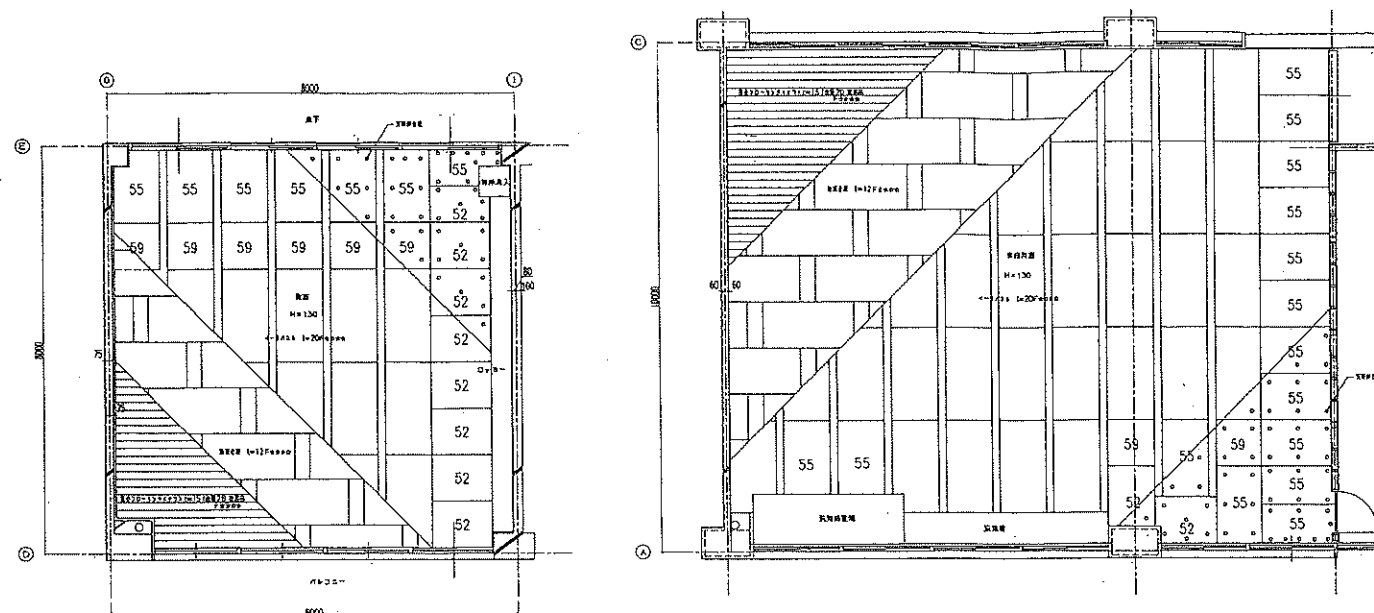
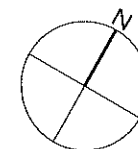
特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R08.08			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1:200	図面番号 No. A-08 号図
			訂正年月日					
			監修	設計	製図	図面名称 北校舎 3階平面図		枚ノ内



屋上階平面図 S=1/200

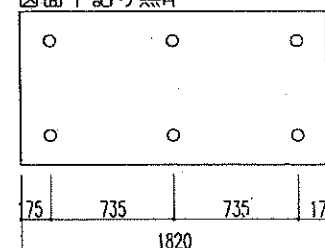
参考図

特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R 08. 08			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1:200	図面番号
			訂正年月日					No. A-09 号図
			監修	設計	製図	図面名称 北校舎ほか 屋上平面図		
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生					

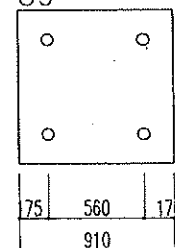


巾木廻り納まり

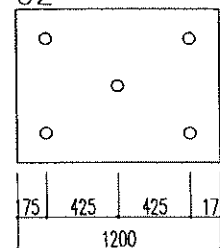
図面中記号無印



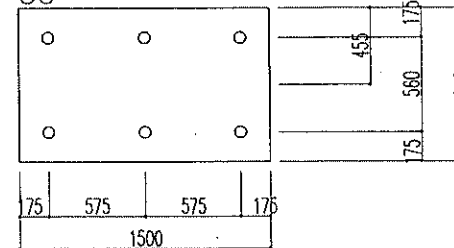
59



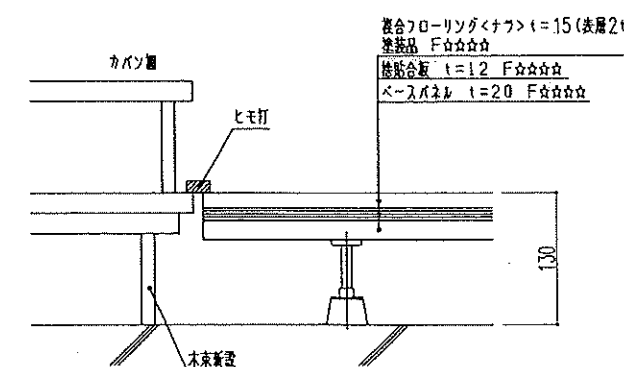
52



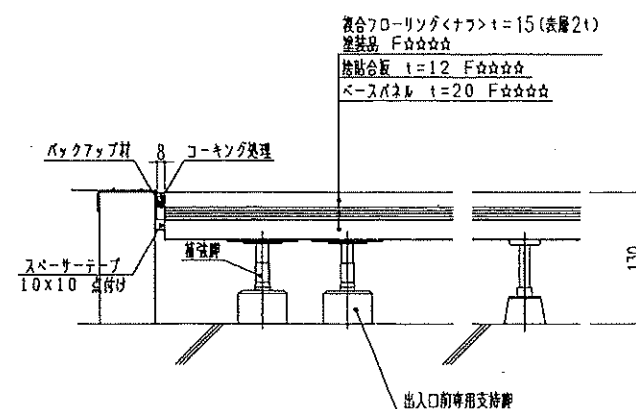
55



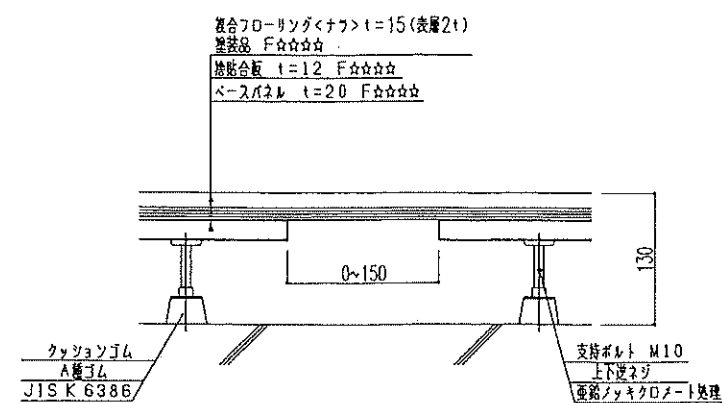
使用ベースパネル一覧 1/100 ※ ○ 印は支持脚位置を示す。



カバン棚廻り納まり



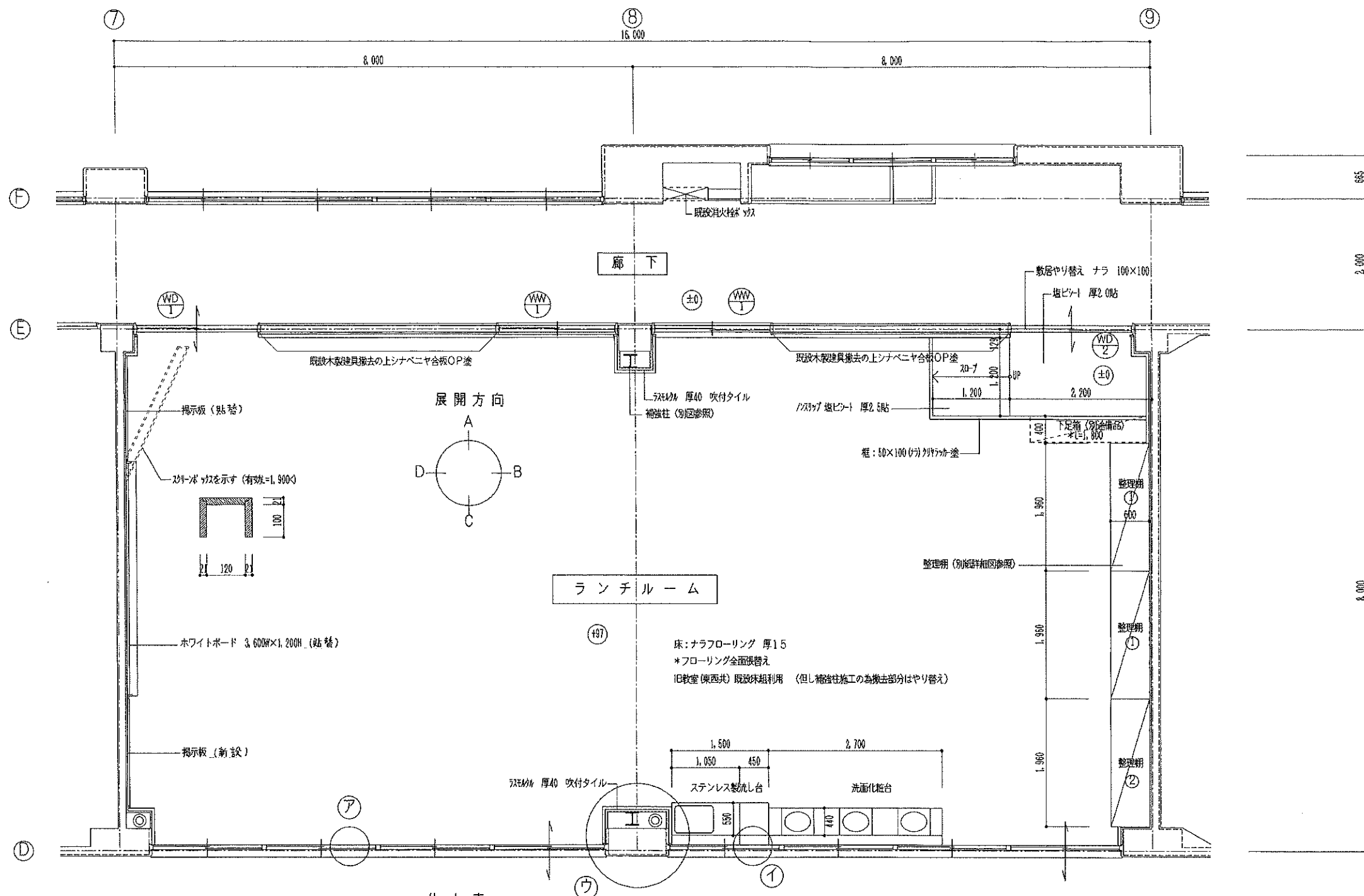
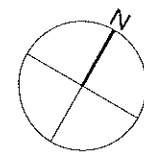
出入口廻り納まり



基本床断面納まり

参考図

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一般建築士会 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R08.08 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 図面名称 北校舎 普通教室 床伏図	縮尺 1:100	図面番号
					No. A-11 号図
					枚ノ内



建具表

- WD 1 ポリエステル合板引違いフラッシュ戸
1,885W×2,000H×33見込
ガラス：型板ガラス 74.0 ガラリ：アルミ製 550W×300H
引手：SUS製 レール：SUS製 L型埋込み
引違い戸錠：美和ロック SL60-I
- WD 2 ポリエステル合板引違いフラッシュ戸
1,885W×2,100H×33見込
ガラス：型板ガラス 74.0 ガラリ：アルミ製 550W×300H
引手：SUS製 レール：SUS製 L型埋込み
引違い戸錠：美和ロック SL60-I
*敷居やり替え ナラ 100×50
- WW 1 木製引違い窓
1,885W×960H×33見込
スプルス製SOP塗
ガラス：型板ガラス 74.0
引手：SUS製 レール：真鍮製
差し込錠錠（室内側）

仕上表

注) 材質・等級

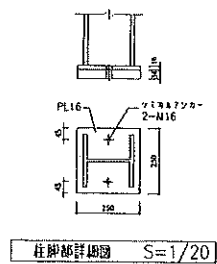
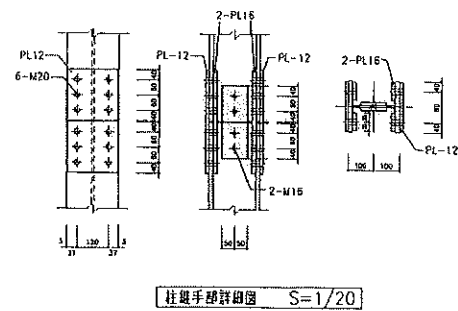
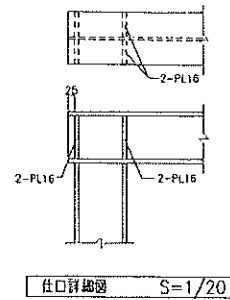
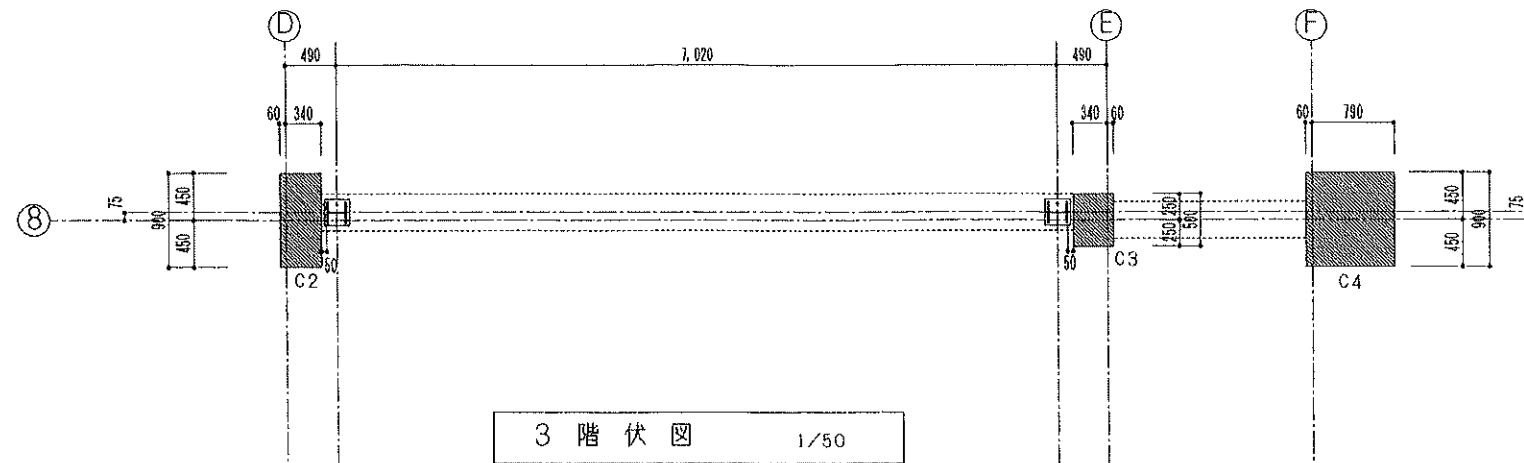
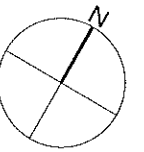
- ・ナラフローリング
- ・松鋼板
- ・桧巾木
- ・桧小巾板
- ・吹付タイル

複合1種 厚15 (塗装品)
上小筋材
上小筋材
特1等材
複層塗材に必ず肌模様

	現況仕上	改修仕上	備考
床	ナラフローリング 厚18	ナラフローリング 厚15	東教室側出入口スロープ部分塩ビシート貼
巾木	木製	桧 H=75 厚20	
腰	シナベニヤ 厚6 モルタルEP	桧小巾板 厚12	
壁	モルタルEP	吹付タイル シナベニヤ合板OP塗 (廊下側)	
天井	プラスターボードEP	岩綿吸音板 厚9 (換気孔) *断熱下地	アルミ製天井点検口600角2箇処、塩ビ製廻り縁 木製吹付ボード 900×900×15

改修平面図 1/50

参考図



使用材料

鉄骨: SN490B (鋼板)
S10T (高力ボルト)
SS400 (アングラーボルト)
エポキシ樹脂モルタル
: 曲げ強度 $\geq 10\text{N/mm}^2$
: 圧縮降伏強度 $\geq 28\text{N/mm}^2$
: 接着強度 $\geq 2\text{N/mm}^2$
鉄止め建具
: JISK5621 1層 2面塗りとする

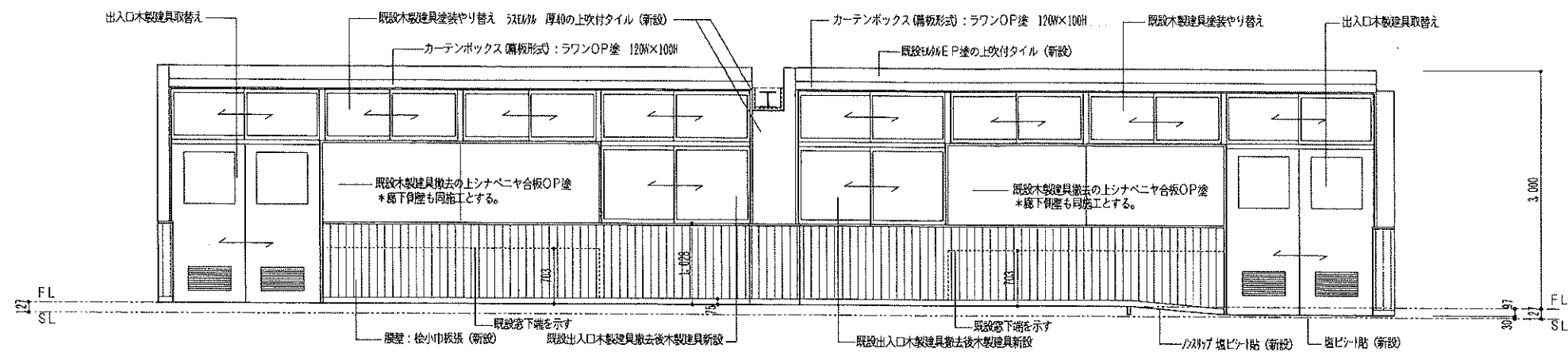
特記事項

- ① 部材寸法は参考値と考え、現地実測の上決定する事
- ② 板鉄筋骨と既存躯体の取合部は仕上材を撤去後、目黒らしを十分行う事
- ③ 既存梁及び柱と補強鉄骨との空隙部にはエポキシ樹脂モルタルを圧入し、両者が十分一体化出来る様に施工すること

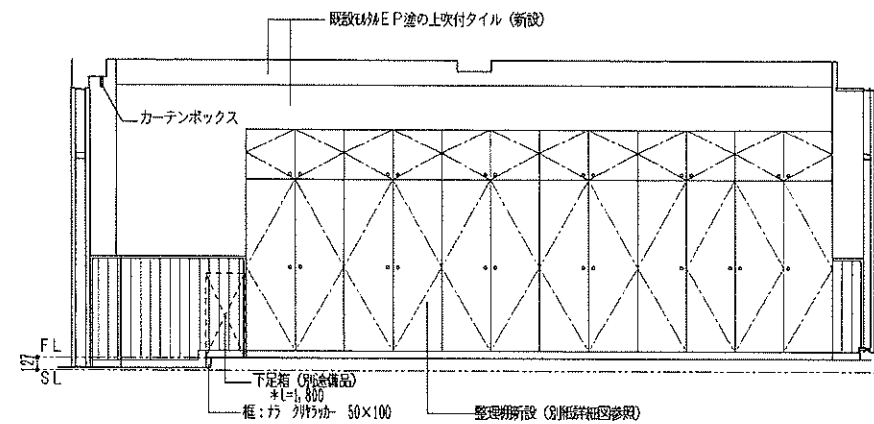
8 通り 軸組図 1/50

参考図

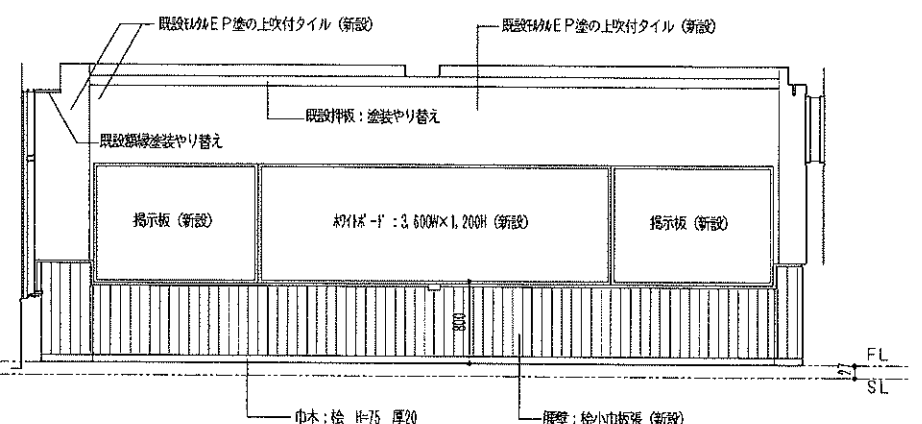
特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R08.08			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1:50	図面番号	
			訂正年月日					No. A-13 号図	
			監修			設計	製図	図面名称 北校舎 ランチルーム 軸組図 8通り	枚ノ内
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一般建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生						



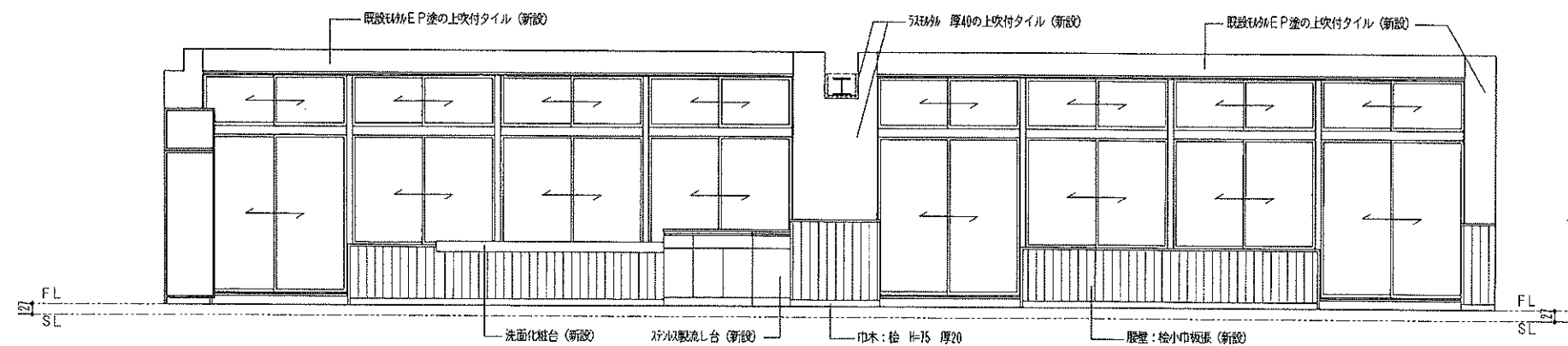
A 展開図



B 展開図



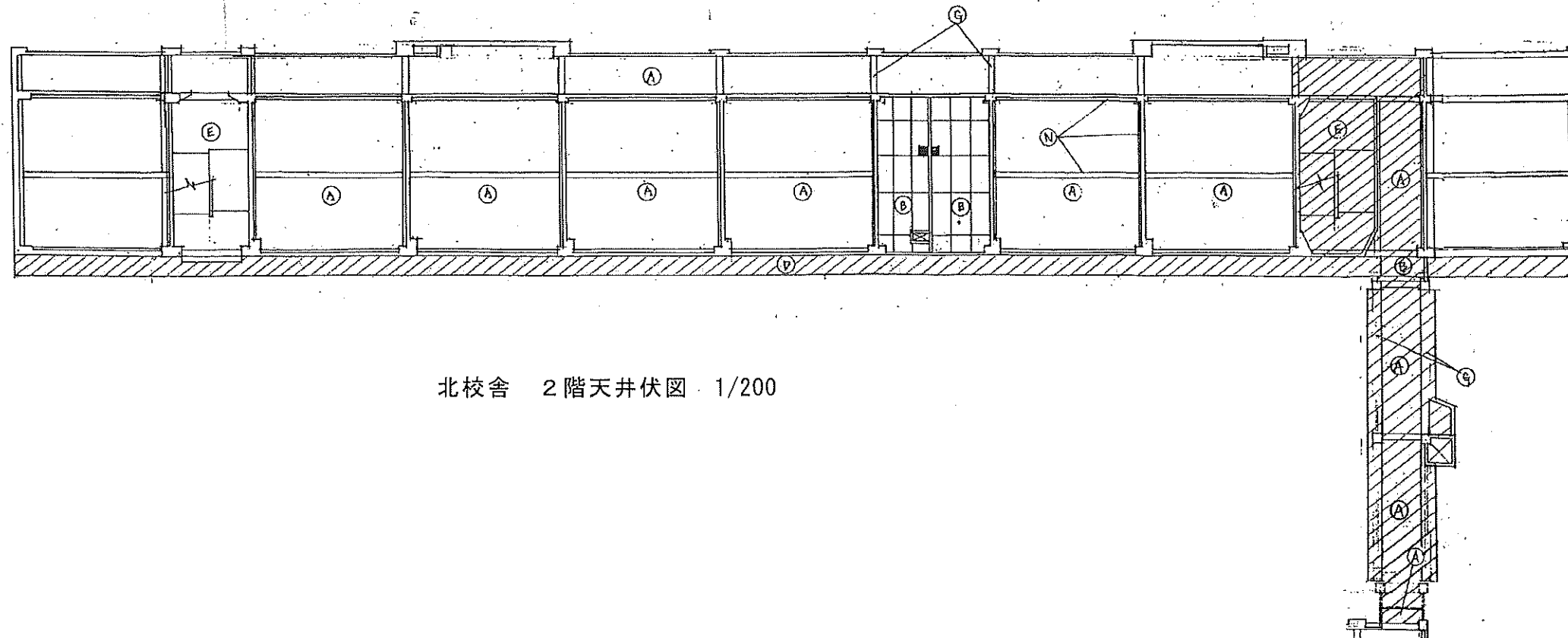
C 展開図



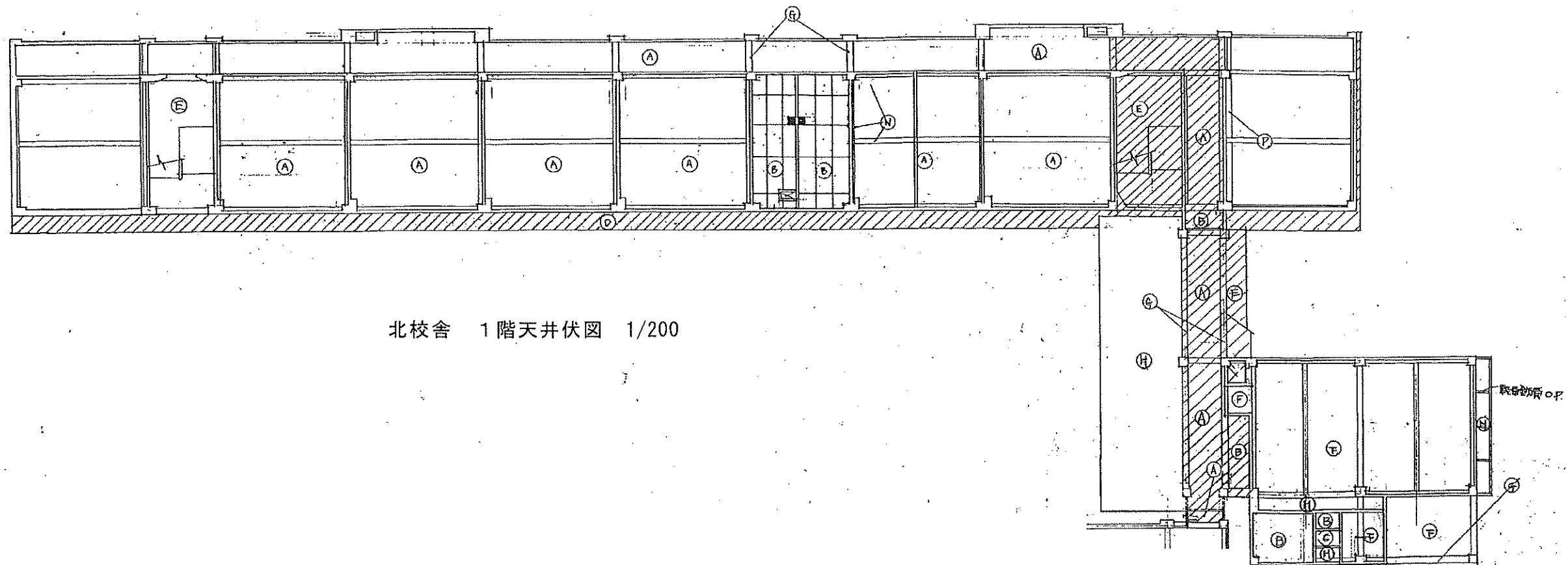
D 展開図

参考図

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R08.08 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 図面名称 北校舎 ランチルーム 展開図	縮尺 1:50	図面番号 No A-14 号図 枚ノ内
-------------	---	--	---	----------------	-----------------------------------



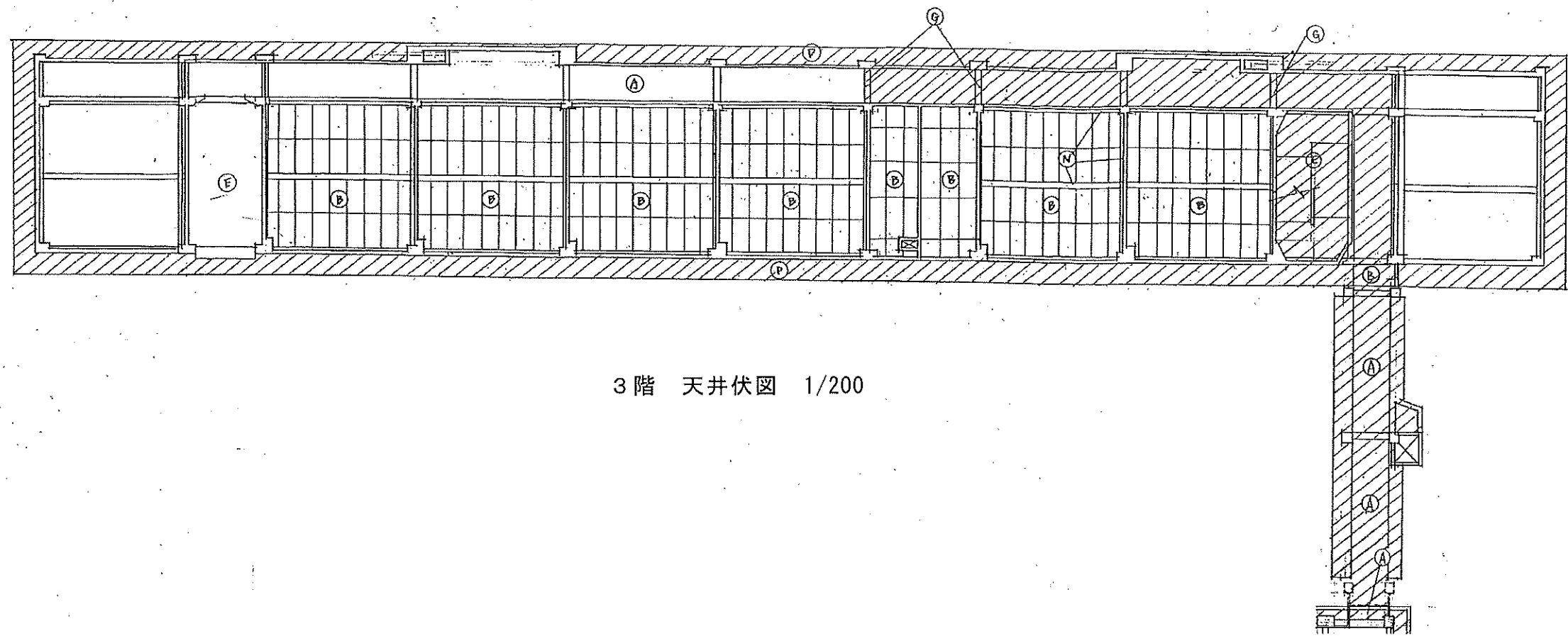
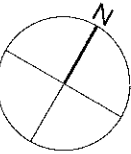
北校舎 2階天井伏図 1/200



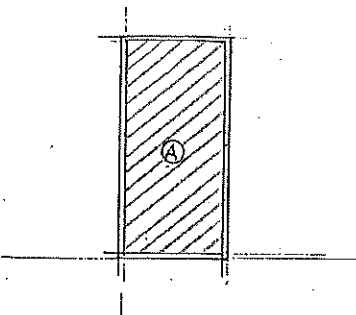
北校舎 1階天井伏図 1/200

参考図

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一般建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R08.08 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 図面名称 北校舎 1階・2階天井伏図	縮尺 1:200	図面番号 No A-15 号図 枚ノ内
-------------	---	--	--	-----------------	-----------------------------------



3階 天井伏図 1/200



塔屋階 天井伏図 1/200

参考図

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所  611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生			製図年月日 R08.08		工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1:200	図面番号	
				訂正年月日				No. A-16 号図	
				監修	設計	製図	図面名称 北校舎 3階天井伏図 塔屋階天井伏図		枚ノ内

内部仕上表								
階		室 名	天井高	床	巾 木	壁	天 井	備 考
2		生徒便所	2,400					
	改修後			下地処理後パーライトモルタル緩押えの上複層ビニル床シート張り	カチオンタイト塗りの上EPG塗り	EP-G塗重ね	化粧石膏ボード t 9.5	トイレブース更新、緑線SOP塗り 出入口扉更新（枠部分補修SOP塗り）ローカ壁EP-G塗替え SKトラップ部SOP塗り

平面詳細図（改修後） 1：50

男子便所
化粧石膏ボード張

女子便所
化粧石膏ボード張

天井伏図 S=1：100

廊下

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

手洗い

男子便所

女子便所

手洗台

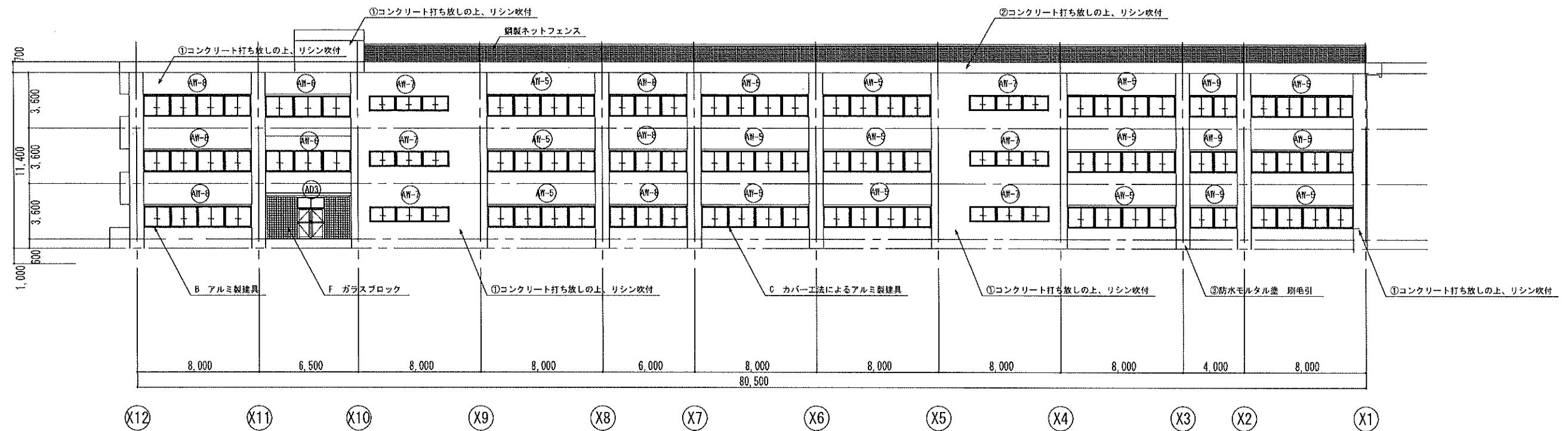
手洗い

男子便所

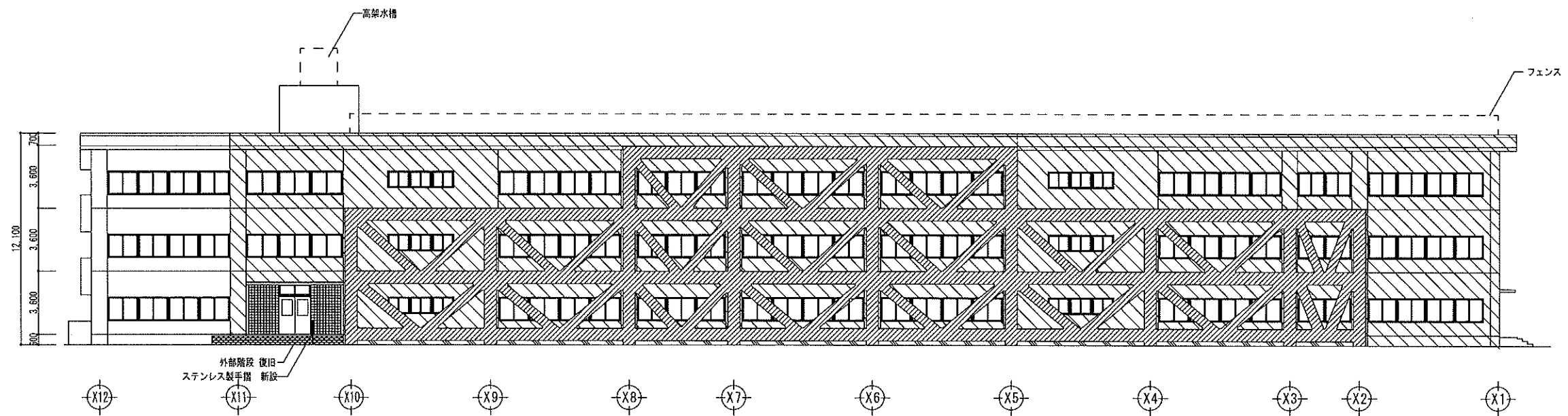
女子便所

手洗台

手洗い



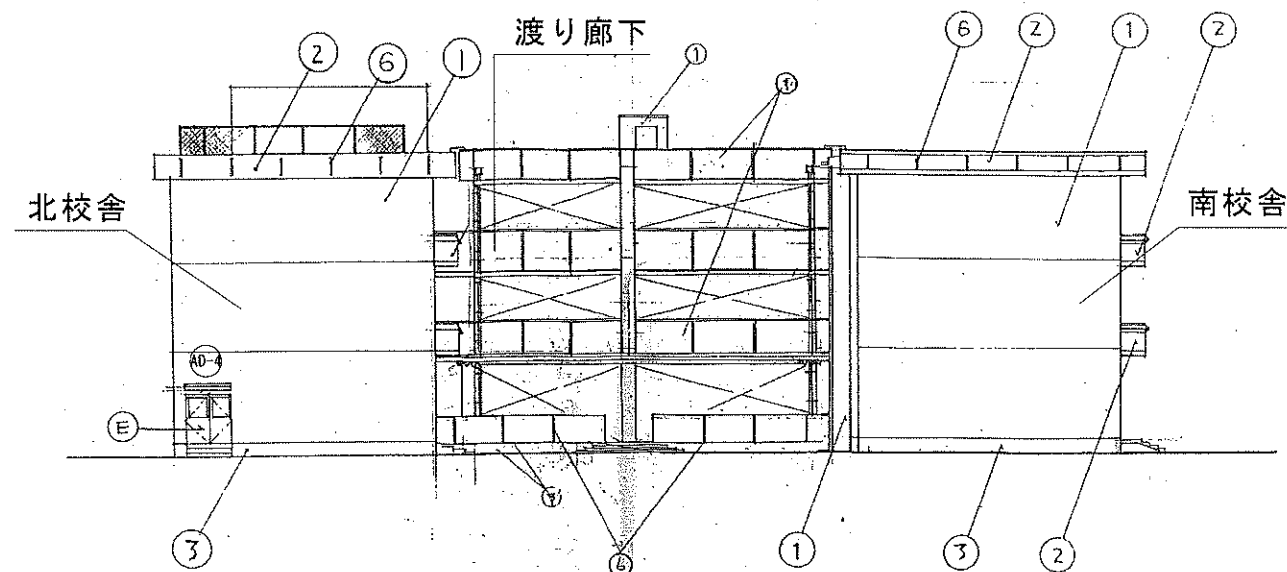
北側立面図

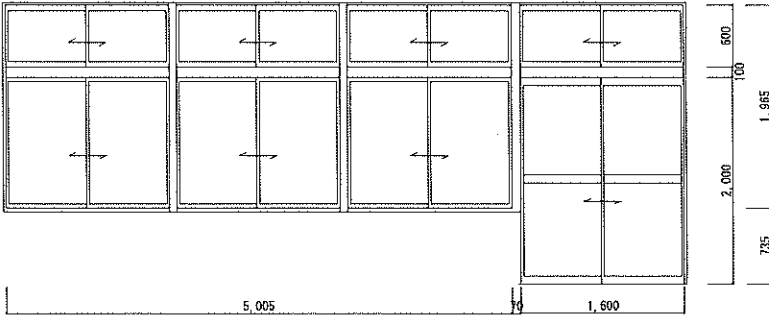
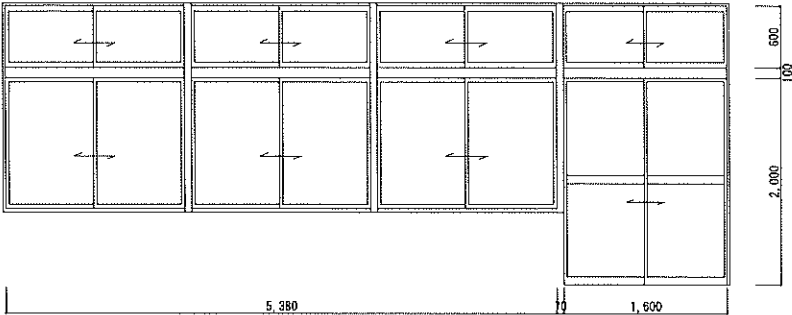
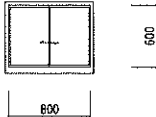
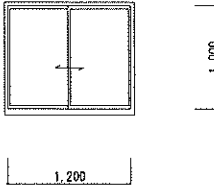
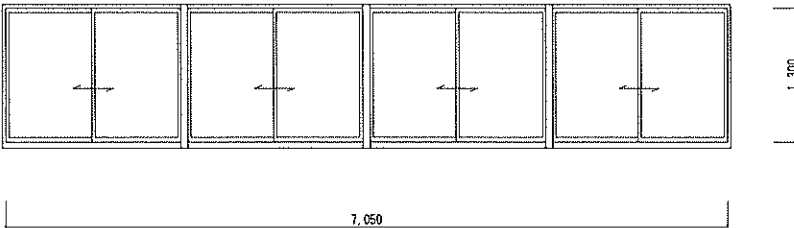
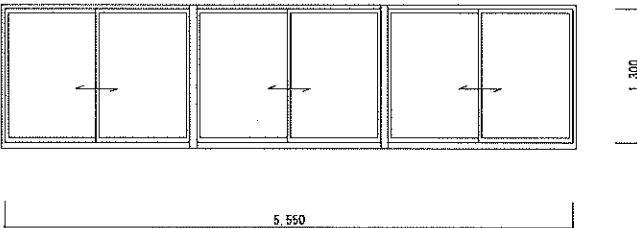
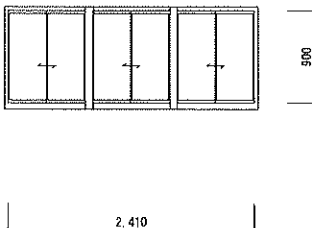
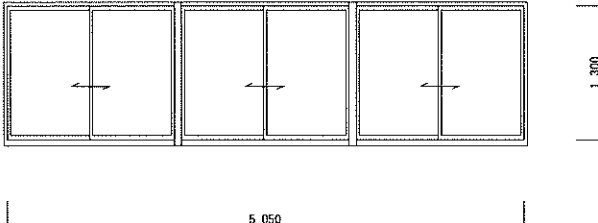
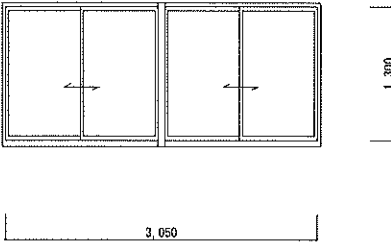


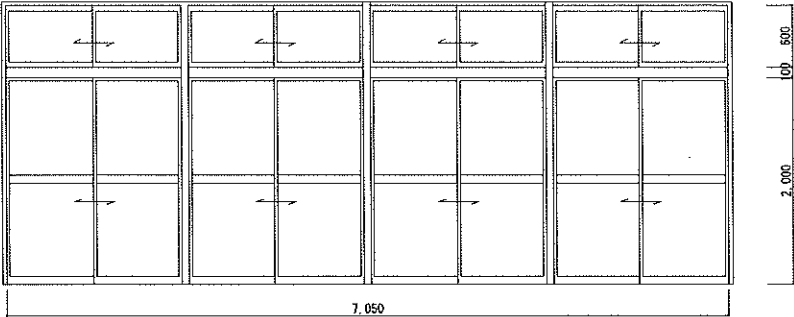
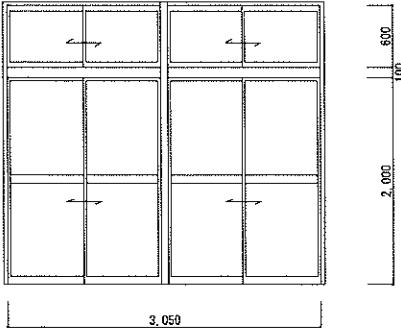
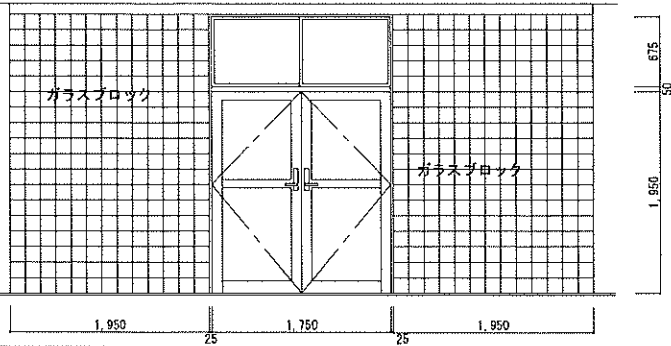
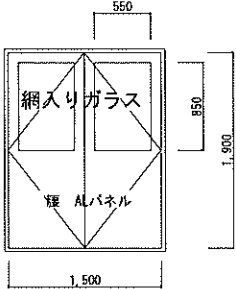
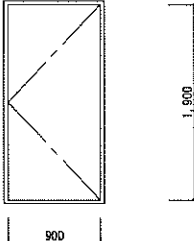
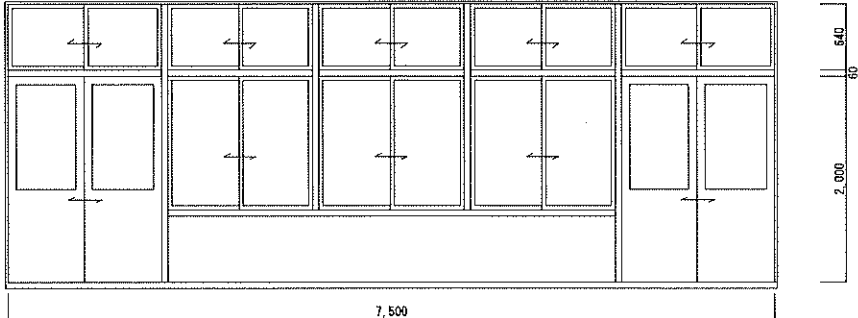
北側立面図（耐震改修後）

凡例（参考：耐震改修工事）	
	鋼板内蔵コンクリート構造 ブレースを示す
	下地調整材塗の上 可とう型外装薄塗材E 範囲を示す
	ブレース下部無筋コンクリート打ち放し面 可とう型外装薄塗材E 範囲を示す
	階段復旧範囲を示す
	現状ままの範囲を示す

特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R08.08			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1/200	図面番号 No. A-18 号図		
			訂正年月日							
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生			監修	設計	製図	図面名称 北校舎 北側立面図	枚ノ内



記 号	AW-1		AW-2		AW-3		AW-4			
形 状										
種 類	アルミ製連窓引き違い窓・戸		アルミ製連窓引き違い窓・戸		アルミ製引き違い窓		アルミ製引き違い窓			
ガラス	透明 3.0 網入りガラス 6.8		透明 3.0 網入りガラス 6.8		透明 3.0		透明 3.0			
金 物										
備 考										
記 号	AW-5		AW-6		AW-7					
形 状										
種 類	アルミ製連窓引き違い窓		アルミ製連窓引き違い窓		アルミ製連窓引き違い窓		アルミ製連窓引き違い窓			
ガラス	透明 3.0		透明 3.0		透明 3.0		透明 3.0			
金 物										
備 考										
記 号	AW-8		AW-9							
形 状										
種 類	アルミ製連窓引き違い窓		アルミ製連窓引き違い窓							
ガラス	透明 3.0		透明 3.0							
金 物										
備 考										
特記仕様			株式会社 木下建築設計事務所  611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生		製図年月日 R08.08		工事名称		縮尺 1/50	図面番号
					訂正年月日		旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事			No A-20 号図
					監修		設計	製図	図面名称	
									既設建具リスト 1	

記 号	AD-1		AD-2		AD-3	
形 状						
種 類	アルミ製引違戸		アルミ製引違戸		アルミ製両開き戸	
ガラス	網入りガラス t 6.8		網入りガラス t 6.8		網入りガラス t 6.8 腰 アルミ t 4パネル ガラスブロック 145×145 ×80	
金 物						
備 考						
記 号	AD-4		SD-1			
形 状						
種 類	アルミ製両開き戸		鋼製片開き戸			
ガラス	網入りガラス t 6.8					
金 物	腰 アルミパネル t 4.0					
備 考						
記 号	WD-1					
	教室（廊下側）					
形 状						
種 類	木製引き違い窓、戸					
ガラス	透明板ガラス t 3.0					
金 物						
備 考	木製軸組み					
特記仕様						

株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日 R08.08

訂正年月日

監修 設計 製図

工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称 既設建具リスト 2

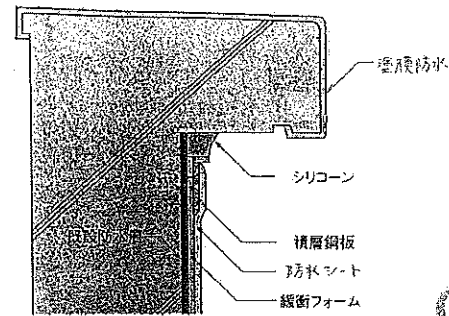
縮尺 1/50

図面番号 No A-21 号図

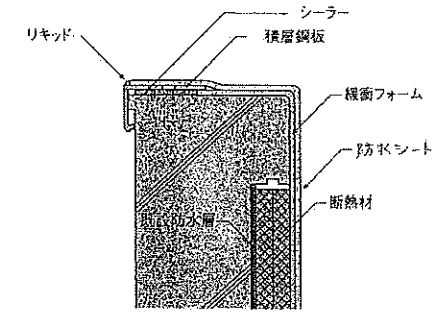
枚ノ内

●パラペット部防水納まり(例)

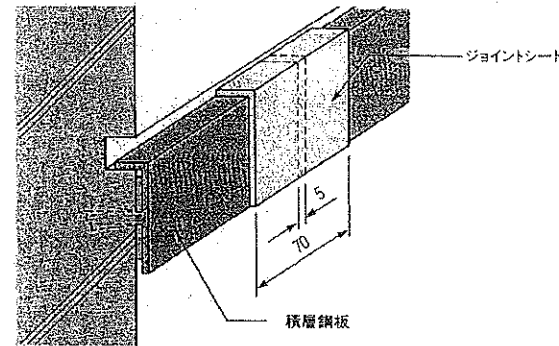
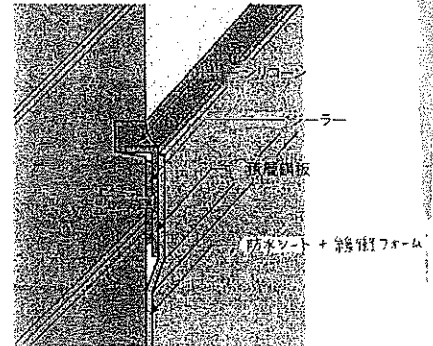
(南校舎・給食室・渡り廊下)



(北校舎・PH)

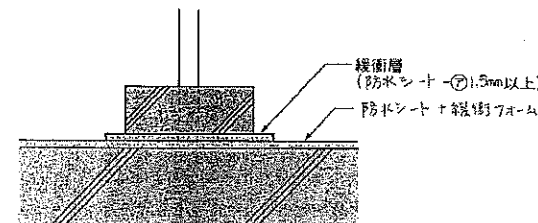


●腰壁部防水納まり(例)

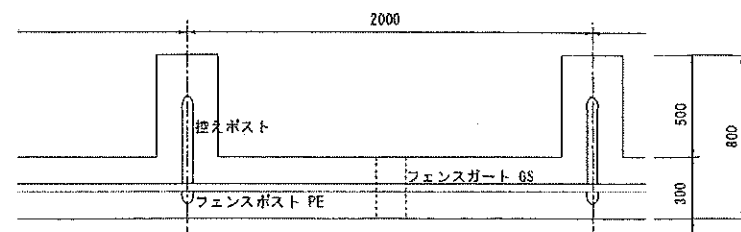
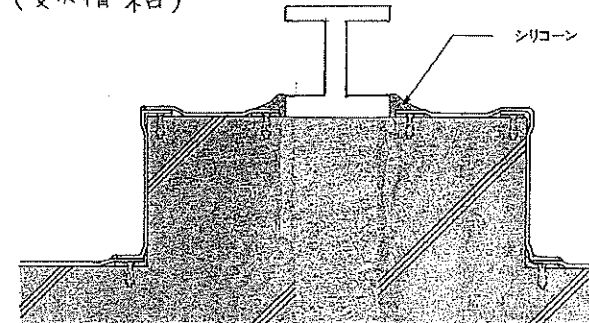


●架台廻り防水納まり(例)

(フェンス基礎部)



(受水槽架台)



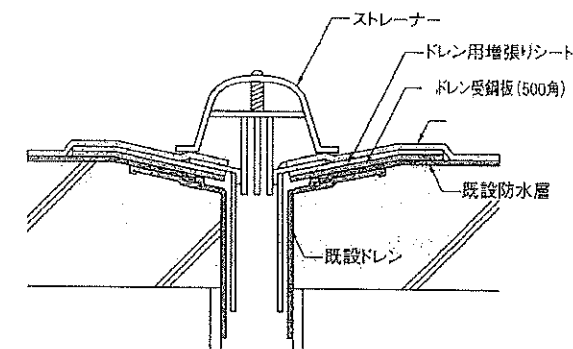
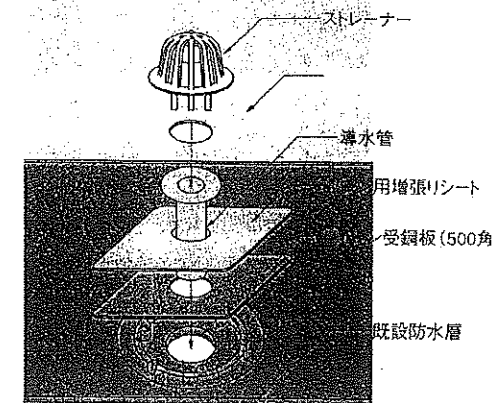
フェンス基礎
平面図 S=1/25

WM型 H-180

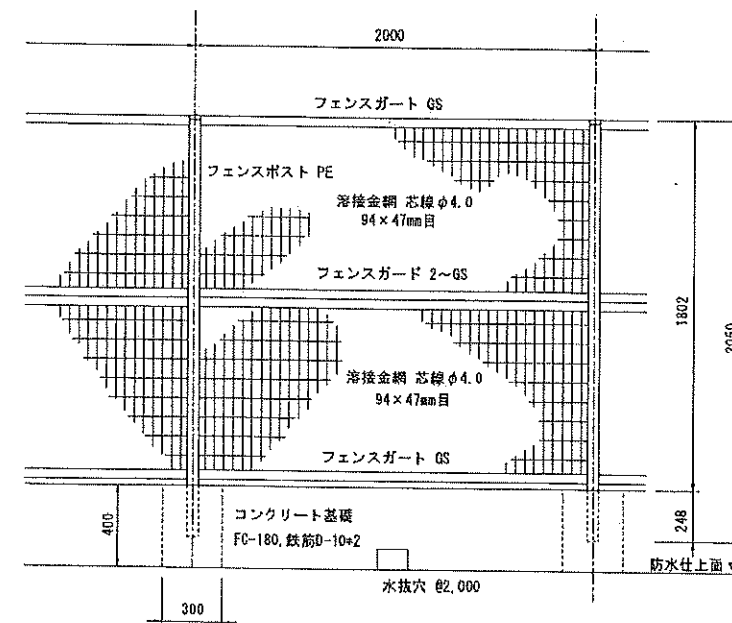
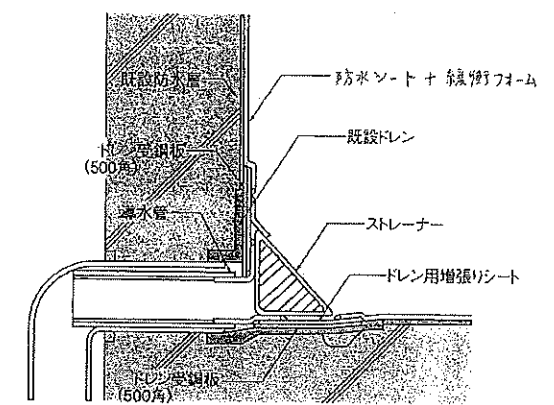
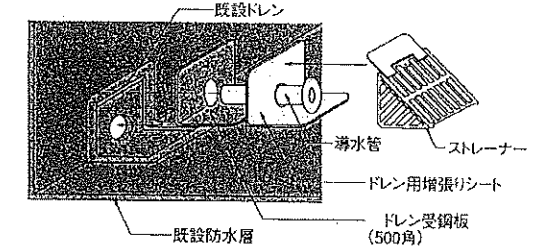
屋上フェンス詳細図 S=1/25

※フェンス扉 W=1,000 箇所 南京錠付

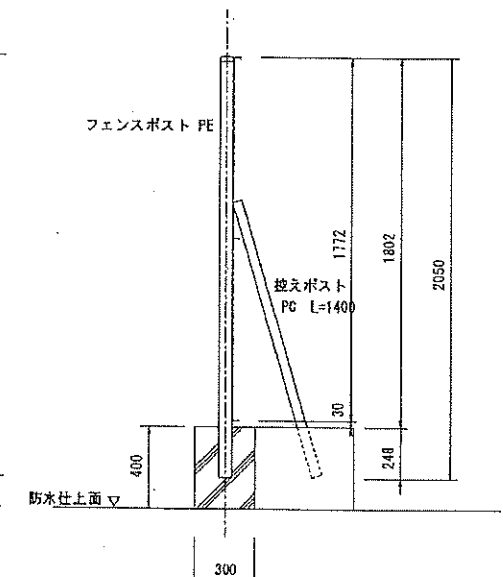
縦引きドレン (南校舎)



横引きドレン (北校舎・給食室・渡り廊下)



正面図 S=1/25



特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一般建築士登録 第126477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日 R08.08

訂正年月日

監修

設計

製図

工事名称

旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称

北校舎 屋上 防水納まり図等

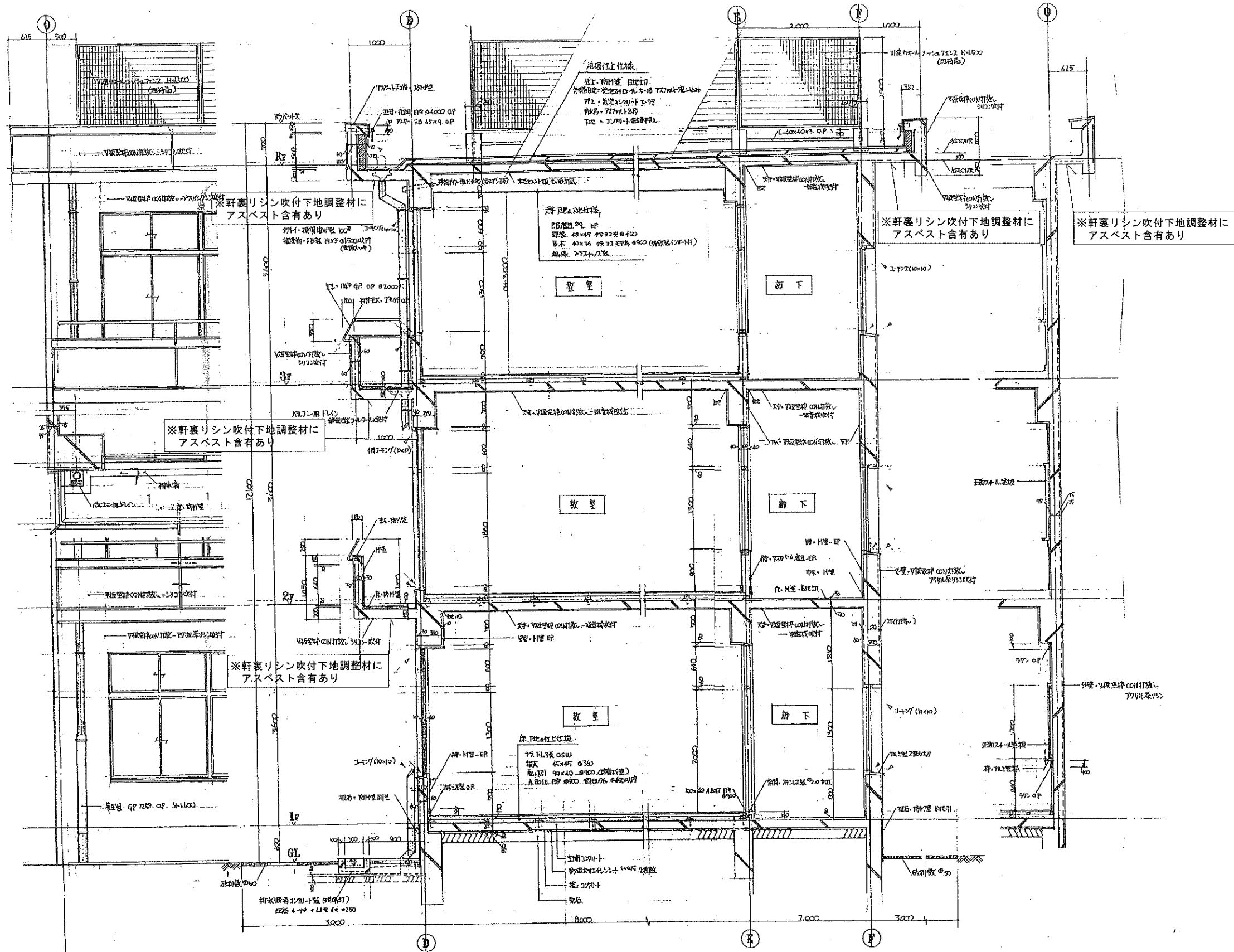
縮尺 1:25

参考図

図面番号

No. A-22 号図

枚ノ内



北校舎 矩計詳細図 S=1:50
(現況参考図)

特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日 R08.08

訂正年月日

監修

設計

製図

工事名称

旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称

北校舎 矩計詳細図

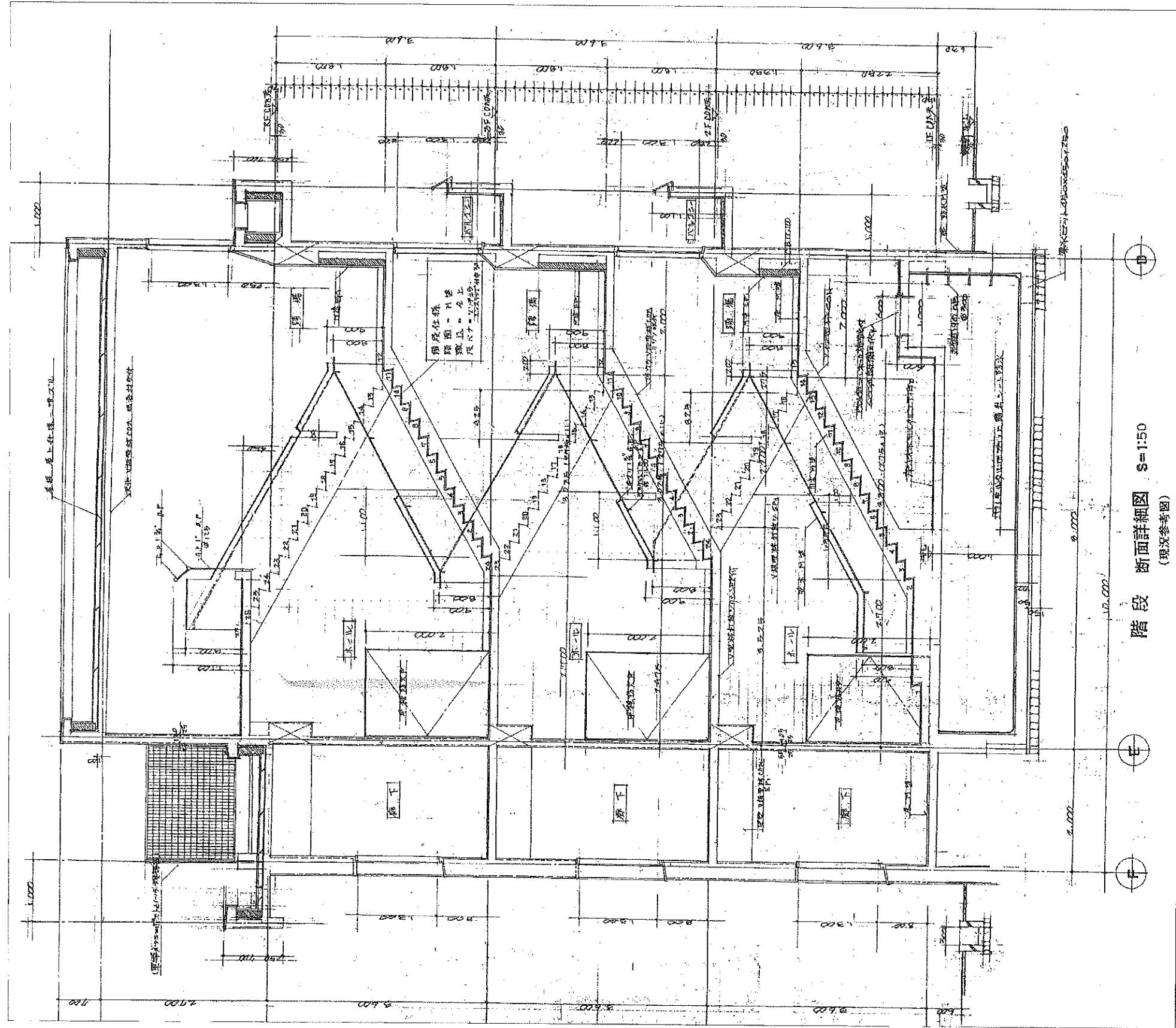
縮尺 1:50

参考図

図面番号

No. A-23 号図

枚ノ内



階段断面詳細図 S=1:50
(現況参考図)

特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日 R08.08

訂正年月日

監修 設計 製図

工事名称

旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称

北校舎 階段矩計図

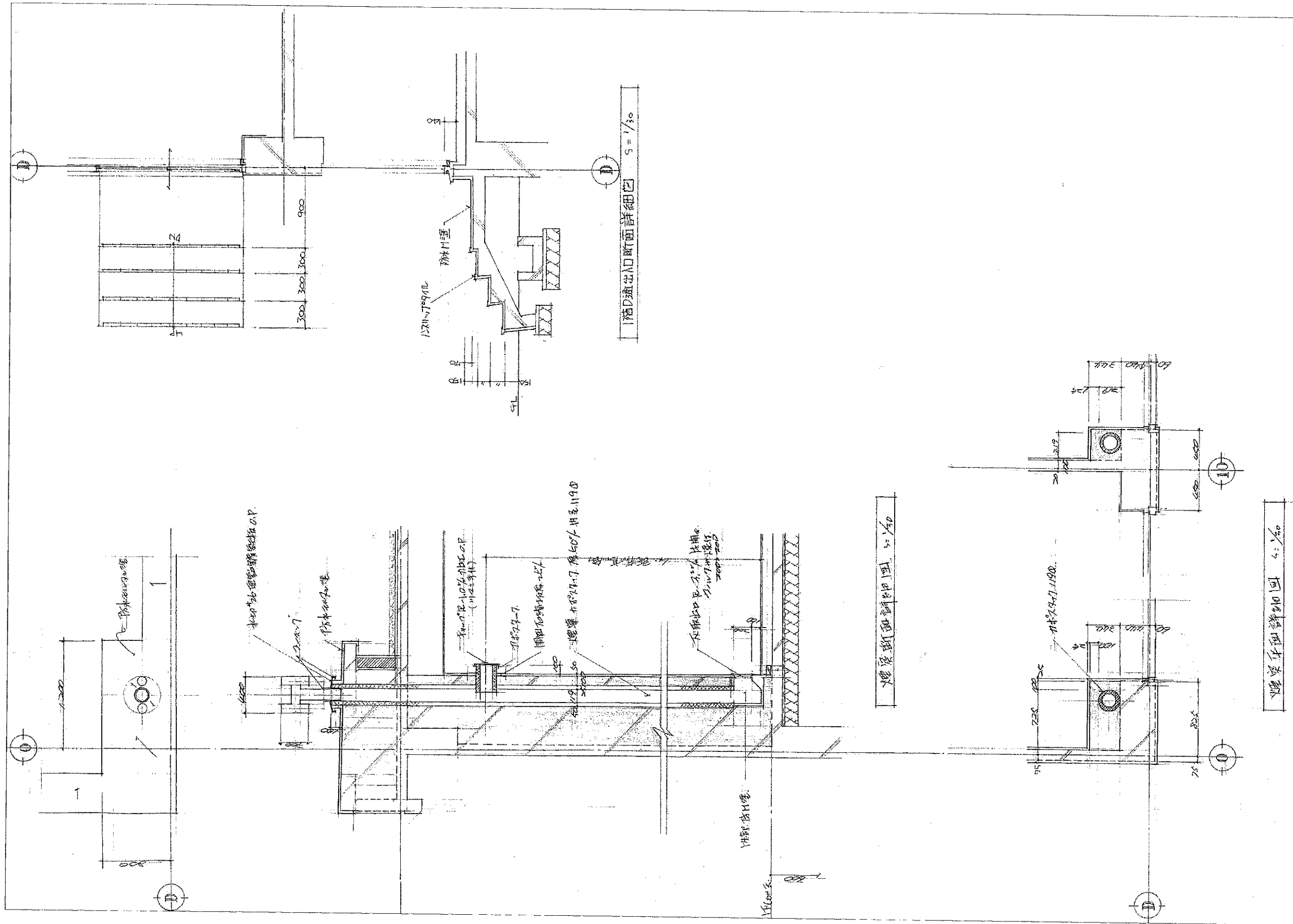
縮尺 1:50

参考図

図面番号

No. A-25 号図

枚ノ内



特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一般建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日		R08.08
訂正年月日		
監修	設計	製図

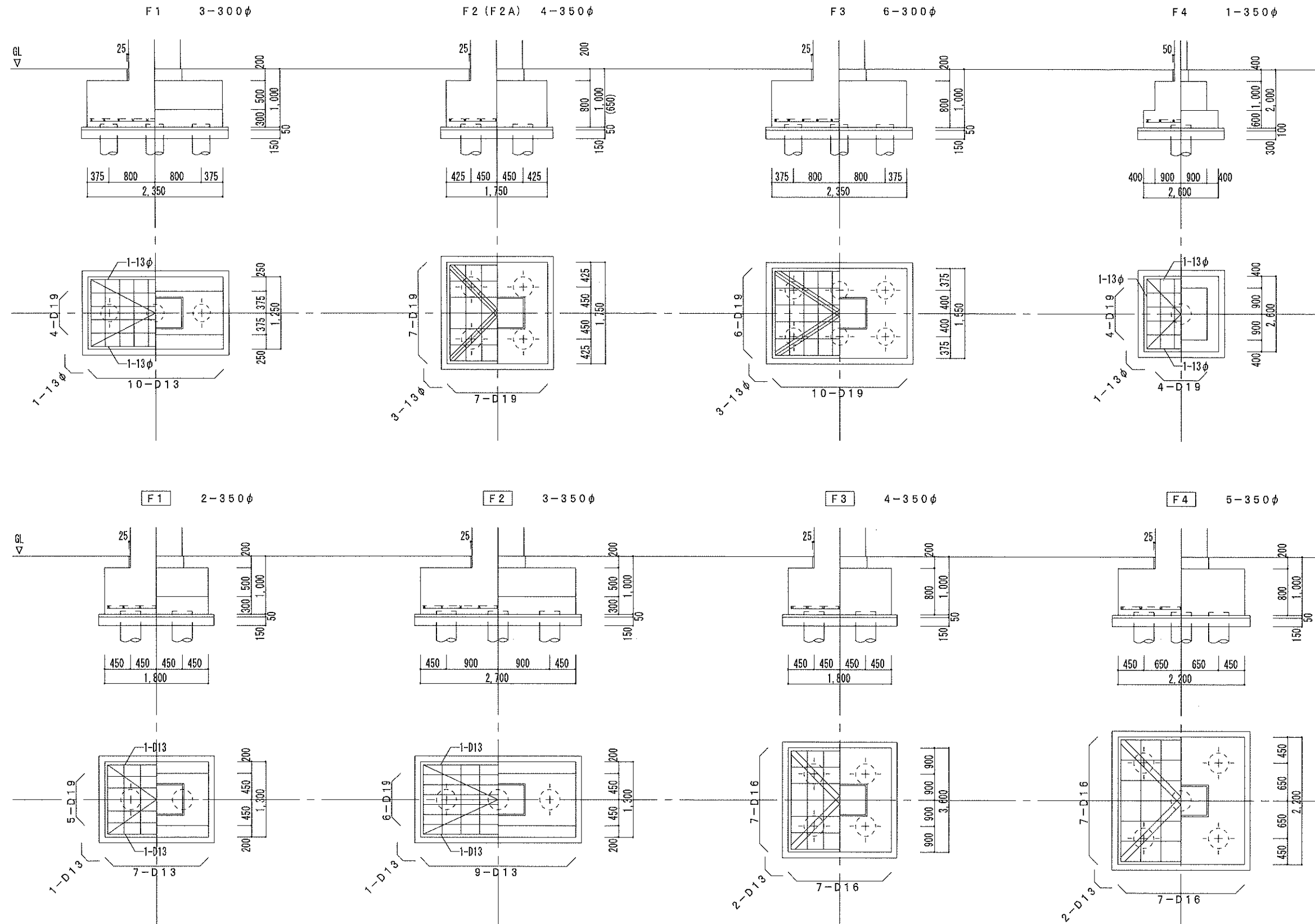
工事名称	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事
図面名称	北校舎 煙突詳細図 (当初建築時) 北校舎 中庭側 屋外階段

縮尺	1:30
図面番号	No A-26 号図
枚数	枚ノ内

参考図

既存
基礎梁リスト

既設コンクリート杭引き抜き処分
既設コンクリート杭 $\phi 300$ 、 $\phi 350$ L6.0m



特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R08.08			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1/50	図面番号 No. A-27 号図	
			訂正年月日						
			監修			設計	製図	図面名称 北校舎 基礎リスト	枚ノ内
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生						

基礎梁リスト

符 号	FG 1		FG 2		FG 3		FG 4	FG 5
位 置	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央	全断面	全断面
断 面								
bXD	350X1200		350X1200		350X1200		300X800	300X800
上端筋	4-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22
下端筋	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	2-D22
腹 筋	4-9φ		4-9φ		4-9φ		2-9φ	2-9φ
S T R	13φ@350		13φ@350		13φ@350		13φ@350	13φ@350

符 号	FG 6 (FG 6A)		FG 7		FG 8	FG 9		FB 1
位 置	端 部	中 央	端 部	中 央	全断面	端 部	中 央	全断面
断 面								
bXD	250X2100		250X1400		350X1200	350X1200		350X1450
上端筋	3-D19 (4-D19)	2-D19	2-D19	2-D19	4-D22	3-D22	4-D22	4-D19
下端筋	3-D19 (4-D19)	2-D19	2-D19	2-D19	4-D22	3-D22	4-D22	4-D19
腹 筋	2-9φ@200		2-9φ@200		2-D22	4-9φ		6-13φ
S T R	9φ@250		9φ@250		13φ@350	13φ@350		13φ350

符 号	FG 1			FG 2			FG 3		FG 4	FG 5
位 置	外 端	中 央	内 端	外 端	中央・内端		端 部	中 央	全断面	全断面
断 面										
bXD	350X1200			300X800			250X2100		350X1200	350X1200
上端筋	4-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D22		3-D19	2-D19	4-D22	4-D22
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22		3-D19	2-D19	4-D22	4-D22
腹 筋	4-9φ			2-9φ			18-9φ		2-D22	4-9φ
S T R	13φ@350			13φ@350			9φ@250		13φ@350	13φ@350

特記仕様	



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080

一級建築士登録 第125477号
細 野 幹 生

柱 リ ス ト

符 号	C 1	C 2	C 3	C 4	C 1	C 2	C 3
3 階							
BXD	900X400	900X400	500X400	900X500	900X400	500X400	900X500
主 筋	12-19φ	12-19φ	6-19φ	14-19φ	12-D19	6-D19	14-D19
HOOP	9φ@100	9φ@100	9φ@100	9φ@100	9φ@100	9φ@100	9φ@100
2 階							
BXD	900X450	900X450	500X400	900X500	900X450	500X400	900X500
主 筋	12-19φ	12-19φ	6-19φ	14-19φ	12-D19	6-D19	14-D19
HOOP	9φ@100	9φ@100	9φ@100	9φ@100	9φ@100	9φ@100	9φ@100
1階柱頭							
BXD	900X500	900X500	500X400	900X500	900X500	500X400	900X500
主 筋	12-19φ	14-19φ	6-19φ	14-25φ	14-D19	6-D19	14-D25
HOOP	9φ@100	9φ@100	9φ@100	13φ@100	9φ@100	9φ@100	13φ@100
1階柱頭							
BXD	900X500	900X500	500X400	900X500	900X500	500X400	900X500
主 筋	12-19φ, 4-25φ	14-19φ	6-19φ	20-25φ	14-D19	6-D19	20-D25
HOOP	9φ@100	9φ@100	9φ@100	13φ@100	9φ@100	9φ@100	13φ@100



パネルゾーン内のHOOPは13φ@150

参考図

製図年月日 R08.08	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1/50	図面番号
訂正年月日			No. A-28 号図
監修	図面名称 北校舎 地中梁・柱リスト		枚ノ内
設計			
製図			

符 号	G 1		G 2		G 3		G 4		G 5		G 6 (G 6 A)		G 7		G 8	G 9	
位 置	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央	全断面	端 部	中 央
R 階																	
b×D	350X700		350X700		350X700		300X700		300X700		250X1400		250X1400		350X700	350X500	
上端筋	3-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D22	2-D22	3-D22
下端筋	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	3-D22	2-D22	2-D22
腹 筋	2-9φ		2-9φ		2-9φ		2-9φ		2-9φ		14-9φ		14-9φ		2-9φ	-	
S T R	9φ@180		9φ@180		9φ@180		9φ@200		9φ@200		9φ@250		9φ@250		9φ@180	9φ@150	
3 階																	
b×D	350X700		350X700		350X700		300X700		300X700		250X2100		250X1400		350X700	350X500	
上端筋	4-D22	2-D22	5-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D22	3-D22	5-D22
下端筋	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	3-D22	3-D22	5-D22
腹 筋	2-9φ		2-9φ		2-9φ		2-9φ		2-9φ		2-D19, 22-9φ		2-D19, 14-9φ		2-9φ	-	
S T R	9φ@180		9φ@180		9φ@180		9φ@200		9φ@200		9φ@250		9φ@250		9φ@180	13φ@150	
2 階																	
b×D	400X700		400X700		400X700		300X700		300X700		250X2100		250X1400		350X700	350X500	
上端筋	6-D22	3-D22	6-D22	3-D22	6-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	5-D19	3-D19	3-D19	2-D19	3-D22	3-D22	7-D22
下端筋	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	3-D19 (4-D19)	2-D19	2-D19	2-D19	3-D22	3-D22	7-D22
腹 筋	2-9φ		2-9φ		2-9φ		2-9φ		2-9φ		2-D19, 22-9φ		2-D19, 14-9φ		2-9φ	-	
S T R	9φ@150		9φ@150		9φ@150		9φ@200		9φ@200		9φ@250		9φ@250		9φ@180	3-13φ@100	

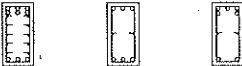
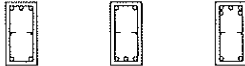
参考図

大 梁 リ ス ト そ の 2

特記なき限り 巾止め筋 腹筋用9φ-φ900~1000

符 号	G 1		G 2		G 3			G 4	G 5	
	端 部	中 央	端 部	中 央	0, 1 2端	中 央	1, 1 0端	全断面	E端	F端
R 階										
bXD	350X700		300X700		250X1400			350X700	350X500	
上端筋	4-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D19	2-D19	3-D19	3-D22	3-D22	3-D22
下端筋	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2-D19	3-D22	2-D22	2-D22
腹 筋	2-9φ		2-9φ		10-9φ			2-9φ	-	
S T R	9φ@180		9φ@200		9φ@250			9φ@180	9φ@150	
3 階										
bXD	350X700		300X700		250X2100			350X700	350X500	
上端筋	5-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D19	2-D19	3-D19	3-D22	3-D22	5-D22
下端筋	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2-D19	3-D22	3-D22	5-D22
腹 筋	2-9φ		2-9φ		2-D19, 16-9φ			2-9φ	-	
S T R	9φ@180		9φ@200		9φ@250			9φ@180	13φ@150	
2 階										
bXD	400X700		300X700		250X2100			350X700	350X500	
上端筋	6-D22	3-D22	3-D22	2-D22	5-D19	3-D19	5-D19	3-D22	3-D22	7-D22
下端筋	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	4-D19	2-D19	3-D19	3-D22	3-D22	7-D22
腹 筋	2-9φ		2-9φ		2-D19, 16-9φ			2-9φ	-	
S T R	9φ@150		9φ@200		9φ@250			9φ@180	3-13φ@100	

小 梁 リ ス ト

符 号	B 1		B 2		B 3			B 4		B 5		
位 置	端 部	中 央	外端・中央	内 端	3, 8端	中央	4, 7端	端 部	中 央	外 端	中央	内 端
断 面												
bXD	300X600		300X600		300X600			300X600		300X600		
上端筋	2-D22	2-D22	3-D22	6-D22	6-D22	3-D22	5-D22	5-D22	2-D22	3-D22	2-D22	5-D22
下端筋	2-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22
腹 筋	2-9φ		2-9φ	9φ@100	9φ@100	2-9φ		2-9φ		2-9φ		
S T R	9φ@200		9φ@200		9φ@200			9φ@200		9φ@200		

符 号	B 6			B 7		B 9
	3, 8端	中央	4, 7端	端 部	中央	全断面
断 面						
bXD	300X600			300X600		250X500
上端筋	5-D22	2-D22	4-D22	4-D22	2-D22	3-D19
下端筋	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	3-D19
腹 筋	2-9φ			2-9φ		-
S T R	9φ@200			9φ@200		9φ250

特記なき限り 巾止め筋 (スターラップ用) 9φスターラップ 毎
巾止め筋 (腹筋用) 9φ@1000~900

符 号	B 1		B 2			B 3		B 4		
	端 部	中 央	1 0端	中 央	1 2端	端 部	中 央	1 0端	中央	1 2端
断 面										
bXD	350X600		350X600			300X600		300X600		
上端筋	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22	7-D22	4-D22	2-D22	4-D22	2-D22	5-D22
下端筋	2-D22	7-D22	2-D22	7-D22	7-D22	2-D22	6-D22	2-D22	6-D22	5-D22
腹 筋	2-9φ		2-9φ			2-9φ		2-9φ		
S T R	9φ@180		9φ@180			9φ@100 梁面より2500	9φ@200		9φ@200	

参考図

特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生

製図年月日 R 08. 08

訂正年月日

監修

設計

製図

工事名称

旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称

北校舎 梁リスト 2

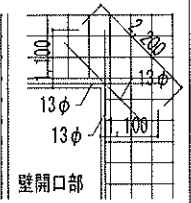
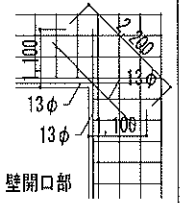
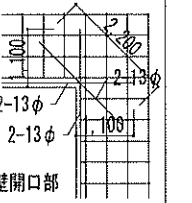
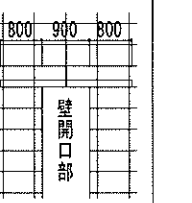
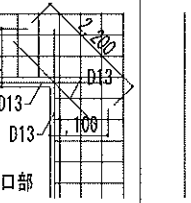
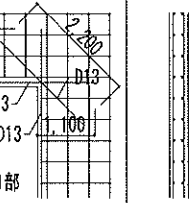
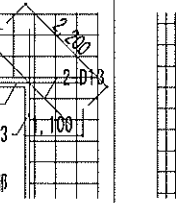
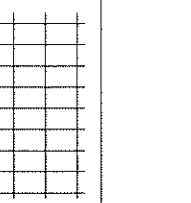
縮尺 1/50

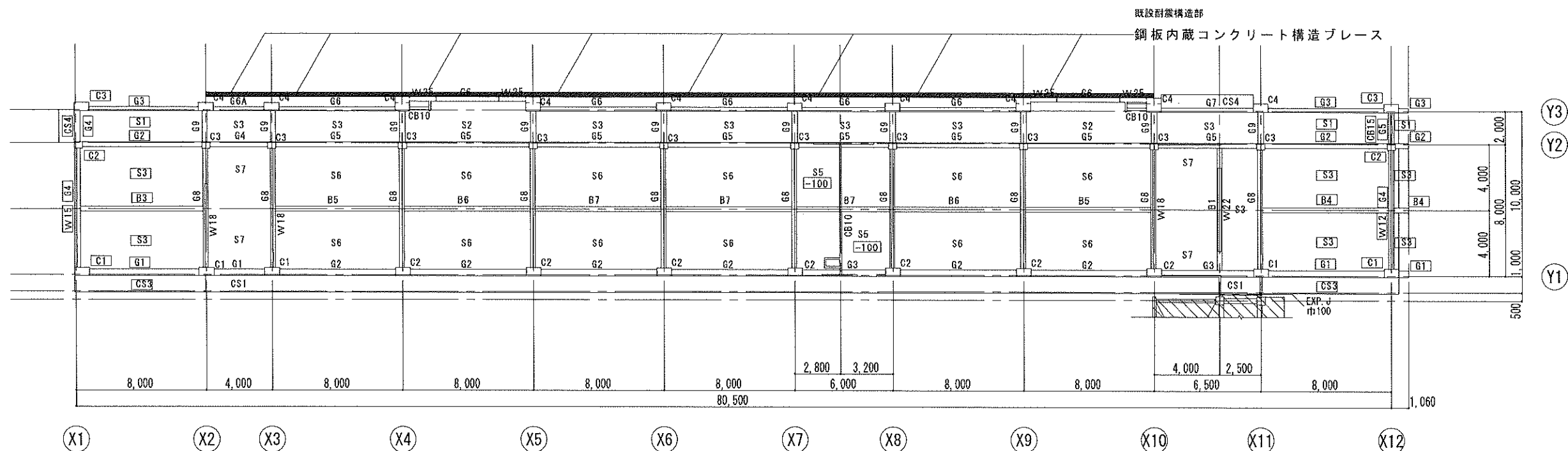
図面番号

No A-30 号図

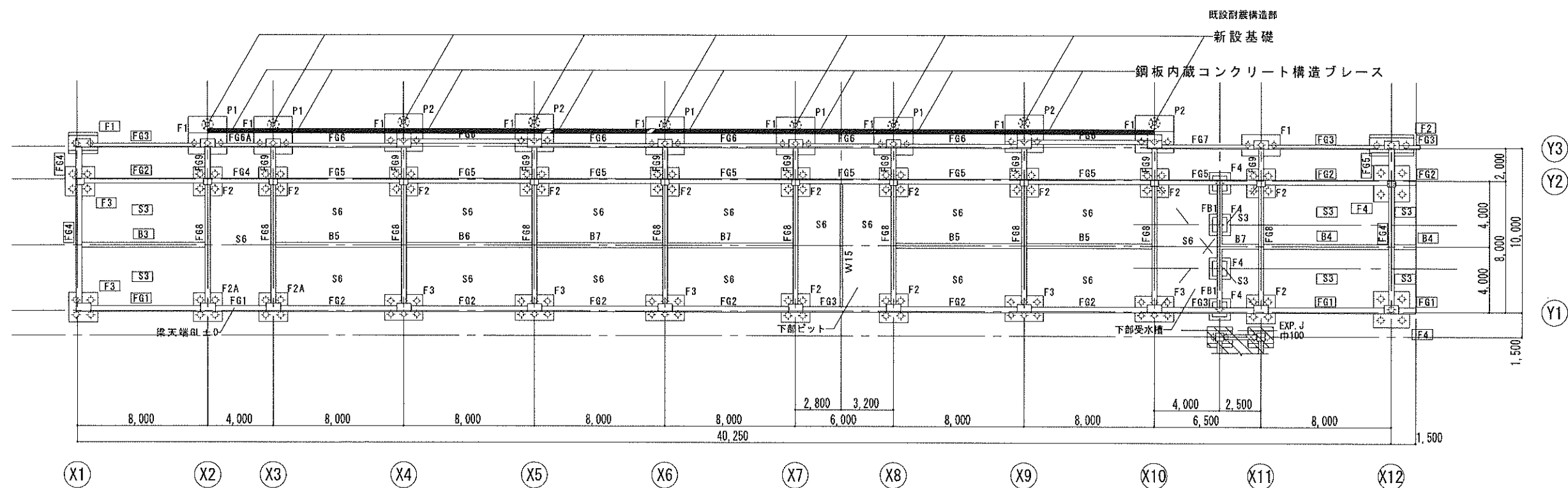
枚ノ内

符 号	版 厚	位 置	短 辺 方 向			長 辺 方 向			備 考
			端 部	中 央	側 筋	端 部	中 央	側 筋	
S 1	130	上端筋	13φ@125	13φ@250	9φ@200	9, 13φ@150	13φ@300	9φ@200	高架水槽10t
		下端筋	9φ@250	9, 13φ@125	9φ@200	9φ@300	9φ@150	9φ@200	
S 2	120	上端筋	9, 13φ@200			9φ@250			
		下端筋	9φ@200			9φ@250			
S 3	120	上端筋	9φ@200			9φ@250			
		下端筋	9φ@200			9φ@250			
S 4	120	上端筋	13φ@200	13φ@400	9φ@200	9, 13φ@250		9φ@250	
		下端筋	9φ@400	9, 13φ@200	9φ@200	9φ@250		9φ@250	
S 5	120	上端筋	13φ@200	13φ@400	9φ@200	9, 13φ@200	13φ@400	9φ@250	
		下端筋	9φ@400	9, 13φ@200	9φ@200	9φ@200		9φ@250	
S 6	120	上端筋	9, 13φ@200	-	9φ@250	9, 13φ@300	-	9φ@250	
		下端筋	9φ@400	9φ@200	9φ@250	9φ@300		9φ@250	
S 7	120	上端筋	主筋方向 13φ@150 , 副筋方向 9φ@200						階段室踊場 二辺固定
		下端筋	主筋方向 9φ@150 , 副筋方向 9φ@200						
S 1	120	上端筋	D10@200	D10@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	
		下端筋	D10@200	D10@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	
S 2	120	上端筋	D10, D13@200	D10@400	D10@200	D10, D13@250	D10, D13@250	D10@250	
		下端筋	D10@400	D10, D13@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	
S 3	120	上端筋	D10@175	-	D10@250	D10, D13@300	-	D10@250	
		下端筋	D10@350	D10@175	D10@250	D10@300	D10@300	D10@250	

符 号	W 1 2	W 1 5	W 1 8 , 2 2	CB 1 0	W 1 2	W 1 5	W 1 8	CB 1 5
壁 厚	120	150	180, 220	100	120	150	180	150
断 面								
縦 筋	9φ@200ｼﾝｸﾞﾙ	9φ@200ｼﾝｸﾞﾙ	9φ@200ｼﾞﾌﾞﾙ	9φ@800	D10@200ｼﾝｸﾞﾙ	D10@150ｼﾝｸﾞﾙ	D10@200ｼﾞﾌﾞﾙ	D10@400
横 筋	9φ@200ｼﾝｸﾞﾙ	9φ@200ｼﾝｸﾞﾙ	9φ@200ｼﾞﾌﾞﾙ	9φ@600	D10@200ｼﾝｸﾞﾙ	D10@150ｼﾝｸﾞﾙ	D10@200ｼﾞﾌﾞﾙ	D10@600
補強筋	1-13φ	1-13φ	2-13φ	└-125X65X6X8	1-D13	1-D13φ	2-D13	-



1階柱・2階梁伏図

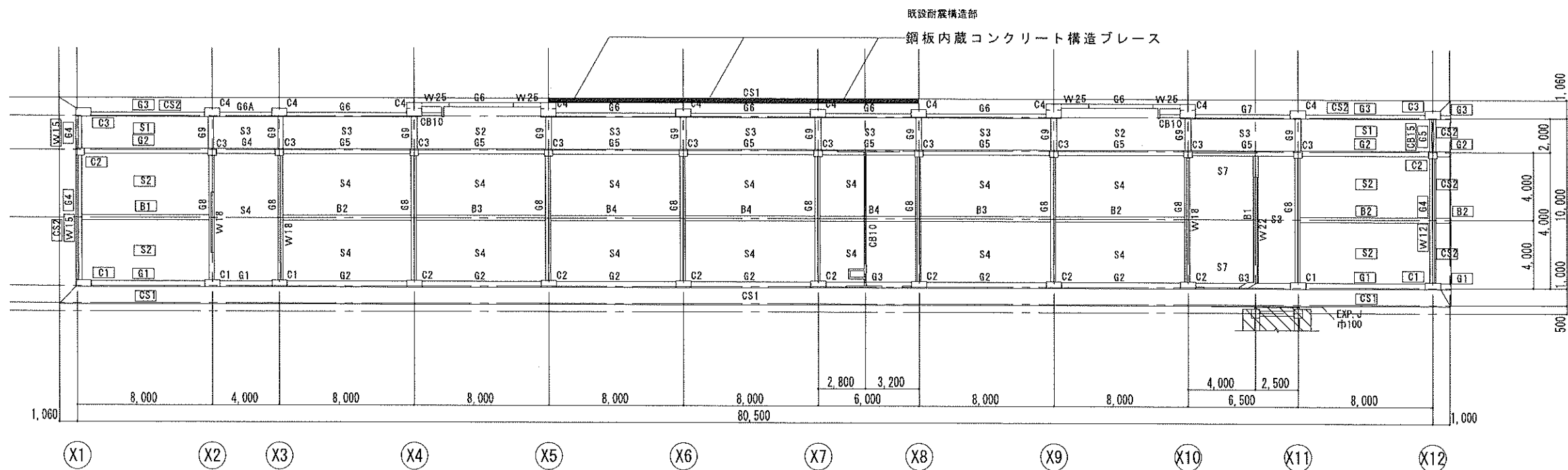


基礎伏図

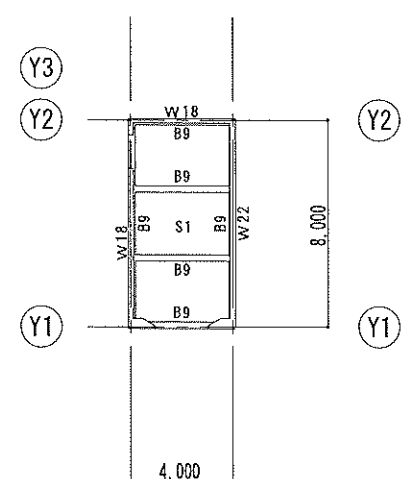
- 凡例
- ※ 新設基礎を示す
 - ※ 鋼板内蔵コンクリートブレースを示す
 - ※ 特記なき限り壁はW12
 - ※ 別棟を示す

参考図

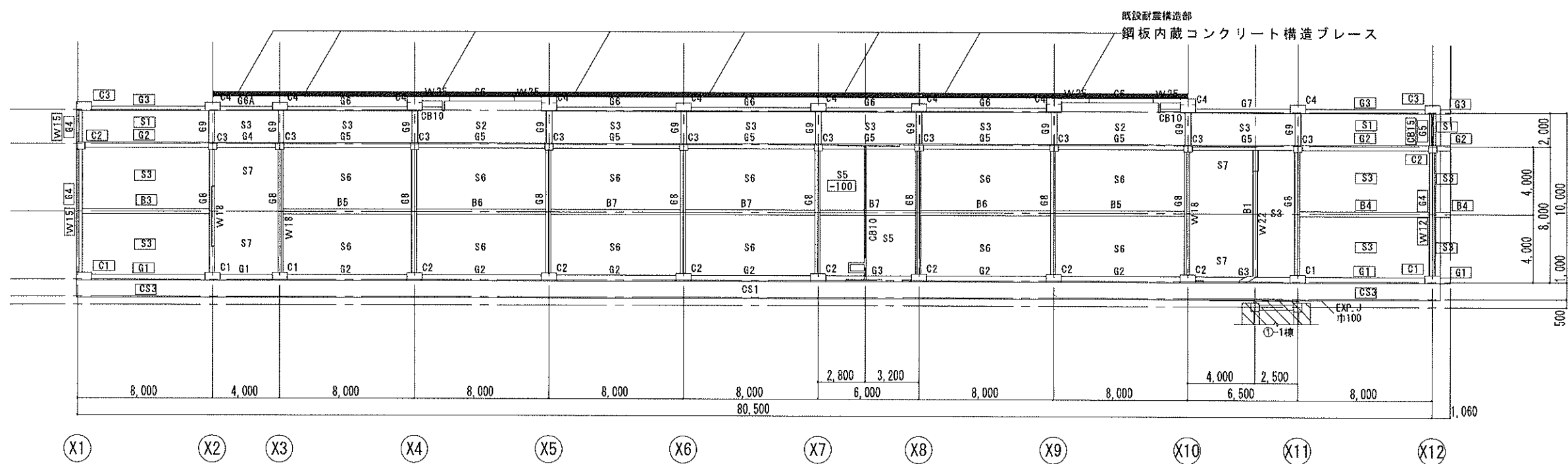
特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R08.08			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1/200	図面番号 No. A-33 号図
			訂正年月日					
			監修	設計	製図			
611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生			図面名称 北校舎 基礎・1階柱・2階梁伏図			枚ノ内		



3階柱・R階梁伏図



PH梁伏図



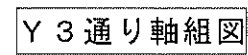
2階柱・3階梁伏図



- 凡例
- ※ 鋼板内蔵コンクリートブレースを示す
 - ※ 特記なき限り壁はW12
 - ※ 別様を示す

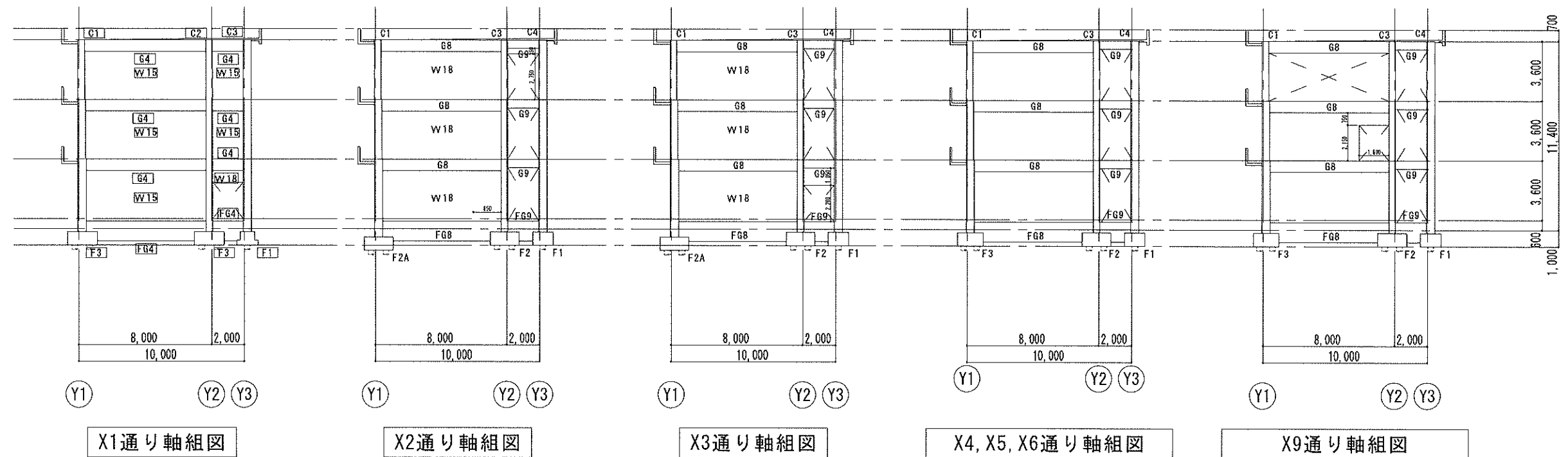
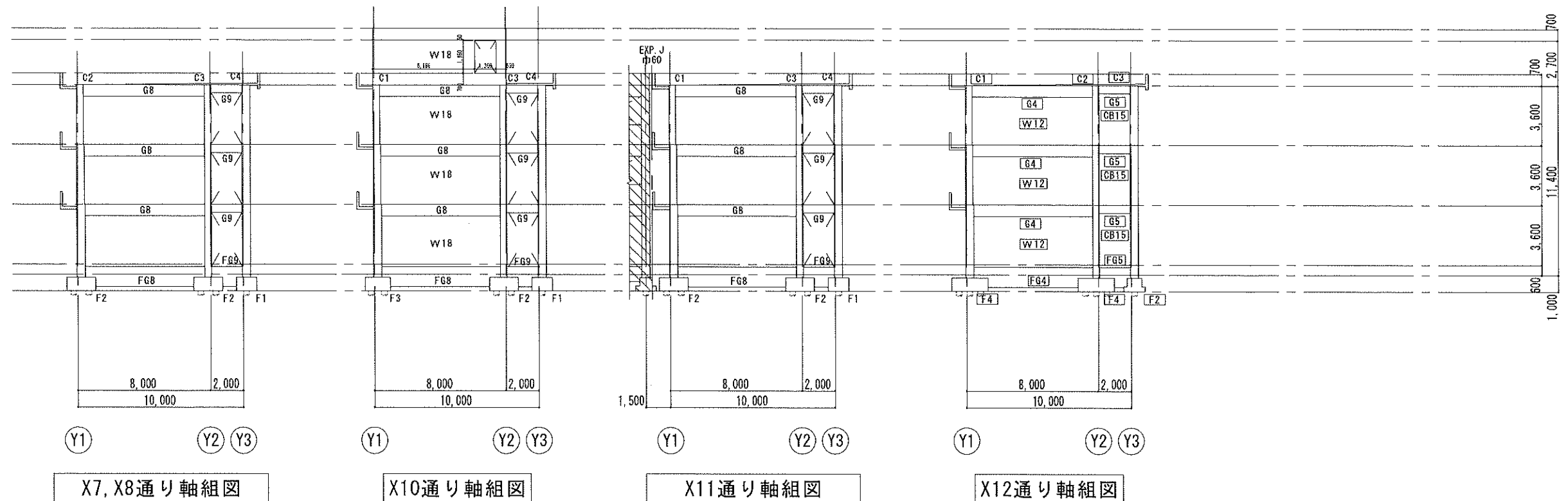
参考図

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R08.08	工事名称	縮尺 1/200	図面番号
	611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号	訂正年月日	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事		No. A-34 号図
	TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	監修 設計 製図	図面名称		
			北校舎 2階柱・3階梁図 3階柱・R階梁伏図		枚ノ内



参考図

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R08.08 訂正年月日 監修 設計 製図			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事		縮尺 1/200	図面番号 No. A-36 号図
		図面名称 北校舎 軸組図 Y3通り						
								枚ノ内

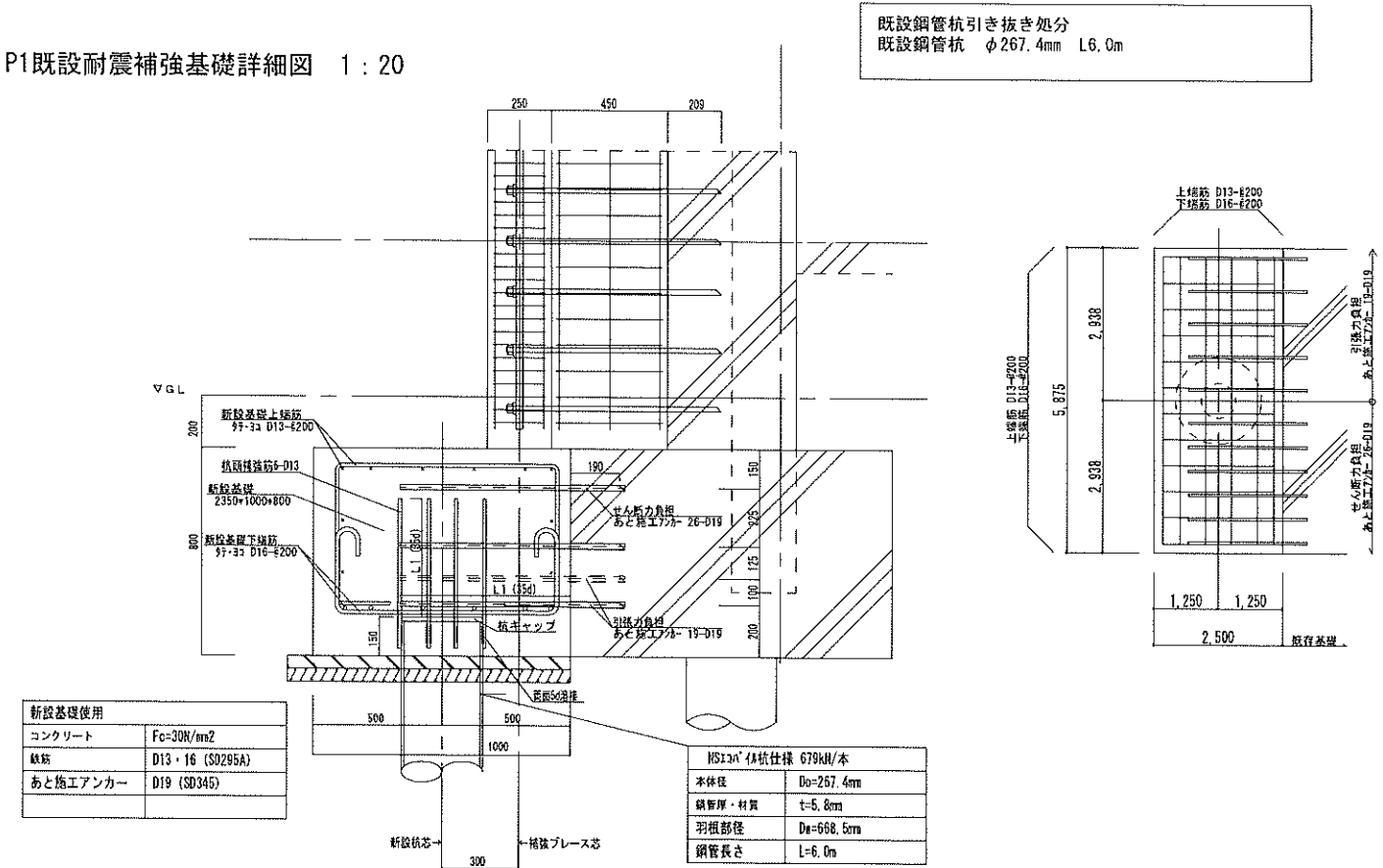


凡例
※特記なき限り壁はW12

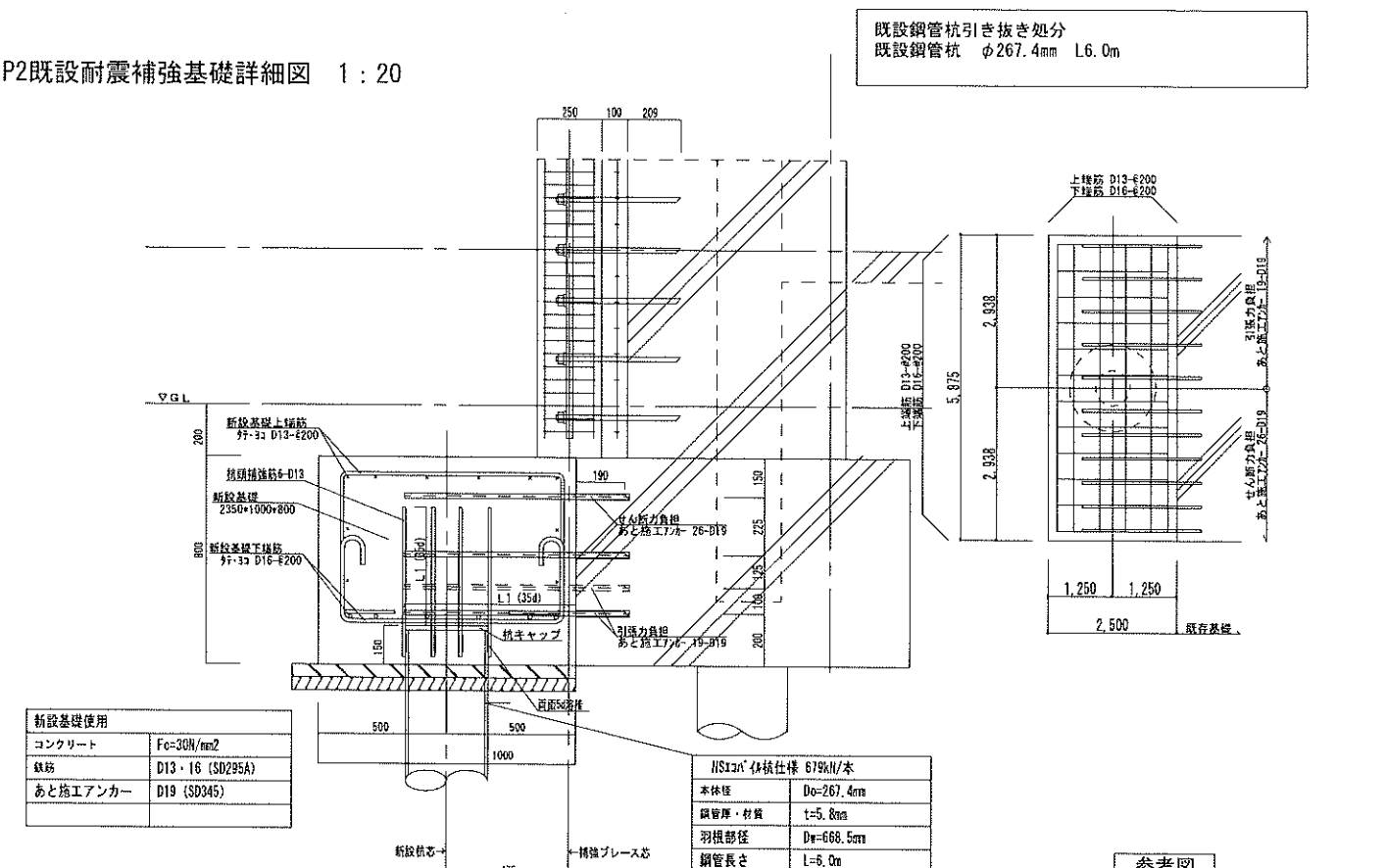
参考図

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 一級建築士登録 第125477号 細野 幹生	製図年月日 R08.08 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 図面名称 北校舎 軸組図 X1~X12通り	縮尺 1/200 図面番号 No A-37 号図	枚ノ内

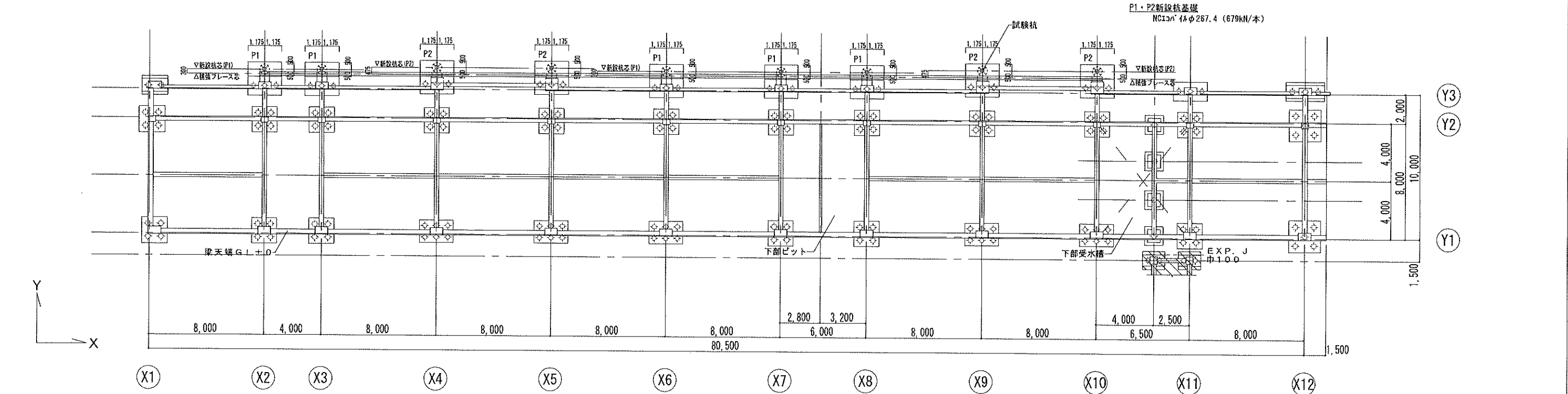
P1既設耐震補強基礎詳細図 1 : 20



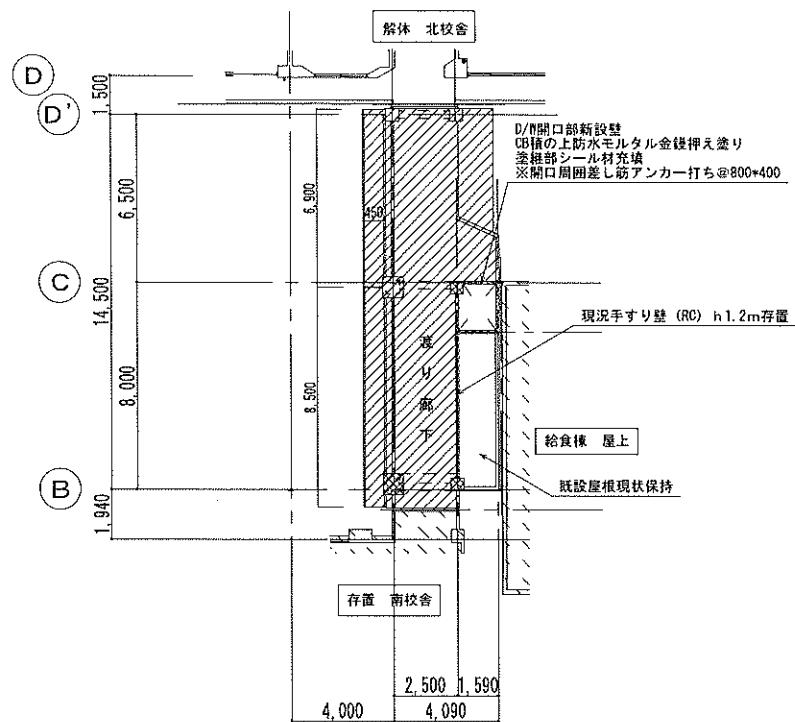
P2既設耐震補強基礎詳細図 1 : 20



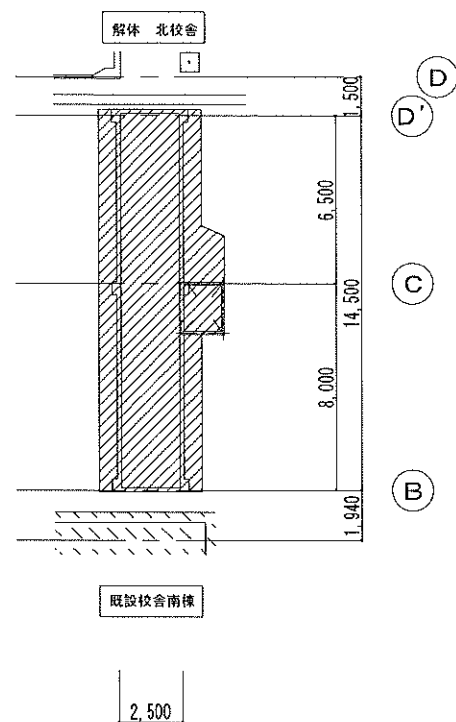
参考図



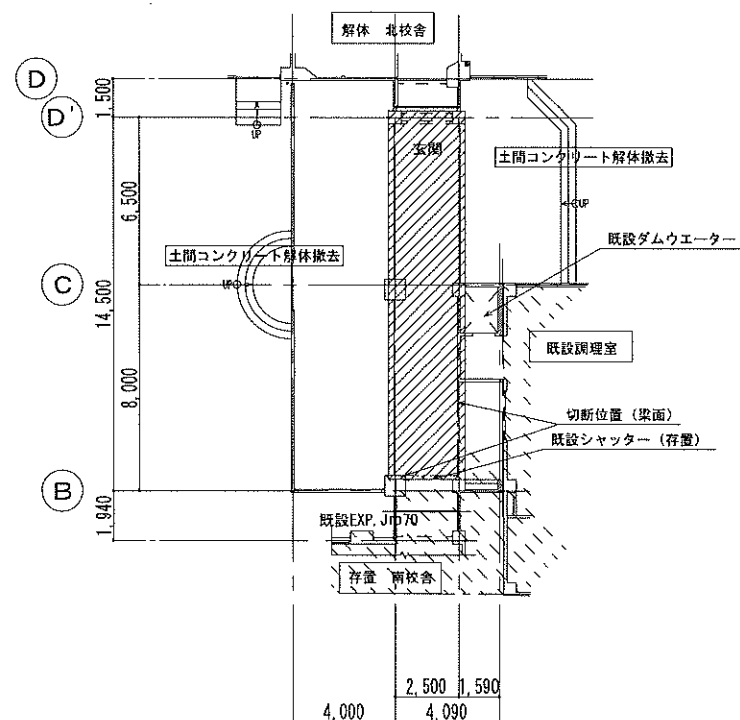
基礎伏図 ※□ 既設耐震補強基礎を示す



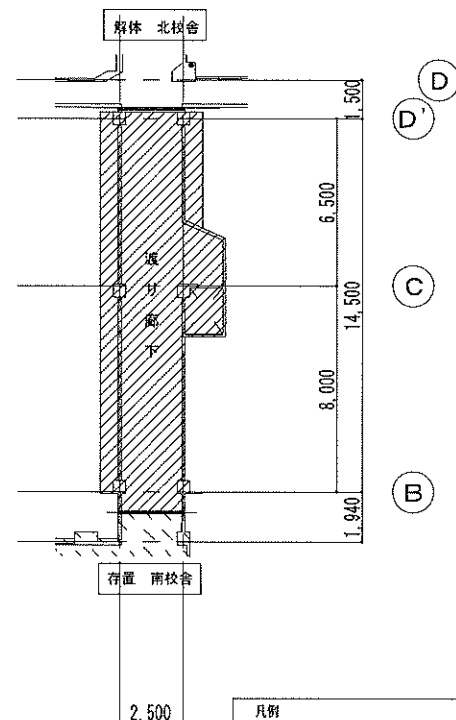
2 階平面図



屋上階平面図

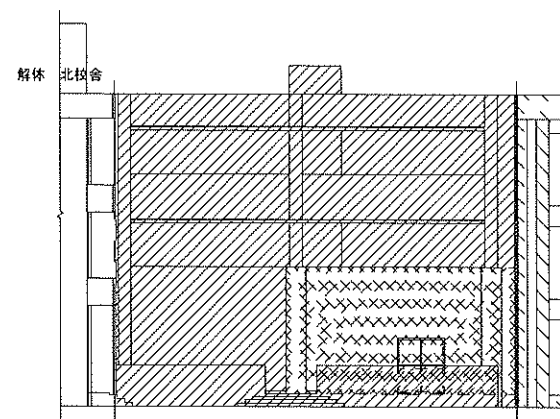


1 階平面図

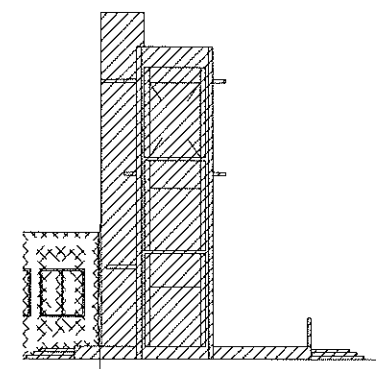


3 階平面図

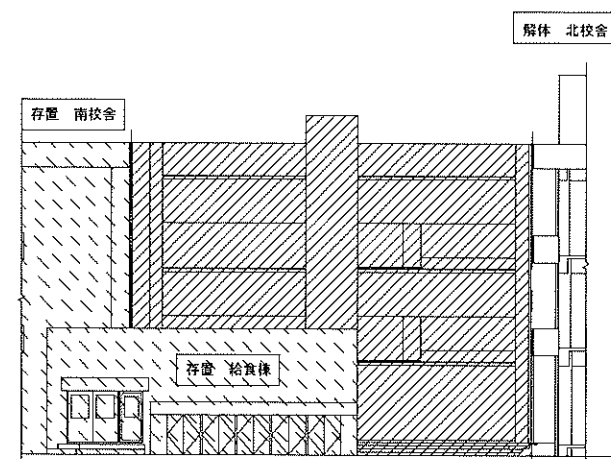
凡例	
	解体撤去部を示す
	存置部を示す (FL+約1.2m)
	既存部分



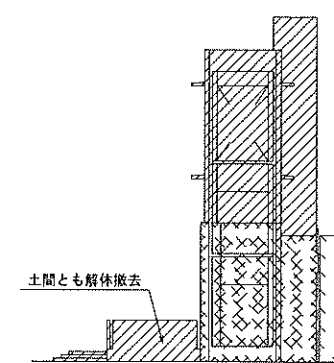
西立面図



北立面図



東立面図



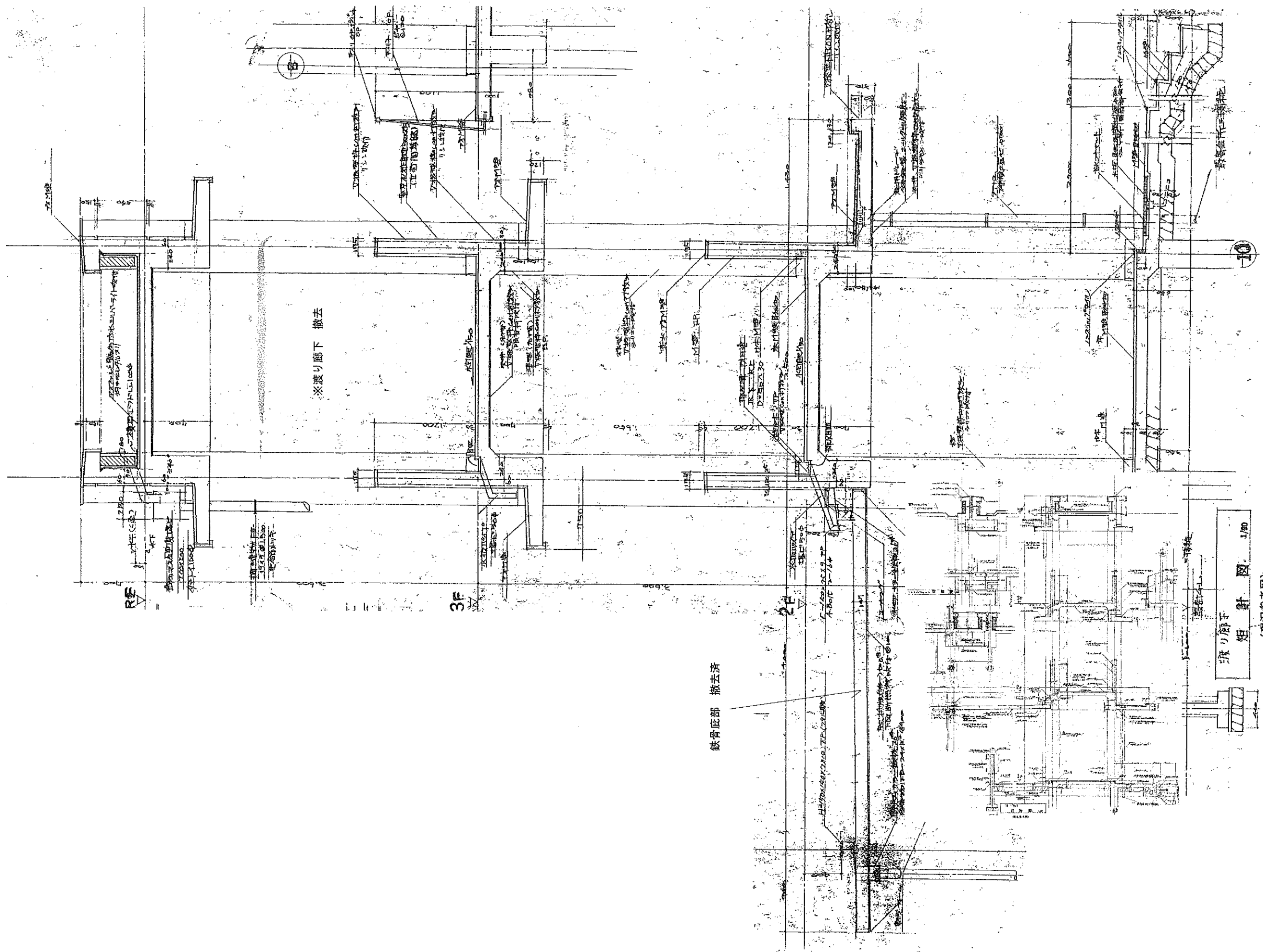
南立面図

解体渡廊下立面図 S=1/200

凡例	
	解体部を示す
	既存部分
	存置部を示す
	現況ままの範囲を示す

参考図

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R08.08 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 図面名称 渡り廊下 (北校舎～南校舎) 平面・立面図	縮尺 1/200 図面番号 No A-40 号図 枚ノ内



渡り廊下 断面図 1/50
(現況参考図)

特記仕様

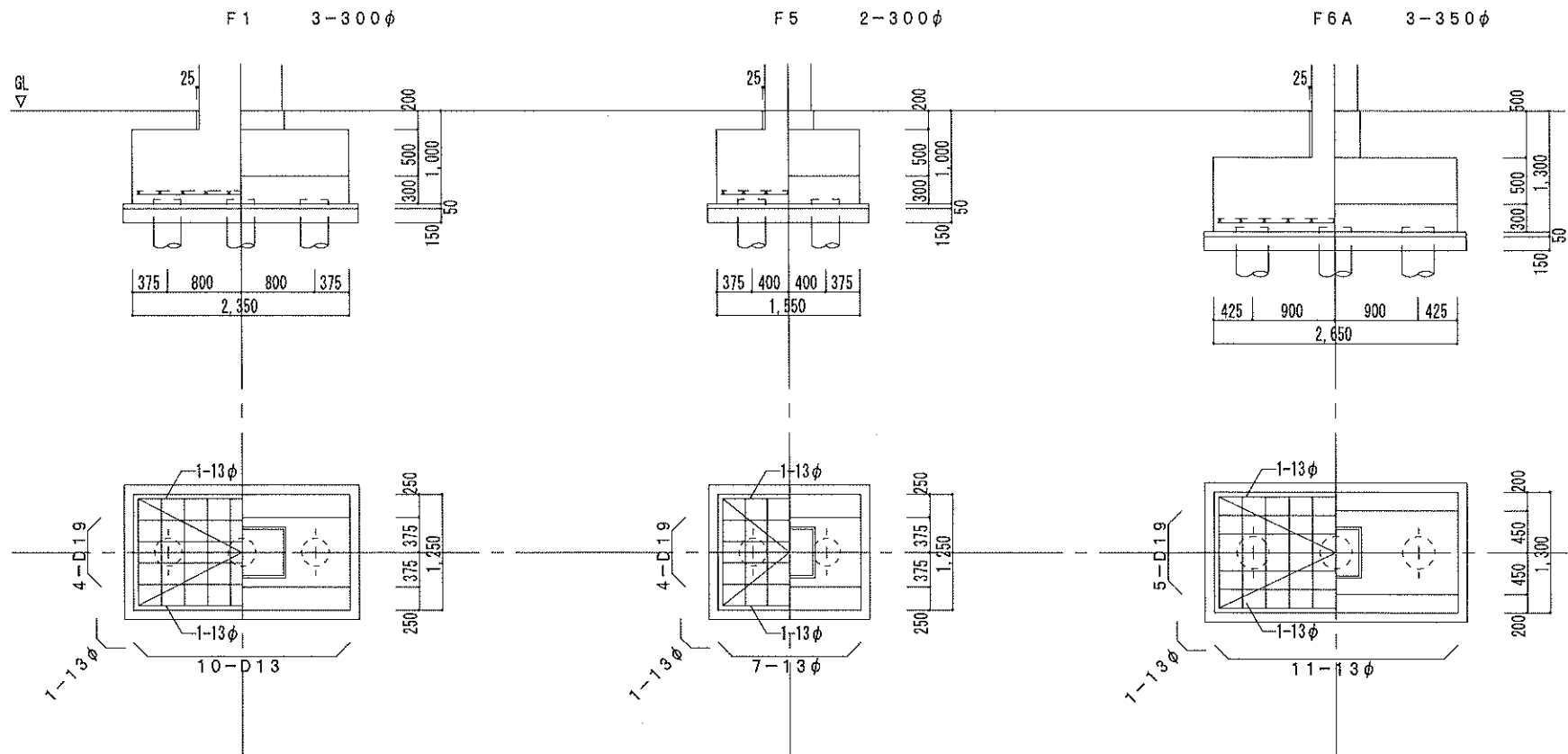
株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日 R 08.08	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1/50	図面番号 No A-41 号図
訂正年月日	図面名称 渡り廊下(北校舎~南校舎) 断面詳細図		
監修	設計	製図	枚ノ内

参考図

既存
基礎梁リスト



既設コンクリート杭引き抜き処分
既設コンクリート杭 φ300、φ350 L6.0m

既存
基礎梁リスト

符 号	FG10	FG11	FG12		FG13		FG14	
位 置	全断面	全断面	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央
断 面								
bXD	300X900	300X900	300X900		300X900		300X900	
上端筋	3-D19	3-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19
下端筋	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
腹 筋	4-9φ	4-9φ	4-9φ		4-9φ		4-9φ	
STR	13φ@350	13φ@350	13φ@400		13φ@400		13φ@400	

参考図

特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日	R08.08
訂正年月日	
監修	設計
	製図

工事名称
旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称
渡り廊下（北校舎～南校舎） 基礎・梁リスト

縮尺	1/50	図面番号
		No A-42 号図
		枚ノ内

既存 大 梁 リ ス ト				特記なき限り 巾止め筋 腹筋用は STR 4本毎とする			
符 号	G 1 0	G 1 1					
位 置	全断面	端 部	中 央				
R 階							
bXD	300X700	300X700					
上端筋	2-D22	3-D22	2-D22				
下端筋	2-D22	2-D22	2-D22				
腹 筋	2-9φ	2-9φ					
STR	9φ@180	9φ@180					
3 階							
bXD	300X700	300X700					
上端筋	2-D22	3-D22	2-D22				
下端筋	2-D22	2-D22	2-D22				
腹 筋	2-9φ	2-9φ					
STR	9φ@180	9φ@180					
2 階							
bXD	300X700	300X700					
上端筋	3-D22	4-D22	2-D22				
下端筋	3-D22	2-D22	2-D22				
腹 筋	2-9φ	2-D19					
STR	9φ@180	9φ@180					

既存 柱 リ ス ト		パネルゾーン内のHOOPは13φ@150	
符 号	C 5		
3 階			
BXD	500X500		
主 筋	8-19φ		
HOOP	9φ@100		
2 階			
BXD	500X500		
主 筋	8-19φ		
HOOP	9φ@100		
1階柱頭			
BXD	500X500		
主 筋	8-19φ		
HOOP	9φ@100		
1階柱頭			
BXD	500X500		
主 筋	8-19φ		
HOOP	9φ@100		



既存 鉄 骨 断 面 リ ス ト		材質SS41, SS41, STK41, F10T (P1ナット付又は同等品で締付けが判断できる特殊ボルトとする)	
---------------------	--	---	--

符 号	SB 1	SB 2	SB 3	P	ブレース	SB 4
断 面						
縦 筋	H-125X125X6.5X9	H-150X150X7X10	H-100X100X6X8	φ-165.2X5.0	1-22φ	C-150X75X9X12.5

既存 壁 リ ス ト			
符 号	W 1 2	C B 1 5	
壁 厚	120	150	
断 面			
縦 筋	9φ@200シングル	9φ@400	
横 筋	9φ@200シングル	9φ@600	
補強筋	1-13φ	C-180X75X7X10.5	

既存 小 梁 リ ス ト			
符 号	8 9		
位 置	全断面		
断 面			
bXD	250X500		
上端筋	3-D19		
下端筋	3-D19		
腹 筋	-		
STR	9φ250		

既存 床 版 リ ス ト		特記なき限り 四辺固定
-----------------	--	-------------

符 号	版 厚	位 置	短 辺 方 向			長 辺 方 向		
			端 部	中 央	側 筋	端 部	中 央	側 筋
S 3	1 2 0	上 筋	9φ@200			9φ@250		
		下 筋	9φ@200			9φ@250		

特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080

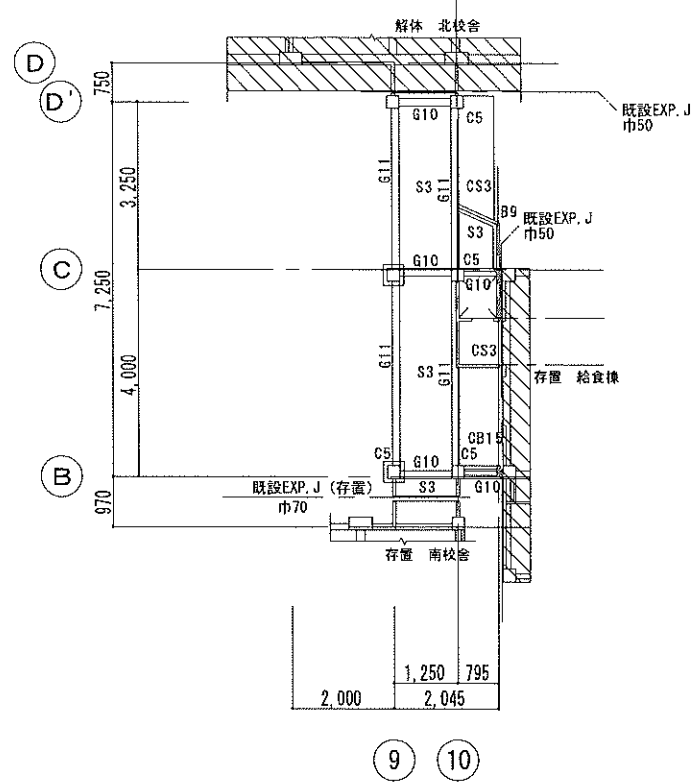
一級建築士登録 第125477号
細 野 幹 生

製図年月日	R08.08	
訂正年月日		
監修	設計	製図

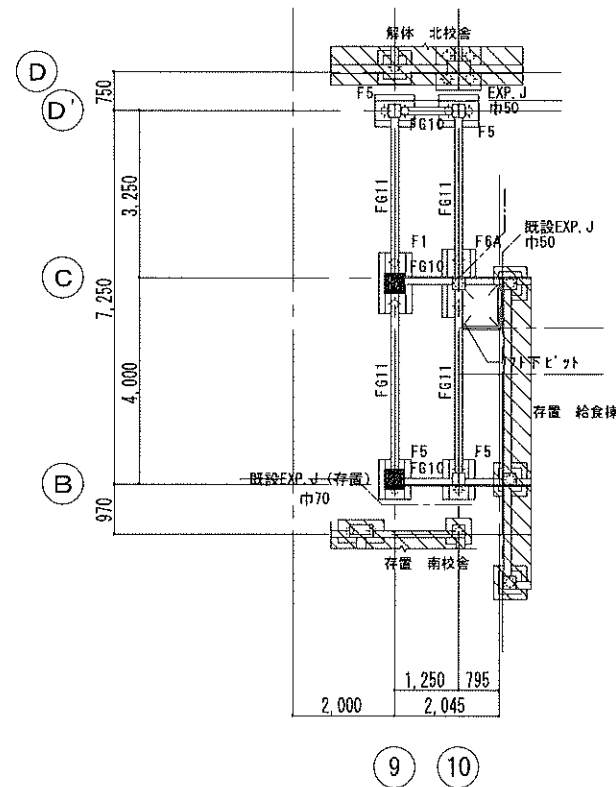
工事名称	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事
図面名称	渡り廊下（北校舎～南校舎） 柱・梁・床・壁リスト

縮尺	1/50	図面番号
		No A-43 号図
		枚ノ内

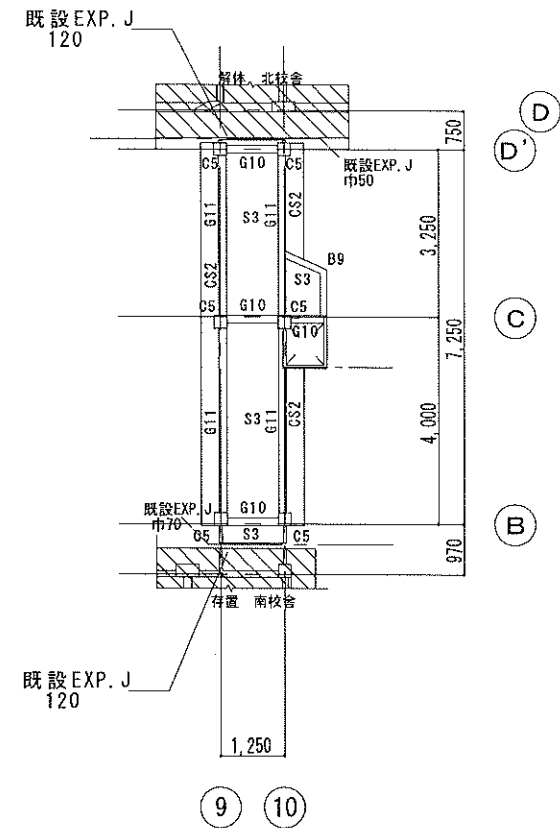
参考図



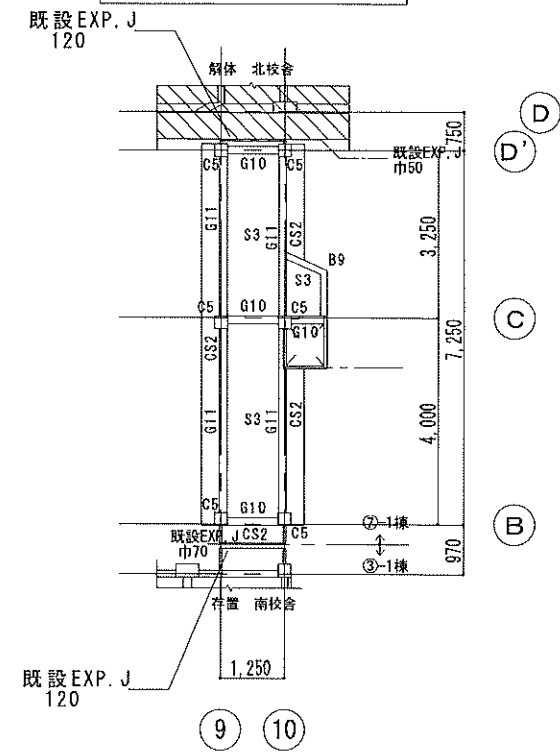
1階柱・2階梁伏図



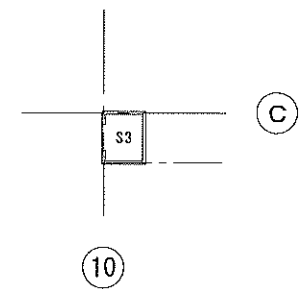
基礎伏図



3階柱・R階梁伏図



2階柱・3階梁伏図

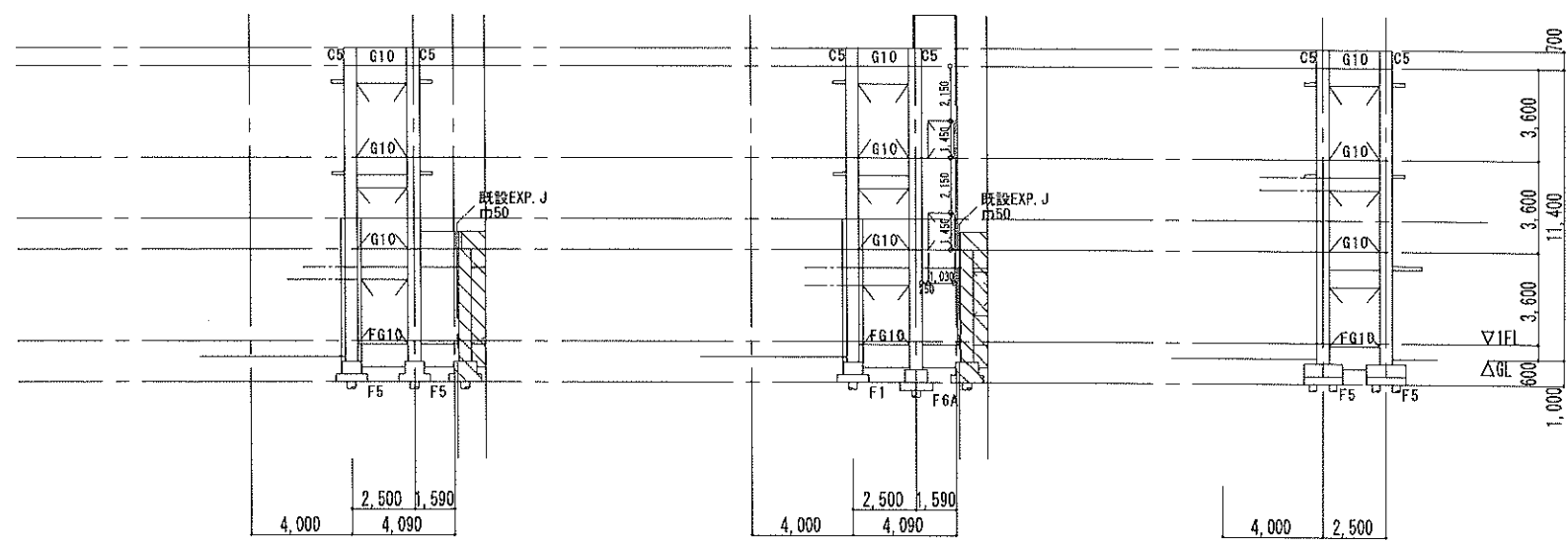


機械室屋根伏図

- 凡例
- ※ 補強部分を示す
 - ※ 特記なき限り壁はH12
 - ※ 別棟を示す

参考図

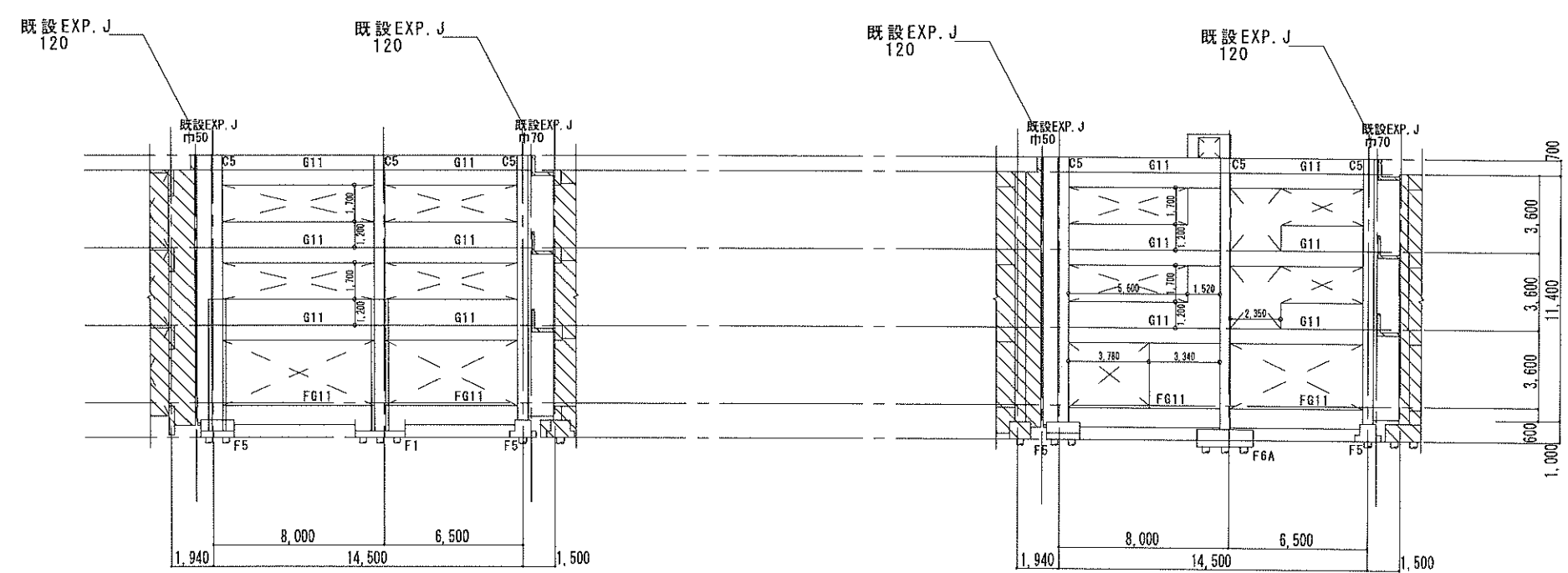
特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 ROB.08 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 図面名称 渡り廊下(北校舎～南校舎) 基礎、1・2・3階柱、2・3・R階梁伏図	縮尺 1/200	図面番号 No. A-44 号図 枚ノ内
-------------	--	--	---	-----------------	------------------------------------



9 10
B通り軸組図

9 10
C通り軸組図

9 10
D'通り軸組図



9
9通り軸組図

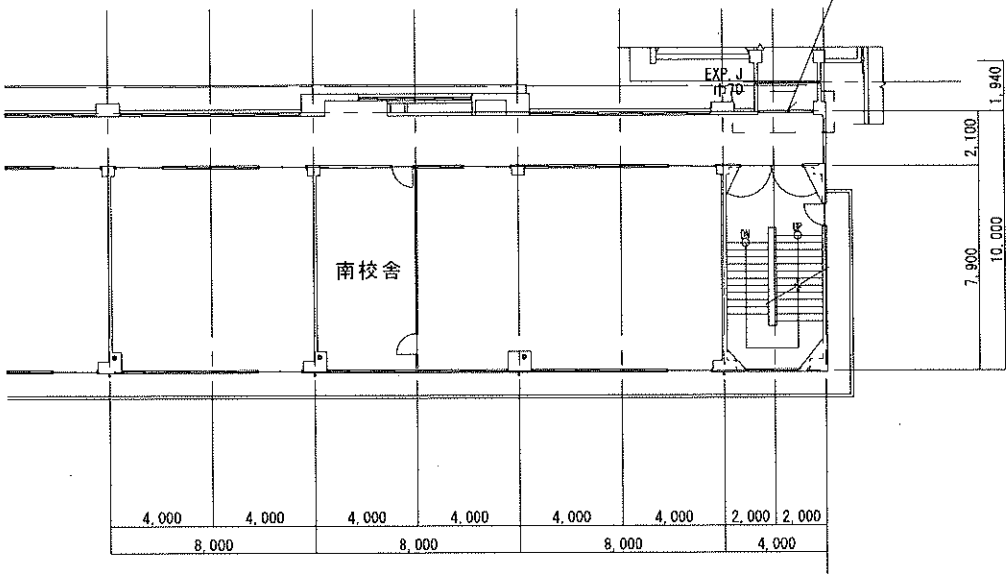
10
10通り軸組図

凡例
※ 補強部分を示す
※ 特記なき限り壁はN12
※ 別棟を示す

特記仕様			株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生		製図年月日 R08.08		工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1/200	図面番号		
					訂正年月日				No. A-45 号図		
							監修	設計	製図	図面名称 渡り廊下（北校舎～南校舎） 軸組図 B・C・D' 通り 9,10通り	枚ノ内

新設外壁（3階廊下開口部塞ぎ）

- ・軽量鉄骨壁下地設置の上、外部側にカラーガルバニウム鋼板（ $t=0.5$ ）を設置
- ・カラーガルバニウム鋼板端部と既存南校舎躯体との取り合い部はシーリングを打設する



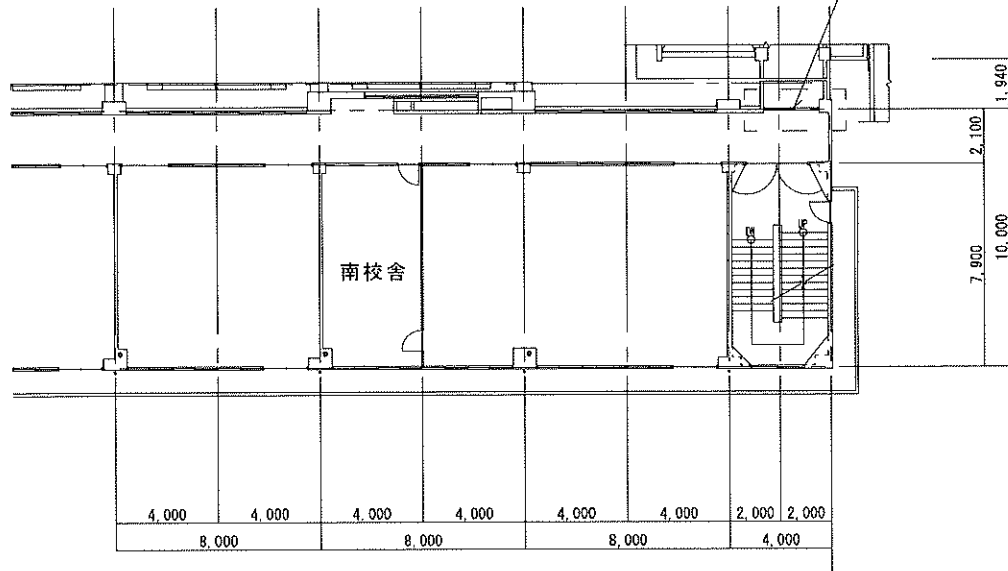
6 7 8 9 10

南校舎 3階平面図

S=1/200

新設外壁（2階廊下開口部塞ぎ）

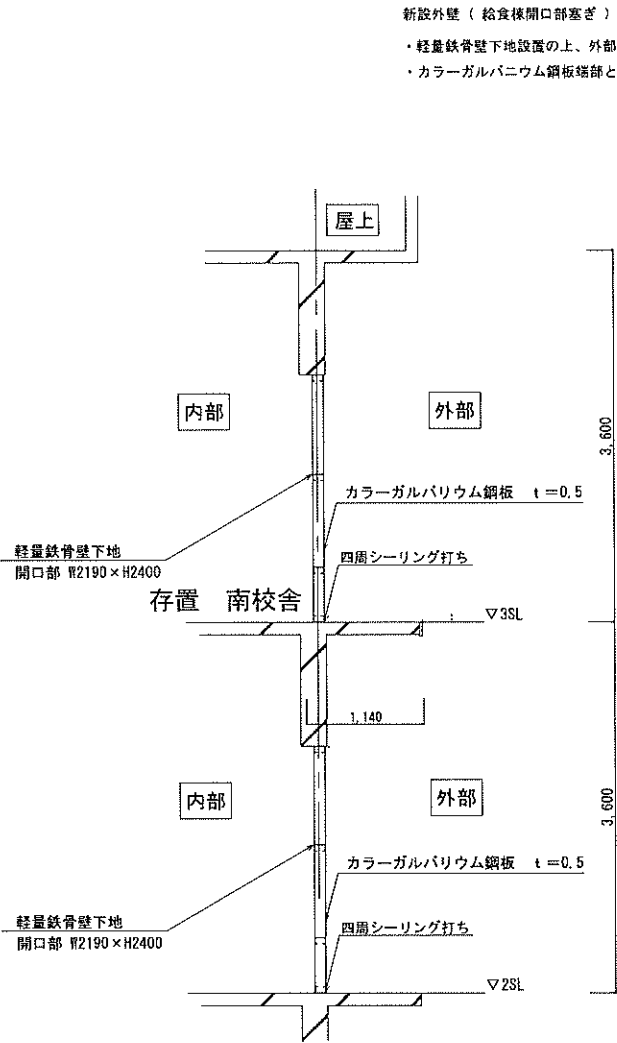
- ・軽量鉄骨壁下地設置の上、外部側にカラーガルバニウム鋼板（ $t=0.5$ ）を設置
- ・カラーガルバニウム鋼板端部と既存南校舎躯体との取り合い部はシーリングを打設する



6 7 8 9 10

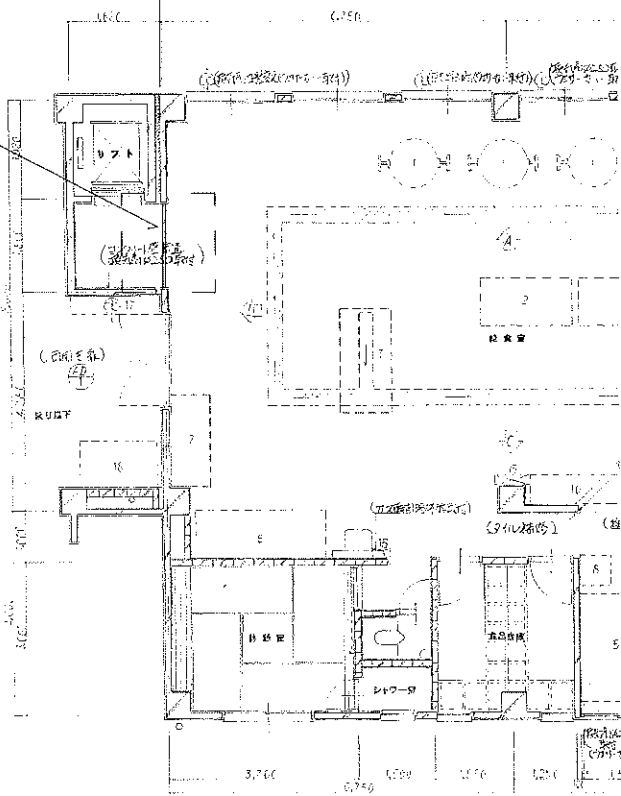
南校舎 2階平面図

S=1/200



断面詳細図 S1:20

渡り廊下撤去



給食室平面図 S:1/100

凡例

新設外壁（開口部塞ぎ）

※ 南校舎1階部分は既存シャッターがある為、新設外壁は設けない

特記仕様	木下建築設計事務所

株式会社
611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生

製図年月日 R08.08	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1:200	図面番号
訂正年月日			No A-47 号図
監修 設計 製図	図面名称 南校舎 2・3階平面図 給食棟 平面図 (廊下開口部閉塞箇所図)		枚ノ内

【工事概要】

1 工事場所 宇治市小倉町堀池 7 2 番地

2 建物概要

1 建物名

構造

階数

延床面積 (m²)

消防法令別表第

耐火安全性の分類

備考

北校舎

RC

3

○甲 ○乙

南校舎 給食棟

RC

3 1

○甲 ○乙

体育館

RC

1

○甲 ○乙

プール・その他

RC

1

○甲 ○乙

3 工事科目

工事科目

建物名称

北校舎

南校舎

体育館

給食棟

プール・その他

空調設備

○

○

換気設備

○

○

排煙設備

○

○

自動制御設備

○

○

衛生器具設備

○

○

給水設備

○

●

排水設備

○

○

給湯設備

○

○

消火設備

○

○

ガス設備

○

○

厨房機器設備

○

○

浄化槽設備

○

○

医療ガス設備

○

○

撤去工事

●

○

【特記事項】

1 一般事項

1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和 4 年版（以下「標準仕様書」という。）」及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和 4 年版（以下「標準図」という。）」及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和 4 年版」による。

2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2 特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。

章 項目 特記事項

一

※設備機材等

本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

※機材の承諾

機材の承諾に原しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集（最新版）によるものとする。

※機材の品質・性能証明

使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第 1 編第 1 章第 4 節 1. 4. 2 (3) の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。

※現場代理人

本工事の施工に当たっては、請負契約書第 10 条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。

※電気保安技術者

※適用する ○適用しない

○技能士（一般）

※配管（配管工事）

※建築板金（ダクト製作及び取付け）

○冷凍空調調和機器施工

※工事用電力・水その他

本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。

※官公署への手続き

官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。

※工事用仮設物

構内につくることが ※できる ○できない

※足場・作業構台

別契約の関係者・受注者が設置したものは、無償で使用できる。

※監督職員事務所

※設置しない ○設置する (○本工事 ○別途)

※監督職員事務所

下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。
・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)
・機械設備工事監理指針
・建築設備耐震設計施工指針
・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 編(最新版)

※建設副産物の処理及び建設発生土の処理

○建設副産物の処理
右記のほか、
現場説明書による。
○引き渡しを要するもの【 】
○再生資源利用を図るもの【 】
○特別管理産業廃棄物
○ P C B 使用機器 ○臭化リチウム ○
○建設発生土の処理
右記のほか、
現場説明書による。
○構外搬出適切処理 ※(一財)城陽山砂利採取地整備公社
○運搬及び処分費は ○本工事 ○別途
○構内指定場所に敷き均し

再生資源利用（促進）計画・実施書の提出

詳細は現場説明書「II 特記事項 14 建設副産物の取扱い 2) 再生資源利用（促進）計画・実施書について」による。

1) 「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。

2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。

3) 冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う（家電リサイクル法対象機器を除く）。（積込：※本工事 ○別途、 処分費：※本工事 ○別途、 運搬費：※本工事 ○別途）

○アスベストの処理等

1) 次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。
○ダクトパッキン ○含有 ○不含 ○要調査(分析資料数：)
○配管エルボ部保温材 ○含有 ○不含 ○要調査(分析資料数：)
○煙道の断熱材 ○含有 ○不含 ○要調査(分析資料数：)
○アスベスト成形板 ○含有 ○不含 ○要調査(分析資料数：)
アスベスト成形板の処理等
施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。
・アスベスト成形板使用部位の確認・アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認
・アスベスト成形板使用数量の確認・施工範囲等の確認
確認範囲 ※成形板の製造年等の確認 ○X線解析法

2) アスベスト含有調査は以下のとおりとする。
(ただし、調査費用は ※本工事 ○別途 とする。)
※ J I S A 1 4 8 1-2 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法—第 2 部試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又は J I S A 1 4 8 1-3 「建材製品中のアスベスト含有方法—第 3 部：アスベスト含有率の X 線回折定量分析方法」による。

3) アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。
調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督員との協議による。

項

特記仕様

章

項目

特記事項

一

※工事関係書類

営繕工事契約関係書類提出書類書式集◆一覧表により提出。
●宇治市へ「A」参照 <http://www.city.ujii.kyoto.jp>

※施行報告

月報 ※2部 ※3部 毎月末にめ、翌月の5日までに提出する。

※工事写真

1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編(最新版)」による。
2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。
3) デジタルカメラで撮影可とする。

※完成図書

名 称	内 容	大きさ	部 数
○完成図	金文字製本	A4版	1部
○完成図	○背貼り製本() ○A4ファイル止め		2部
○施工図	○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め		2部
○機器完成図等	機器製作図 ファイル止め	A4版	2部
	保守指導案内書(機器取説書を含む)		
	機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書		
○諸官庁提出書類	副 本		1式
○原図	完 成 図		1部
○完成写真	アルバム綴り		2部

※著作権等

電子納品については、現場説明書による。

※付属品及び予備品

標準仕様書によるほか、別表による。

※総合試運転調整
(測定結果は報告書にて提出)

○風量調整(測定共) ○水量調整(測定共) ○室内外空気の温度測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○別表2による
○飲料水の水質の測定 ○雑用水の水質の測定 ○室内温度測定(夏冬の切替による)

○耐震施工

1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。
2) 下記の設置用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。

設 置 場 所	○特定の施設		○一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)
中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
1 階 及 び 地 下 階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)

設 置 場 所	○特定の施設		○一般の施設	
	水 槽		水 槽	
上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5	
中 間 階	1.5		1.0	
1 階 及 び 地 下 階	1.5		1.0	

注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。
屋上に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。

注2 ()内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。

注3 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。

注4 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上階2階。

注5 重要機器(水槽類)は、下記に示すものとする。(水槽類にはオルタンク等を含む。)

【 】

注6 「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」による形鋼振れ止め支持を行う場合は「SA種とする。ただし、取付け金物については標準品に準ずる。」

○一般用弁

標準仕様書第2編2.2.1(ア)～(シ)によるほか、下記による。
1) 水道連結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。
2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。

○フレキシブルジョイント

機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、銅板に対してはペロウズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする。

○伸縮管継手
(鋼管用)

鋼管用伸縮管継手は下記による。
○ペロウズ形 ○スリッパ形

○溶接接合

溶接部の非破壊検査は、
○適用しない
○適用する(○放射線透過検査 ○浸透深傷検査又は磁粉深傷検査)

○地中埋設管及び埋設表示用テープ

1) 給 水 管 地中埋設管 (○要 ○不要) 埋設表示用テープ (○要 ○不要)
2) 消 火 管 地中埋設管 (○要 ○不要) 埋設表示用テープ (○要 ○不要)
3) ガ ス 管 地中埋設管 (○要 ○不要) 埋設表示用テープ (○要 ○不要)
4) 油 管 地中埋設管 (○要 ○不要) 埋設表示用テープ (○要 ○不要)
5) ブライン管 地中埋設管 (○要 ○不要) 埋設表示用テープ (○要 ○不要)
用表示のあるテープ(幅は15.0mm以上)で、2倍長以上重ね合わせて使用する。

○防食処理

土中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処理を行う。

○保温

1) 保温材の使用は、下記による。

給水管・排水管	○ポリスチレンフォーム保温材	○
排煙ダクト・煙道、排気筒	○ロックウール保温材	○
その他	○グラスウール保温材	○ロックウール保温材

2) 膨張管及び膨張水槽からの補給給水管の保温は、冷水管に準ずる。

3) 銅板製タンクの保温 ○必要 ○不要

4) 保温を施す膨張水槽等の蓋の保温 ○必要 ○不要

5) エア抜管の保温厚は2.0mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜弁までとする。

6) 露出配管の保温外装種別は、下記による。
○屋内 ○合成樹脂カバー1 ○合成樹脂製カバー2 ○カラー亜鉛鉄板
○屋外 ○ステンレス鋼板

7) 弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。
○屋内 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○
○屋外 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○

8) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。

9) 合成樹脂製支持受 ○硬質ウレタンフォームに準ずるもの
○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの

○塗装

標準仕様書による他下記の配管の塗装(指定色塗装)を行う。ただし保温を行う配管ダクトを除く
○屋外(○ダクト ○配管) ○屋内PS・EPS(○ダクト ○配管)
○屋内機械室・電気室(○ダクト ○配管)

○吹出口及び吸込口ボックス

ボックスの材質については、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合はJIS A 4009(空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材)によるものとし、厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものであるとする。
ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。

○ステン製ダクトの板厚

ステンレス製ダクトの板厚は JIS A 4009 2017による

○ボックス

P F 管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する

○容量等の表示

機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。

○誘導電動機

電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JIS C 4213(低圧三相かご形誘導電動機-低圧トップラナーモータ)による。

○開放形膨張タンク等

開放形膨張タンク、補給水タンク及び消火用充水タンク材質は次による
○銅板製 ○ステンレス銅板製

○電線及び電線管

電線及び電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による

章	項 目	特 記 事 項
共通事項	●はつり (新設配管の場合)	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	○インサート及び アンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 施工後確認試験 ○行う (国土交通省大官官房官営繕部の公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (平成31年度)) による。 ○行わない
	○防煙ダンパー及び 防火防煙ダンパー	復帰方式は ○遠方復帰式 (電気式 (定格入力 DC24V 0.6A以下)) ○手動復帰式
	○消音内貼	ダクト及びチャンバー、消音エルボの内貼り (箇所図示) は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は ○不要 ○必要 ・チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。) ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
	○ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けけるチャンパー類に必要に応じ設ける。
	○取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
	○機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等 (○溶融亜鉛メッキ ○SUS) ビット内 ・その他 (○一般品 ○) ○機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。
	○防火区画	○平面階 ○図示 ○
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。
	○天井上下区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	○給油設備	地下オイルタンク ○設ける ○設けない 遠隔油量指示計 ○設ける ○設けない 副指示計 ○設ける ○設けない オイルサービスタンク 油面計 ○ゲージ式 ○ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○満油警報 ○遠隔警報 (○減油 ○満減油)
	○建物導入部配管 (排気及び通気を除く)	○標準図 施工4(a) (フレキシブルジョイントを使用) ○標準図 施工5(b) (ボールジョイントを使用) ○標準図 施工5(c) (スリッパジョイントを使用)
	○鋼材	屋外部分 ○溶融亜鉛めっき (○2種35) ○ステンレス鋼製 (SUS304)
	○制御及び操作盤	構成 ○進相コンデンサー ○運転時間計 表示等 ○運転 (赤色) 及び停止 (緑色) 表示 ○保護継電器の動作表示 接点及び端子 ○遠方発停用端子 ○湿度調節器用端子 ○運転時間表示用端子 ○温水出入口温度用端子 ○冷水出入口温度用端子 ○消費電力表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○給水量表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○燃料消費量表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○各階ユニット
	空調設備	●主方式 (既設)
●主要熱源機器 (既設)		○吸収冷凍水機 ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ●空冷ヒートポンプ式パッケージ空気調和機 (●EHP ●GHP ○) ○
○設計時の温湿度条件		場 所 屋 外 屋内 (調整目標値) 時 期 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 冬 期 0.4 °C 67.2 % °C % °C % 夏 期 36.3 °C 44.3 % °C % °C %
○長方形ダクトの工法		○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)
○ダクトの分岐方法		○割込み工法 ○直付け工法
○配管材料 (図面特記部分は除く)		○冷水水管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ ○冷却水管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) ○空調用排水管 ○配管用炭素鋼管 (白) (○ねじ接合 ○MDジョイントによる接合) ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○ビニ管 (VP) 保温付VP管 ○補給水管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ ○膨張管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ ○エア抜き管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ ○冷媒管 ●断熱材被覆銅管 (ガス管：ハイグレード仕様) ○パッケージ空気調和機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。
○冷媒管接続方法		○火無工法とする。
○温度計		○工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○ガラス製二重管温度計
○定風量ユニット 変風量ユニット		○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ (○プロペラ形センサー ○熱線センサー)
○ファンコイルユニット カセットファンコイルユニット		風量分配ダクトは ○亜鉛鉄板製 ○自己消火性のポリスチレンフォームなど
○バーナー制御方式		○オン・オフ制御 ○ハイ・ロー制御 ○比例制御
○電動機盤		○進相コンデンサー (○要 ○不要)
○排熱投入形再生器		直込式吸収冷凍水機に (○要する。 ○不要である。)
○高温再生器の構造		※図面による。
○コージェネレーション装置		発電方式 ○原動機、発電機 ○燃料電池 熱回収装置 ○温水熱交換機 ○排ガスボイラー ○排ガス熱交換機 ○熱回収用ポンプ ○その他 その他装置等 ○補機付属制御装置 ○冷却塔 (放熱用) ○
○集中リモコン	表示機能 ○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算 ○室内温度 データー管理機能 ○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算 ○室内温度 ○外部記憶媒体への出力	

 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生	製図年月日 R08.08 訂正年月日		工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事		縮尺	図面番号
	監修	設計	製図	図面名称		N0 M-01 号図
				機械設備工事 特記仕様書-1		枚ノ内

機械設備工事特記仕様書 №2

項目	特記事項															
	厚さ ○3. 2mm ○4. 5mm															
空調設備	○銅板製煙道	○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口 ○伸縮継手 ○掃除口														
	○ばい煙濃度計	○ファン付 ○ファンなし (電源は熱源機器付屋制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)														
	○瞬間流量計	○固定形 個 ○着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)														
	○保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠べい部 ○不要 ○必要 露 出 部 ○保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ○ カラー亜鉛鉄板 ● ビニル化粧テープ巻き ・屋外 ○ステンレス鋼板 ○保温化粧ケース (○樹脂製 ○アルミ合金製 ・保温化粧ケースの下部カバー ○必要 ○不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1／2重ね1回巻きとする。														
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) ○スパイラルダクト ○アルミフレキシブルダクト														
換気設備	○ダクトの分岐方法	給気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式														
	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。 <table><tr><th colspan="2">ダ ク ト の 長 辺</th><th>板 厚</th></tr><tr><td>4 5 0mm以下</td><td></td><td>0. 6mm</td></tr><tr><td>4 5 0mmを超え1 2 0 0mm以下</td><td></td><td>0. 8mm</td></tr><tr><td>1 2 0 0mmを超え1 8 0 0mm以下</td><td></td><td>1. 0mm</td></tr><tr><td>1 8 0 0mmを超えるもの</td><td></td><td>1. 2mm</td></tr></table>	ダ ク ト の 長 辺		板 厚	4 5 0mm以下		0. 6mm	4 5 0mmを超え1 2 0 0mm以下		0. 8mm	1 2 0 0mmを超え1 8 0 0mm以下		1. 0mm	1 8 0 0mmを超えるもの	
ダ ク ト の 長 辺		板 厚														
4 5 0mm以下		0. 6mm														
4 5 0mmを超え1 2 0 0mm以下		0. 8mm														
1 2 0 0mmを超え1 8 0 0mm以下		1. 0mm														
1 8 0 0mmを超えるもの		1. 2mm														
排煙設備	○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ○ステンレス鋼板 (補強共) ○亜鉛鉄板 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ○本工事 ○別途工事 3) グリスフィルターの予備 ○不要 ○必要														
	○保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 ○不要 ○必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。														
	○排煙対象部分	○廊下 ○事務室 ○図示 ○最大面積 m2														
	○ダクトの種別	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト														
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法														
設備	○ダクトの材料	○亜鉛鉄板製 ○普通鋼板製														
	○排煙口	1) 形 状 ○スリットフェース形 ○パネル形 ○ダンパー形 2) 排煙口の開放 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 3) 復帰装置 ○手元復帰式 (○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。														
	○保温	床下及び暗渠内の保温 ○不要 ○必要 (図示)														
		※図面による。														
衛生器具設備	○小便器用節水装置	電気供給方式 ○A C電 源 ○乾電池 ○水流発電充電電池														
	○自動水栓	電気供給方式 ○A C電 源 ○乾電池 ○水流発電充電電池 手動スイッチ ○ 無し ○ 有り														
	○大便器用洗浄弁	操作方式 ○手動式 ○電気開閉式 (○センサー式 ○タッチスイッチ式)														
	○水石けん入れ	○手洗器一体型 ○手洗器分離型 ○														
	○身障者用器具	1) 大便器洗浄弁 ○センサー式 ○タッチスイッチ式 ○レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。														
給水設備	●給水方式 新設範囲	●水道直結方式 ○高置タンク方式 ○増圧ポンプ方式(水道用直結加圧形ポンプユニット) ○ポンプ直送方式(給水ポンプユニット)														
	●配管材料 (図面特記部分は除く) 新設範囲	一般配管 ○ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ●ビニル管 (HIVP) ●ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PB、SGP-FPB) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) ○保温付き(保護材)ポリブデン管 ○ 地中配管 [屋内] ○ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50φ以下) (※2種 ○1種) (ポリエチレン管の接合方法は ○電気融着 ○メカニカル) ●ビニル管 (HIVP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) ○ 浴室、便所配管 コックリ埋設配管 ○ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50φ以下) (※2種 ○1種) ●ビニル管 (HIVP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) ○保温付き(保護材)ポリブデン管														
	○緊急遮断弁装置	○要 ○ 不要 駆動方式 ○電気式 ○機械式														
	●量水器 新設25mm	●現地表示式(直読式) ○遠隔表示式														

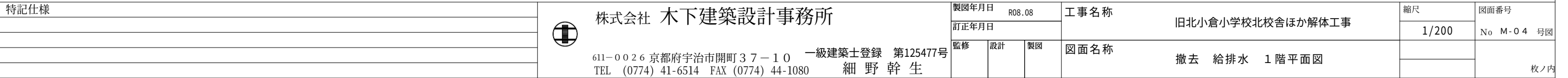
章	項 目	特 記 事 項
給 水 設 備	○水栓柱	○合成樹脂製 (70×70×1300H) ○ステンレス製 () ○アルミニウム合金製 () 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。
	●管の埋設深さ	1) 一般敷地 ●300mm ○ 2) 構内車両通路 ○600mm ○ 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
	●加入金・負担金	○不要 ●必要 (●別途 ○本工事)
	●本管引込工事	○本工事 ●別途工事
排 水 設 備	●排水方式	汚水と雑排水 [屋内] 汚水・雑排水と雨水[屋外] ポンプ排水 ●分流式 ○合流式 ●分流式 ○合流式 ○有り(○雑排水 ○汚水 ○雨水 ○湧水 ○浄化槽2次側) ○なし
	●放流式	汚水 ○浄化槽 ○ 雑排水 ●直放流水管 ○浄化槽 ○別途樹・側溝 雨水ポンプアップ ○直放流水管 ○雨水側溝 ○雨水樹 湧水ポンプアップ ○直放流水管 ○雨水側溝 ○雨水樹
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 (D-V A) ○鋼管 (S G P W) (○ねじ接合 ○MDジョイントによる接合) ○ビニル管 (V P) ○耐火二層管
		屋内汚水排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 (D-V A) ○ビニル管 (V P) ○R F-V P ○耐火二層管
水 設 備	通気管	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F-V P) ○鋼管 (S G P W) (○ねじ接合 ○MDジョイントによる接合) ○ビニル管 (V P) ○耐火二層管
	地中配管 [屋内]	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (R E P-V U) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S-V U) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F-V P) ○ビニル管 (V P) ○ビニル管 (V U) ○
	地中配管 [屋外]	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (R E P-V U) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S-V U) ●ビニル管 (V P) ○ビニル管 (V U) ○コンクリート管
	銅管類のポンプアップ排水用の配管は、塩ビライニング鋼管 (S G P-V A、S G P-F V A) (地中配管はS G P-V D、S G P-F V D) とし、継手はフランジ又はハウジング形継手とする。	
給 湯 設 備	○満水試験継手	○必要 (図示箇所に取付ける) ○不要
	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
	○本管接続工事	○本工事 ○別途工事
	○給湯方式	○中央式 ○局部式 ガス湯沸器
消 火 設 備	○配管材料	○銅管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆銅管を使用してもよい。) ○ステンレス鋼管 圧縮・プレス接合 ○耐熱性塩ビライニング鋼管 ○保温付き(保護材)ポリブデン管 ○架橋ポリエチレン管
	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3．1．5の表2、3．5による。
	●消火設備の種類	●屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火 () ○連結送水管 ○
	○表示灯	屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。
消 火 設 備	●配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ●配管用炭素鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼管 (白) ○消火用ポリエチレン管 (P E) ○外面被覆鋼管 (S G P-V S) ○消火用ポリエチレン管
	○保温	消火用充水タンクの保温を ○施工する (膨張タンクによる) ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ○施工しない ○施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる) 屋内露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる) トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる)
	●ガスの種類	●都市ガス (発熱量 ●45，000kJ/N m3 ○ KJ/N m3) ○液化石油ガス (○50kg 本立 ○20kg 本立)
	●ガスメーター 既設	親メーター ●買与品 ○購入
ガ ス 設 備	●配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ●配管用炭素鋼管 (白) ○ 屋内外地中配管 ●ポリエチレン被覆鋼管 ●ガス用ポリエチレン管 ○ 都市ガスの場合は、供給者仕様による。 大阪ガスネットワーク(株) 06-6205-3574 開発推進チーム 第2グループ 豊田 悠貴様
	●地中埋設管の接合法	●SGM工法 ○ネジ工法 ●P E工法
	○ビット内施工法	○溶接工法
	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
設 さ く 井	○本管接続工事	○本工事 ○別途工事
	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○孔口保護管	深度 () m
	○ケーシング材質	○配管用炭素鋼管 (黒管) ○配管用ステンレス鋼鋼管

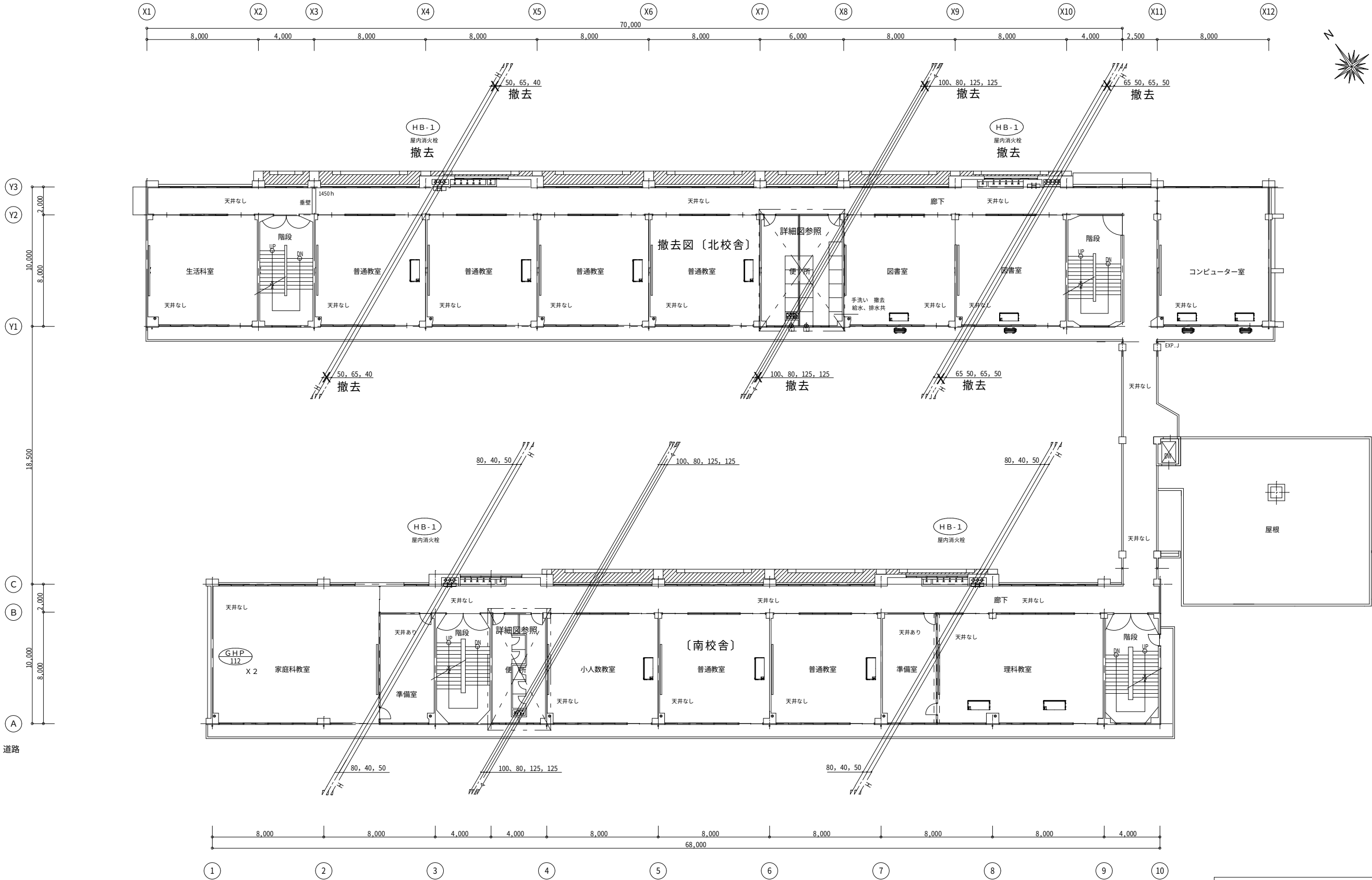
そ の 他	●コア抜き (ダイトリル穴明け)	鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 参考メーカー 日本無機炭 ハンディサーチRCレーダー N J J -1 0 5 型同等品
	●校正記録	試験機器類の校正記録を提出する。
	●交通誘導員	機器類搬入時、撤去材搬出時、外部掘削時に配置する。
	○保安器材	カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
	○鉄板敷き	1, 5 2 4 × 6, 0 9 6 × 厚 2 2 mm
●アンカーボルト	外壁に配管する冷媒管用支持金具取付はケミカルアンカーを使用すること。	

別表 付属品・予備品		鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
○工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スバナー、ハンマー)		
○マンホールフック ○パイプレンチ ○ポンプブライヤー ○ラバーカップ (大、小)		
○イージーキャビネット 箱 ○キーボックス		
○盤類予備品 (ランプ及びヒューズの100%)		

試験・検査		
●水圧試験	○排水満水試験	●排水通水試験
○気密試験	○点火試験	○機器類動作試験
○騒音測定	○振動測定	●絶縁試験
○消防設備試験	○水質検査	○水槽水張り試験
		○アンカー引張試験

特記仕様		 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生	製図年月日 R08.08		工 事 名 称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮 尺	図面番号	
			訂正年月日				No M-02 号図	
			監修	設計	製図	図 面 名 称 機械設備工事 特記仕様書-2		枚ノ内

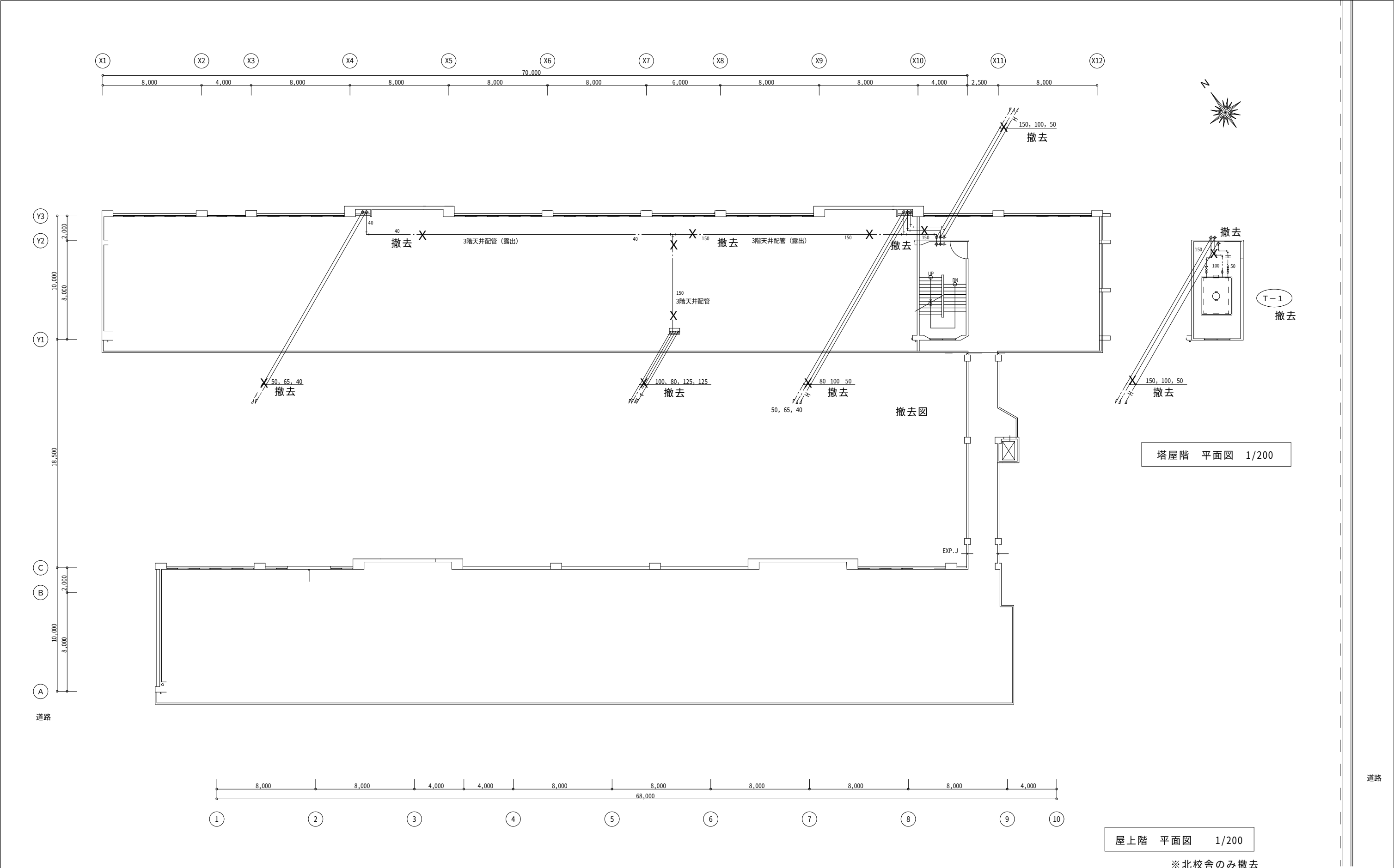




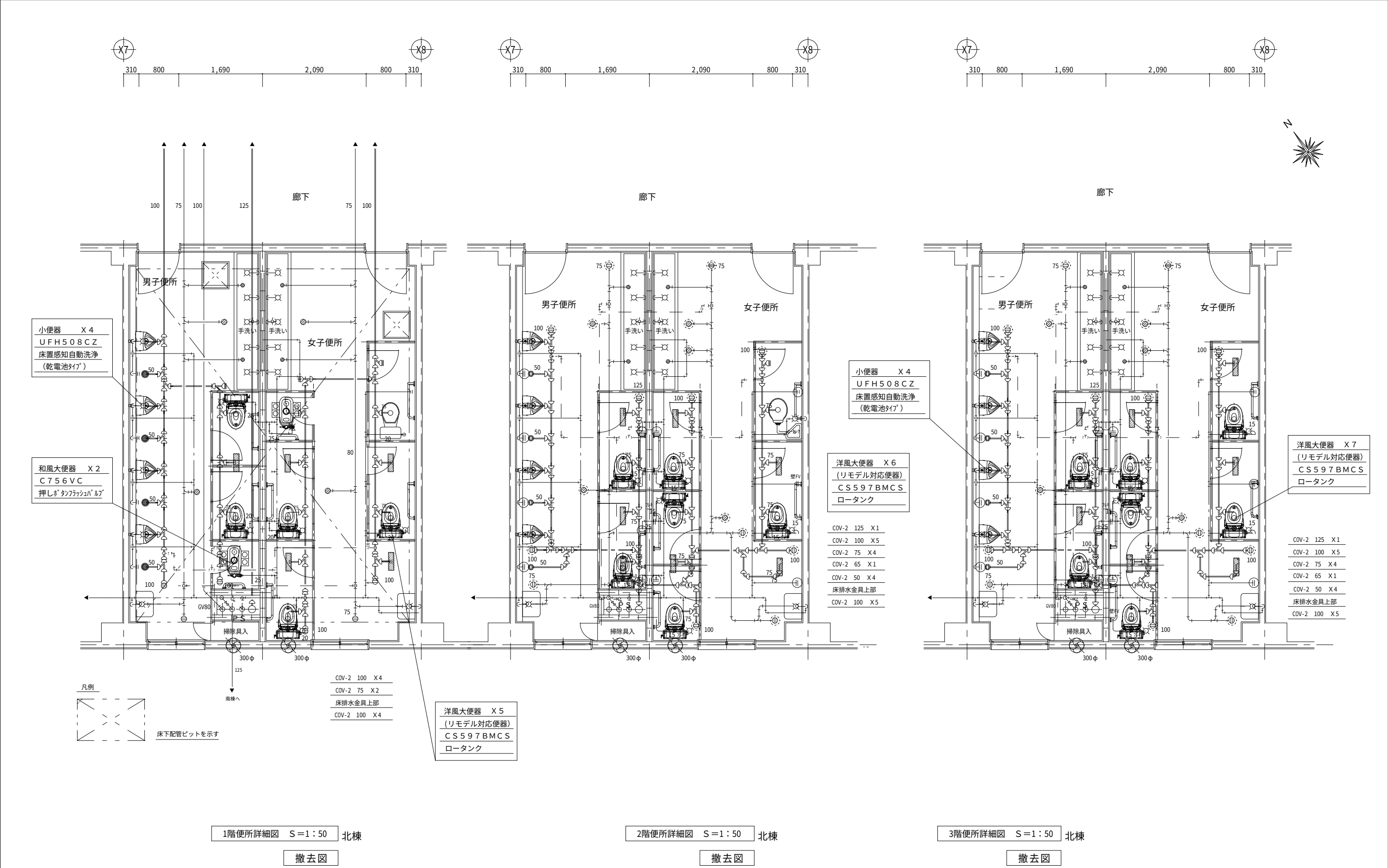
2階 平面図 1/200

※北校舎のみ撤去

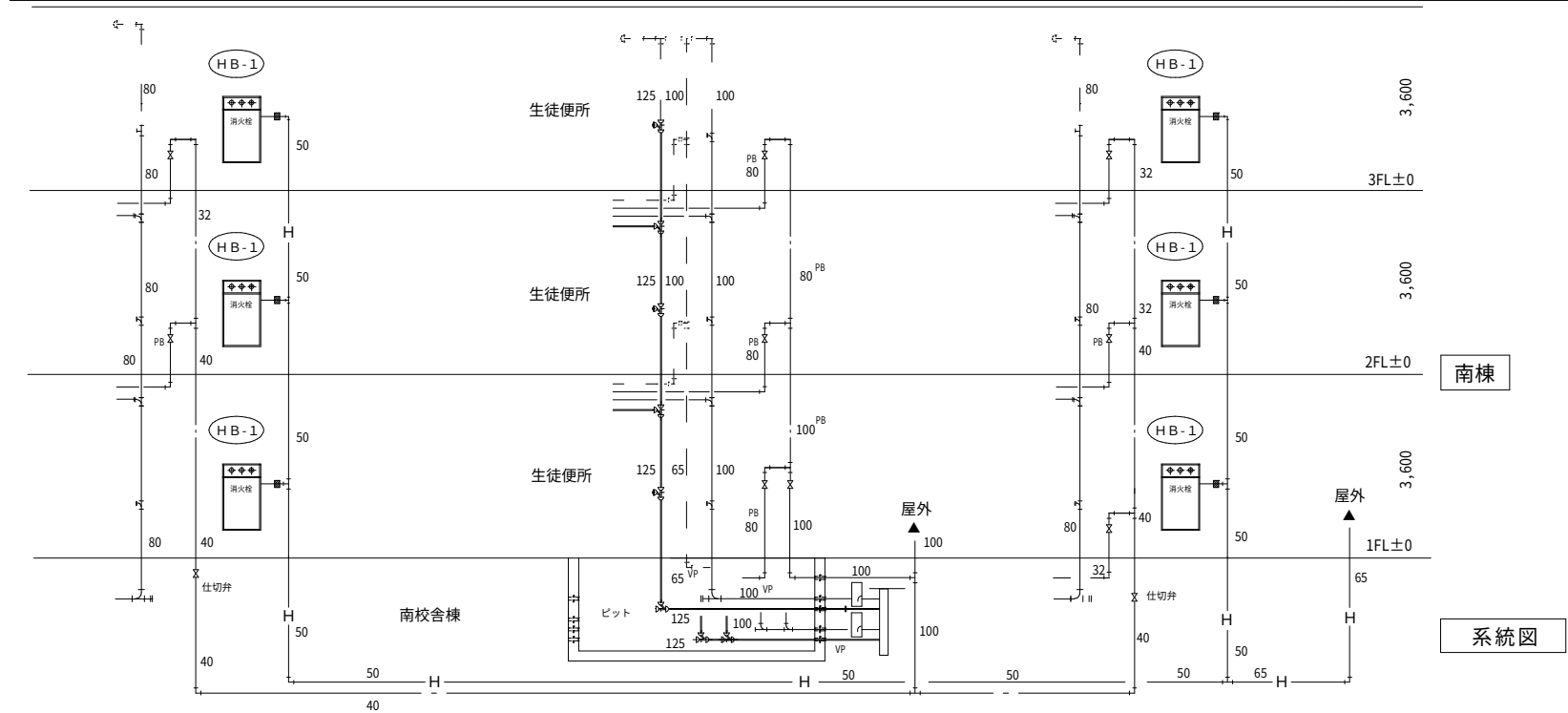
特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R08.08			工 事 名 称	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺	図面番号		
			訂正年月日					1/200	No M-05 号図		
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生			監修	設計	製図	図面名称	撤去 2階 平面図 衛生設備図	枚ノ内

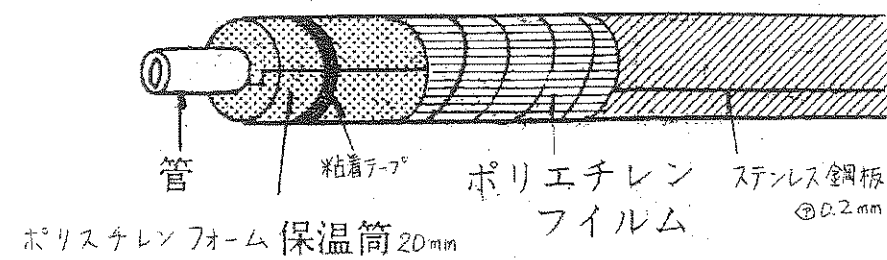


特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R08.08		工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺	図面番号 No M-07 号図
				図面名称 撤去 屋上、塔屋階 平面図 衛生設備図	1/200	
						枚ノ内

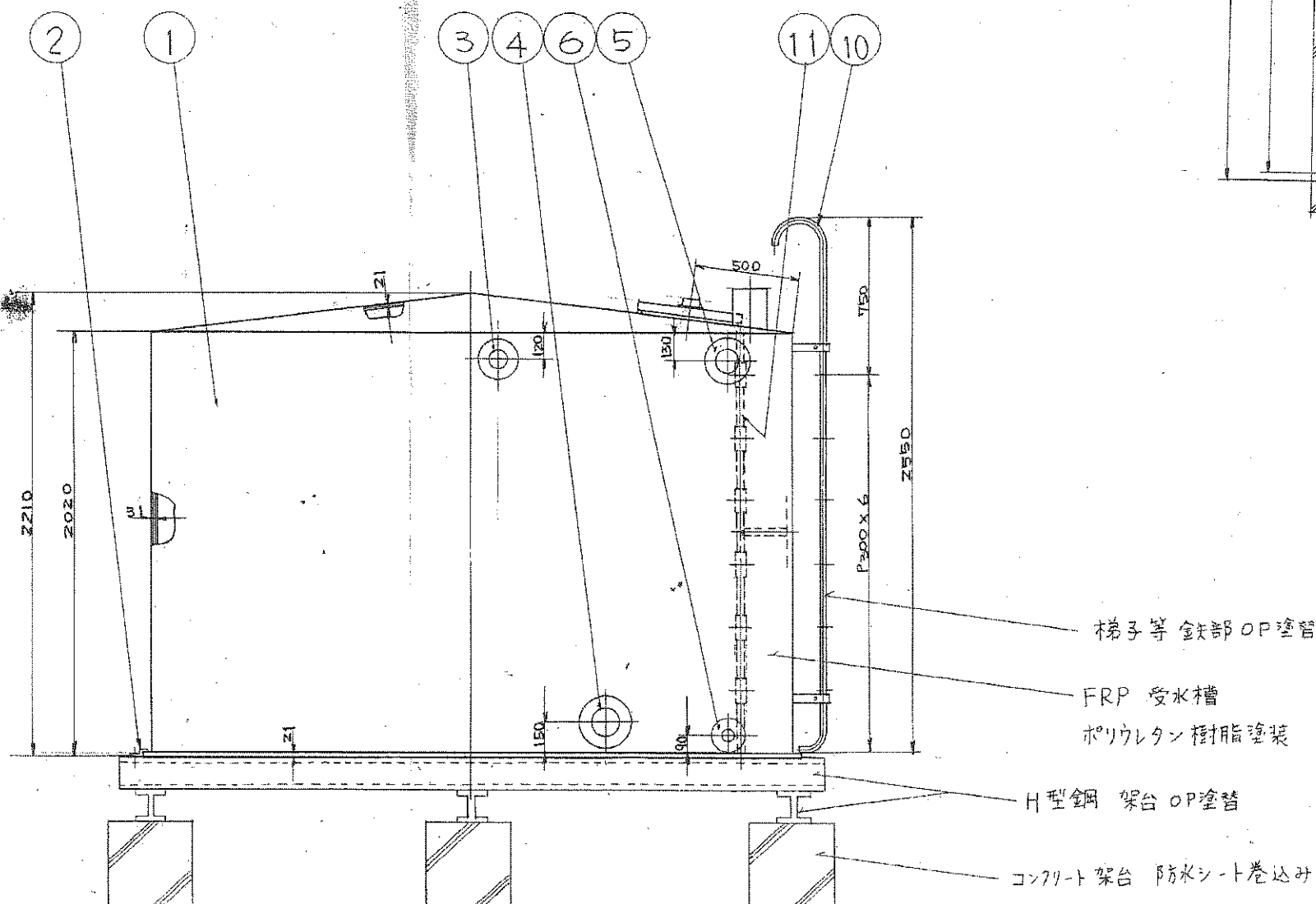


特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生	製図年月日 R08.08		工 事 名 称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮 尺	図面番号	
		訂正年月日			1/50	No M-08 号図	
		監修	設計	製図	図 面 名 称 北校舎 1、2、3階便所平面詳細図 撤去図		枚ノ内

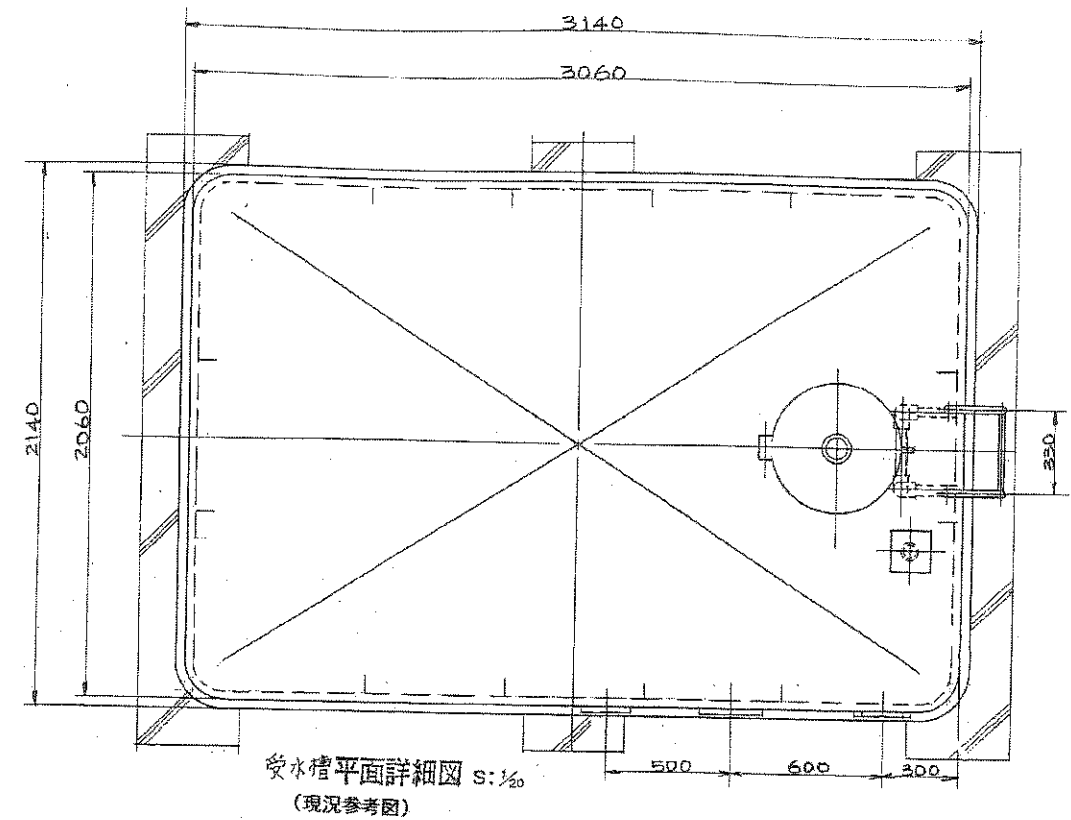




保温巻詳細図



高架水槽 立面図 S: 1/20



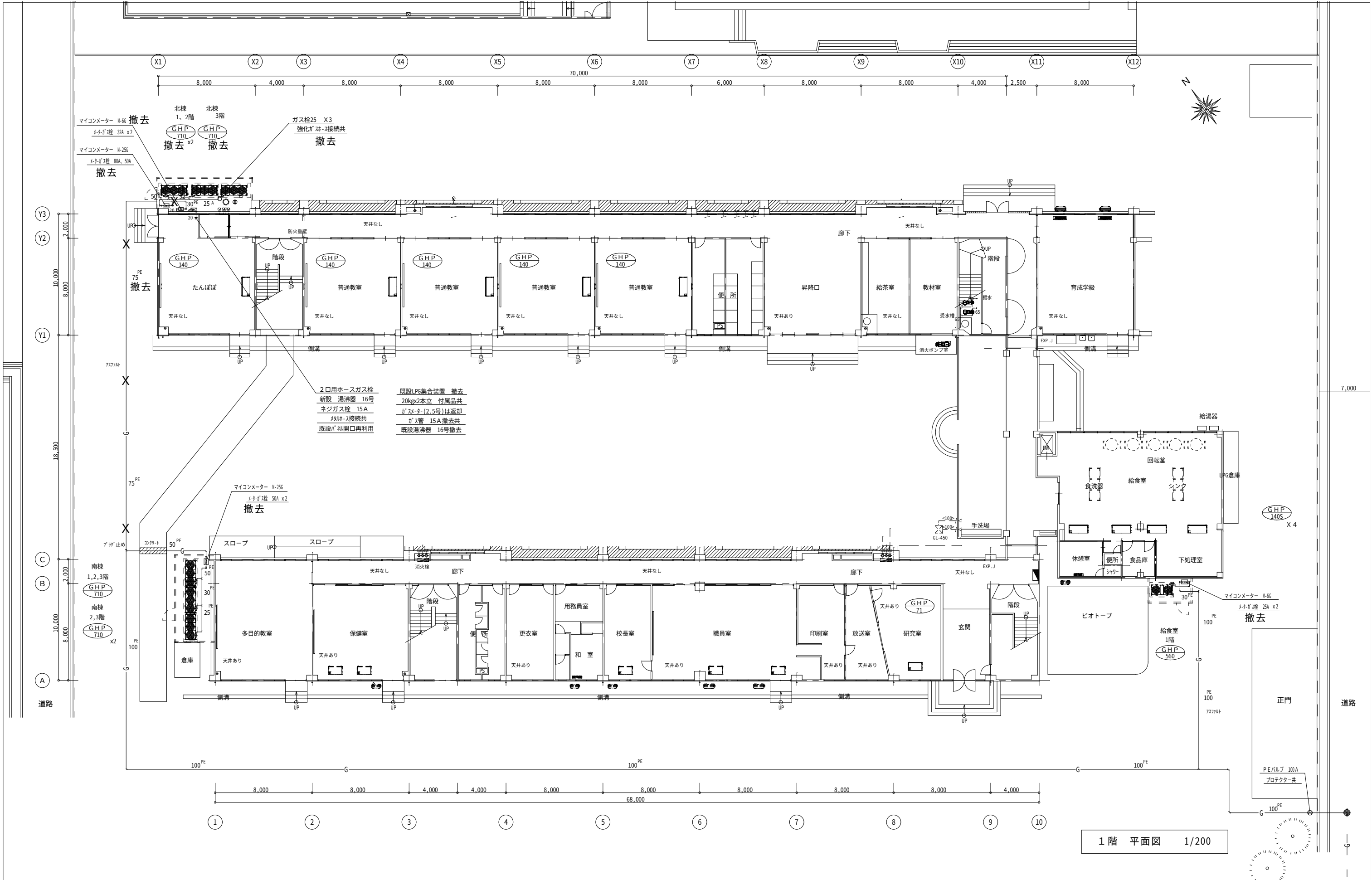
番号	名称	品番	材質	数量	備考
11	内梯子	YPL-1800U	P.V.C	1	
10	外梯子	YPL-1800S	SS41 SGP	1	
9	電極カバー	YPE-2	FRP	1	
8	電極座	YPE-1	P.V.C	1	50PS
7	マンホール	YPM-1	FRP	1	60° 組組付
6	排水口	YPF-100	SS41 P.V.C	1	100-F
5	溢水口	YPF-150	SS41 P.V.C	1	150-F
4	給水口	YPF-150	SS41 P.V.C	1	150-F
3	揚水口	YPF-100	SS41 P.V.C	1	100-F
2	止x金具	YPF-2	SS41 ウレタン	18	垂懸浴ホキ
1	槽本体	YP-1000CT	FRP	1	

特記仕様

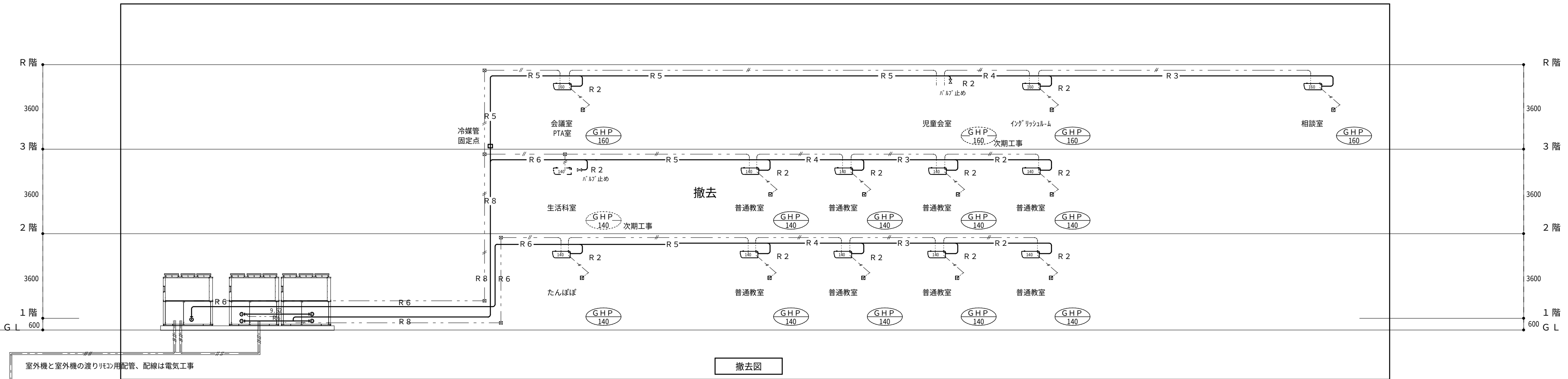
株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一般建築士登録 第126477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日	R08.08	工事名称	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺	1:20	図面番号	No M-10 号図
訂正年月日		図面名称	北校舎 塔屋上部 高架水槽				枚ノ内
監修	設計	製図					



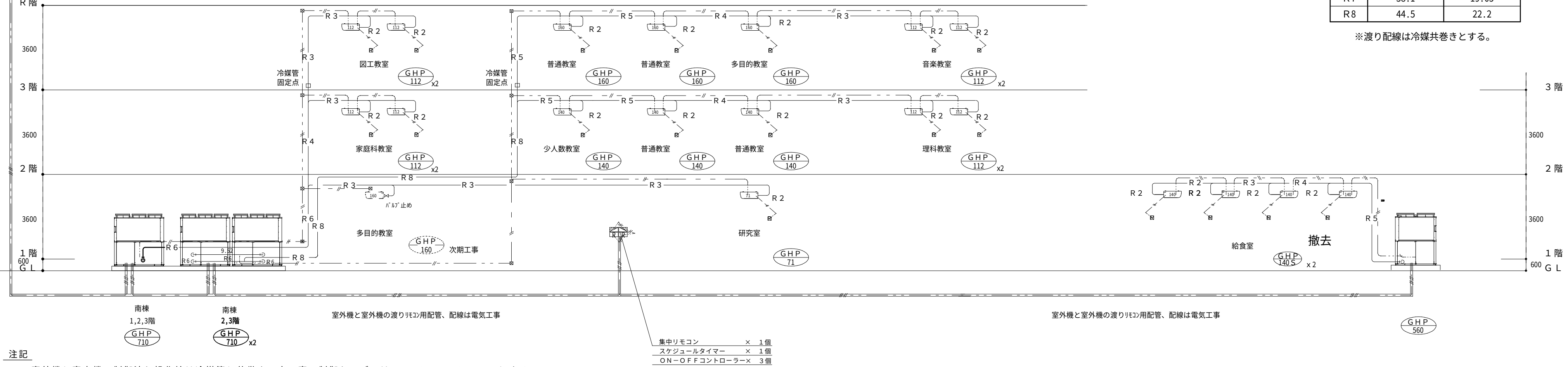
特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生	製図年月日 R08.08		工 事 名 称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮 尺	図面番号	
		訂正年月日			1/200	No M-11 号図	
		監修	設計	製図	図 面 名 称 ガス設備 1階 撤去平面図		
							枚ノ内



冷媒配管サイズ表

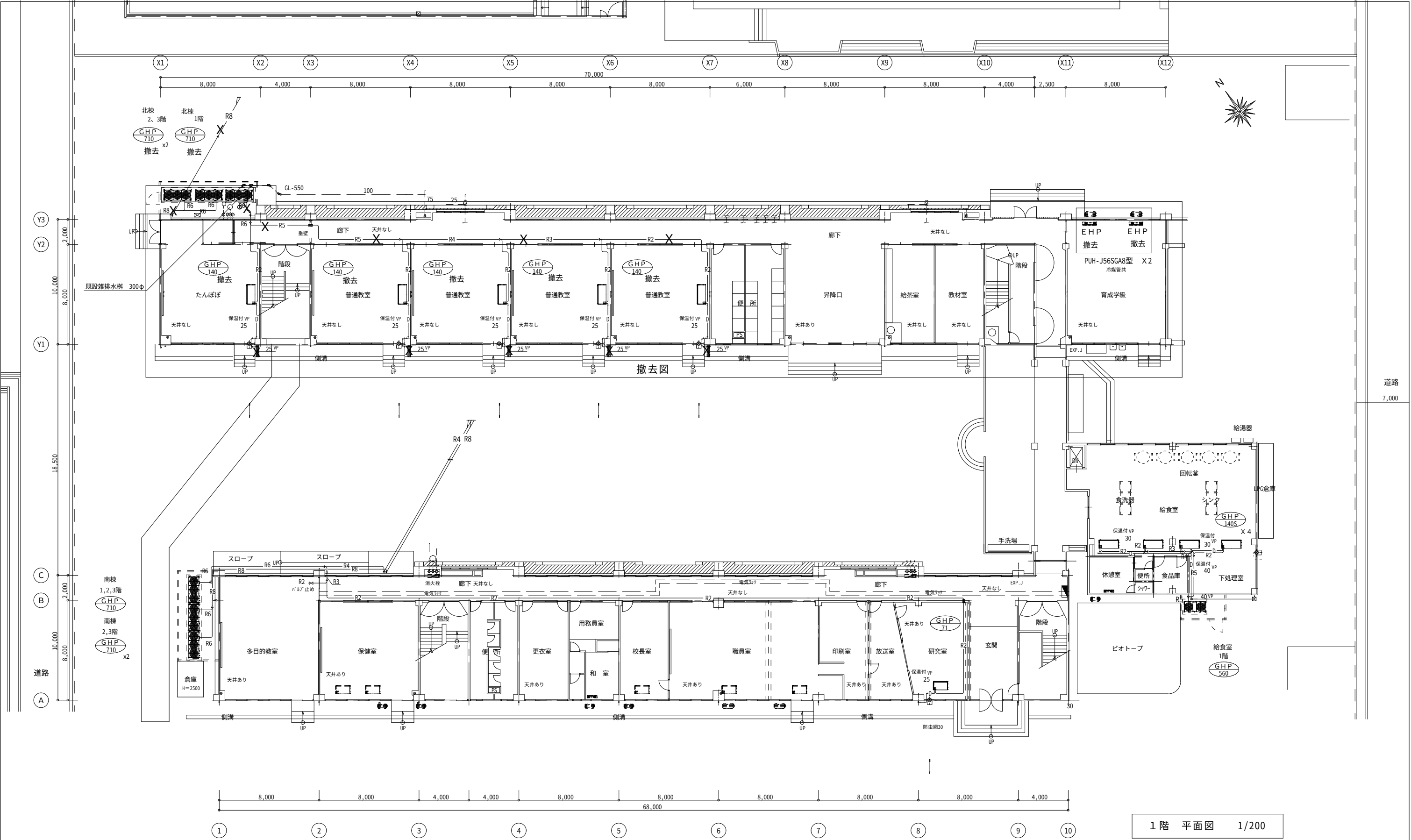
記 号	ガス管サイズ	液管サイズ
R1	12.7	6.35
R2	15.88	9.52
R3	22.2	9.52
R4	28.6	12.7
R5	28.6	15.88
R6	31.8	19.05
R7	38.1	19.05
R8	44.5	22.2

※渡り配線は冷媒共巻きとする。



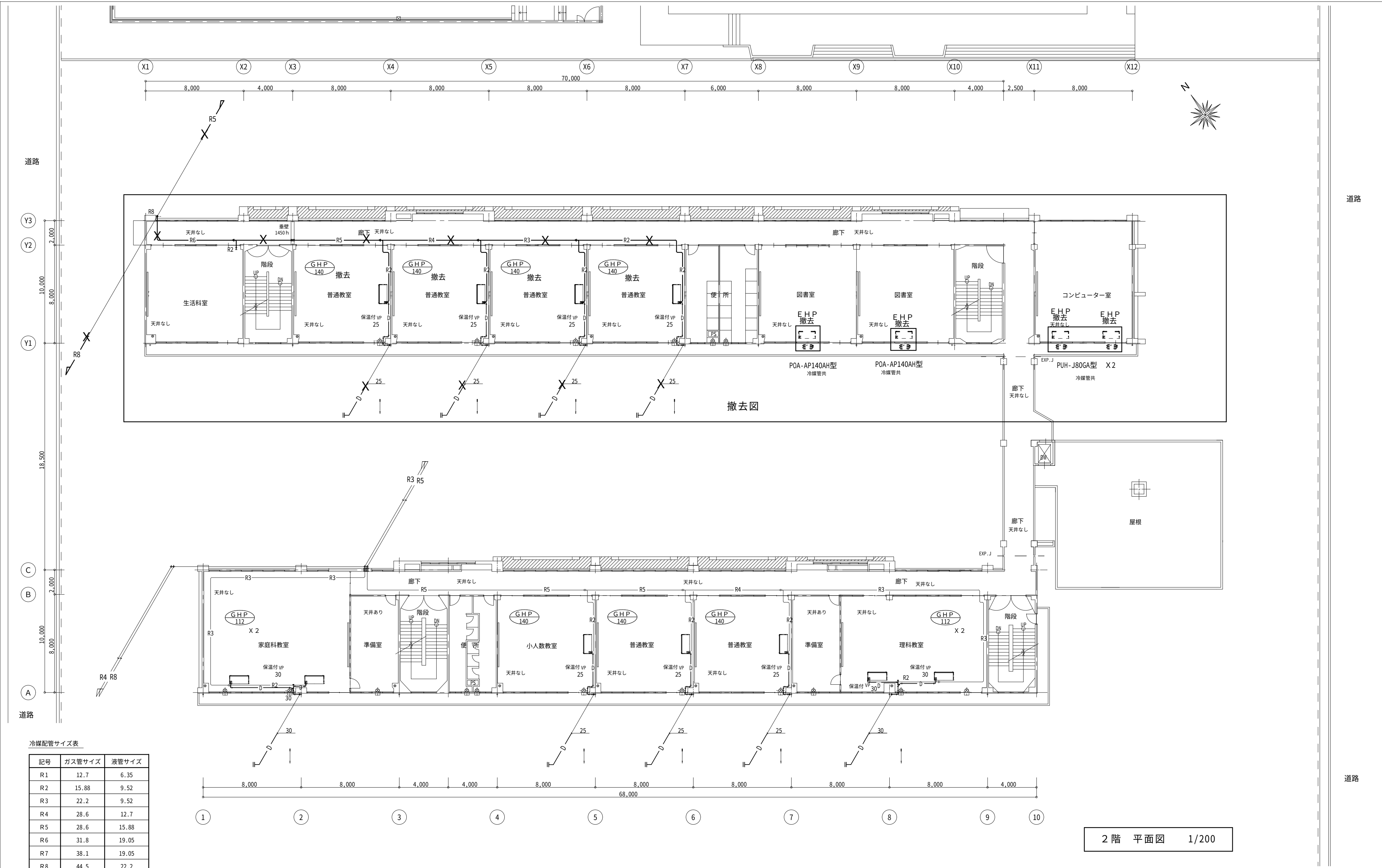
注記

- 1、室外機と室内機の制御渡り操作線は冷媒管と共巻き。本工事 制御ケーブルはEM-C-E-E1.25X2Cとする。
- 2、室外機と室外機の渡りリモコン用配管、配線（EM-C-E-E1.25X2C 2本）は電気工事。結線調整は本工事。
- 3、室外機を2台連結してユニットにする場合の渡り配管、配線は本工事。
- 4、1階系統の冷媒管配管についての注意事項。第1分岐から普通教室6までの長さを90m以内とする事。



1 階 平面図 1/200

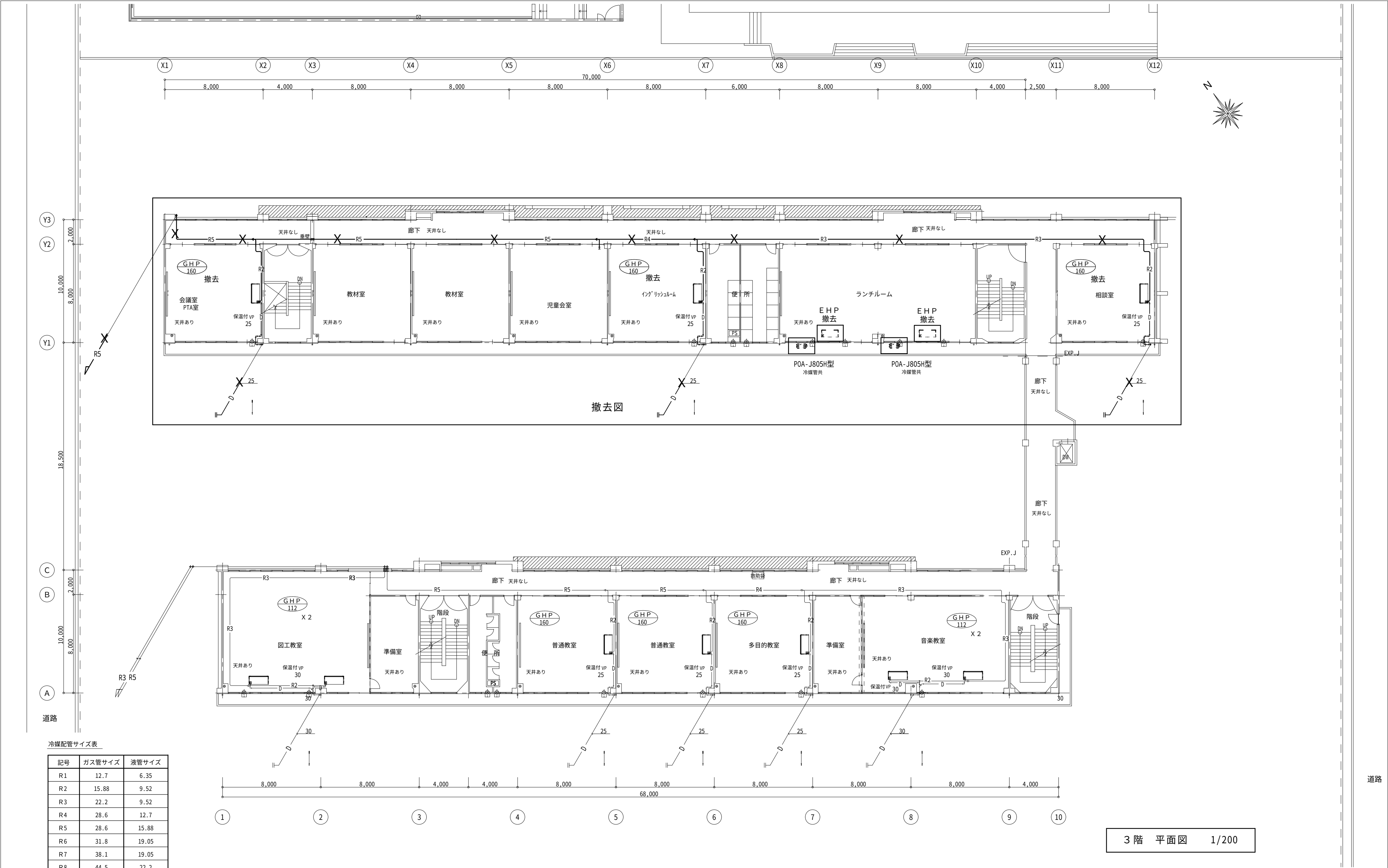
特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R08.08 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 図面名称 撤去 空調 1階平面図	縮尺	図面番号
				1/200	No M-14 号図
					枚ノ内

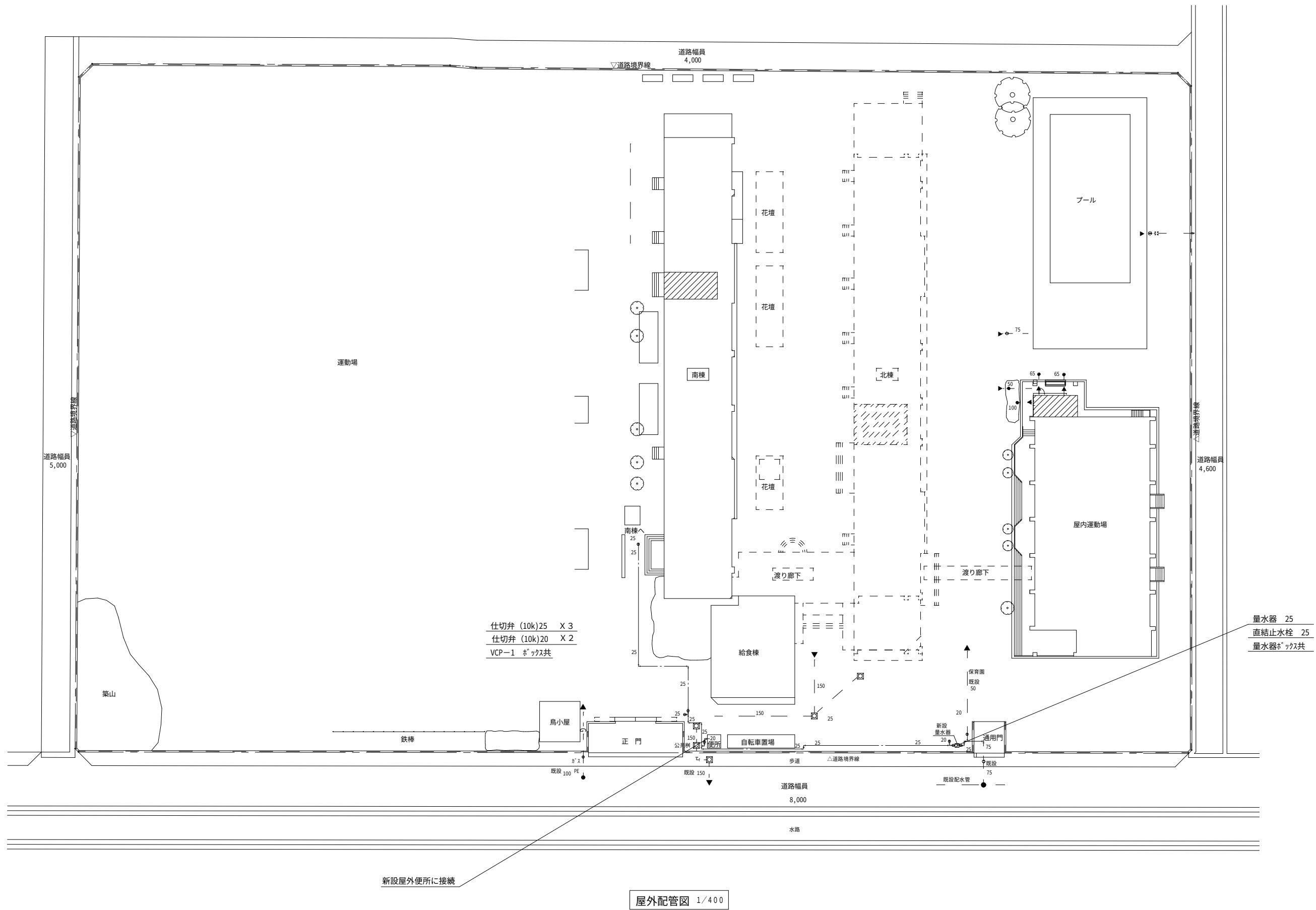
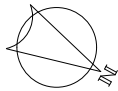


冷媒配管サイズ表		
記号	ガス管サイズ	液管サイズ
R1	12.7	6.35
R2	15.88	9.52
R3	22.2	9.52
R4	28.6	12.7
R5	28.6	15.88
R6	31.8	19.05
R7	38.1	19.05
R8	44.5	22.2

※渡り配線は冷媒共巻きとする。

2 階 平面図 1/200





特記仕様



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生

製図年月日		R08.08
訂正年月日		
監修	設計	製図

工事名称	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事
図面名称	屋外給水配管図

縮尺	図面番号
1/400	No M-17 号図
	枚ノ内

電気設備工事特記仕様書ー 1

【工事概要】

- 1 工事場所 宇治市小倉町堀池72
2 建物概要

建 物 名	構 造	階 数	延床面積(㎡)	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備 考
					○甲 ○乙	工事区分を記載 例：新営
					○甲 ○乙	全館無人改修
					○甲 ○乙	執務並行改修

- 3 工事科目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	北棟	南棟	屋内運動場	
電灯設備		○			○
動力設備		○	○	○	○
雷保護設備		○	○	○	○
受変電設備		○	○	○	○
電力貯蔵設備		○	○	○	○
発電設備		○	○	○	○
構内情報通信網設備		○	○	○	○
構内交換設備		○	○	○	○
情報表示設備		○	○	○	○
映像・音響設備		○	○	○	○
拡声設備		○	○	○	○
誘導支援設備		○	○	○	○
テレビ共同受信設備		○	○	○	○
監視カメラ設備		○	○	○	○
駐車場管制設備		○	○	○	○
防犯・入退室管理設備		○	○	○	○
火災報知設備		○	○	○	○
中央監視制御設備		○	○	○	○
医療関係設備		○	○	○	○
構内配電線路		●	○	○	○
構内通信線路		○	○	○	○
電波障害調査		○	○	○	○
撤去工事		●	○	○	○

【特記事項】

- 1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」による。
2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
2 特記事項
項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一	※設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとす。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	※機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1．4．2（2）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	※現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	※電気工事士	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	※工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
般	※官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	※工事用仮設備	構内につくことが ○できる ○できない
	※足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が設置したものは、無償で使用できる。
	※監督職員事務所	※設置しない ○設置する（○本工事 ○別途）
	※監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針 ・電気設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
事	※建設副産物の処理及び建設発生土の処理	○建設副産物の処理 ○引き渡しを要するもの【 】 右記のほか、 ○再生資源利用を図るもの【 】 現場説明書による。 ○特別管理産業廃棄物 ○P C B使用機器 ○S F 6ガス使用機器 ○ ○構外指定地に搬出処理 ※（一財）城陽山砂利採取地整備公社 ○ ○建設発生土処分 右記のほか、 ○ 現場説明書による。 ○構内指示場所に敷き均し
	再生資源利用（促進）計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。	
	1) 「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。	
	○アスベスト成形板の処理等（以下のほか、現場説明書による） 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲 ※成形板の製造年等の確認 ○X線解析法	
	処理方法	※非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

	項 目	特 記 事 項
一 <		

項 目		特 記 事 項																																					
共 通 事 項	○あと施工アンカー	施工後確認試験 ○行う ○行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）「8.1.2.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。																																					
	○機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、E M電線及びE Mケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこれ限りでない。 ○分電盤 ○OA盤 ○実験盤 ○開閉器箱 ○制御盤 ○キュービクル式配電盤 ○直流電源装置 ○交流無停電電源装置（UPS）（簡易型を除く）																																					
	○はつり	1）既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2）復旧はモルタル補修までとする。																																					
	○再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上で付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。																																					
	○その他	屋外の盤類・開閉器箱 ○SUS ○銅板製 ○図示による。 屋外のブルボックス ○SUS ○銅板製																																					
電 灯	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付																																					
	○電気方式	幹線 ○単相3線式 1 0 0 V / 2 0 0 V ○単相2線式 1 0 0 V 分枝 ○単相2線式 ○1 0 0 V ○2 0 0 V ○直流2線式 1 0 0 V																																					
	○照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。																																					
	○照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。																																					
	○多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。																																					
設 備	○LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはL X又はL Z、それ以外はL N又はL Jとする。																																					
	○RP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。																																					
	○非常用照明の形式	○電池内蔵形 ○電池別置形																																					
	○フロアコンセント	○引出し形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 ○OAフロア用																																					
	○分電盤等	1）本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分枝に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、J I S C 8 2 0 1-2-1「回路遮断器」、同付属書J C「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、J I S C 8 2 0 1-2-2「漏電遮断器」、同付属書J C「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」、による1極サイズのものとする。 2）SPD分離器（配線用遮断機）は （○警報接点付 ○警報接点無）とする。 3）SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 OA盤の端子盤部に ○通気口 ○冷却ファン を設ける																																					
動 力 設 備	○照明用ボール	○開閉器を設ける（○配線用遮断器○カットアウトスイッチ） ○開閉器を設けない																																					
	○一般照明の照度測定	実施 ○する ○しない																																					
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付																																					
	○電気方式	幹線	○三相3線式 2 0 0 V ○ 分枝																																				
	○制御盤	1）制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2）インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、開扉時に冷却装置を休止させる。 3）インバータ発熱対策用冷却装置の故障を 盤面に表示（○させる ○させない）																																					
雷 保 護 設 備	○監視方法	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視																																					
	○インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。																																					
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 <table><tr><td>電動機出力 (kW)</td><td>0.4</td><td>0.75</td><td>1.5</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>5.5</td><td>7.5</td><td>11</td></tr><tr><td>η_バ-η_効率 (%)</td><td>86.0</td><td>88.5</td><td>92.0</td><td>93.0</td><td>94.0</td><td>94.0</td><td>94.5</td><td>94.5</td></tr><tr><td>電動機出力 (kW)</td><td>15</td><td>18.5</td><td>22</td><td>30</td><td>37</td><td>45</td><td>55</td><td>75</td></tr><tr><td>η_バ-η_効率 (%)</td><td>95.0</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td></tr></table> 備考) 1）電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2）インバータ効率は、1.00%負荷時の値とする。		電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	η _バ -η _効 率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	電動機出力 (kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75	η _バ -η _効 率 (%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
	電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11																														
	η _バ -η _効 率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5																														
電動機出力 (kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75																															
η _バ -η _効 率 (%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																															
○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付																																						
○保護レベル	○I ○II ○III ○IV																																						
○受雷部システム	突針支持管 ○鋼製 ○ステンレス製																																						
○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を ○設ける ○設けない）																																						
受 変 電 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付																																					
	○電気方式	高圧	三相3線式 6 k V 低圧																																				
	○配電盤形式	○屋内キュービクル式配電盤 ○屋外キュービクル式配電盤 ○開放形配電盤 ○変圧器盤 ○コンデンサ盤 ○系統連系保護制御盤 ○高圧スイッチギア（○ C X形 ○ C W形 ○ P W形 ） ○低圧スイッチギア（○ C X形 ○ C S形 ○ C W形 ○ F W形）																																					
	○変圧器の規格〔グ〕	1）変圧器（スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。）は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。 2）ダイヤル温度計は、最高温度計針付とする。																																					
	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視																																					
○基礎	○本工事 ○別途工事 ○既設																																						
	○付風品等 盤内に予備逆流ヒューズを収納する。																																						
	○その他 ○低圧配電盤の配線用遮断器は取付枠組込形で埋込形とする。 ○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 ○低圧配電盤に内部点検空間を設ける。（幅600mm以上・高さ1,800mm以上） ○盤内照明器具はLEDとする。 ○換気扇を設ける場合は回転センサ付とする。（盤面警報ランプ共） ○変圧器増設による改修をおこなう。詳細は図示																																						

特記仕様	



株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生

製図年月日

令和 8. 8.

訂正年月日

監修

設計

製図

建 築 主 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事
工事名称

図面名称 電気設備工事特記仕様書 - 1

縮尺

—

図面番号

No E-01 号図

枚ノ内

電気設備工事特記仕様書－2

章	項 目	特 記 事 項
電力 配電設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○直流電源装置	用途 ○建築基準法用 ○消防法用 ○受変電設備専用 その他 ○過放電防止保護装置（直流不足電圧機電器）の設定電圧は、90Vとする。
	○交流無停電電源装置（UPS）	用途（ 方式 ○一般形 ○簡易形
発 電 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○形式	○オープン形 ○簡易形 ○キュービクル
	○連続運転可能時間	○10時間（乙） ○72時間（甲） ○
	○発電機	電気方式 三相3線式 電 圧 ○210V ○6.6kV ○415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	○原動機	種 別 ○ガスタービン ○ディーゼル機関 ○ガスエンジン ○マイクロガスタービン ○燃料電池 ○コージェネレーション 定格出力 kW（ PS）以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 冷却方式 ○ラジエーター式 ○水槽循環式 現地負荷試験 ○行う ○行わない
	○燃料	種類 ○重油 ○軽油 ○灯油 ○ガス（ ○燃料小出槽 1/2 ○主燃料槽 1/2
	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視
	○太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m ² 2以下（長辺 m x 短辺 m） 系統連系 ○受動 ○能動 パワコンディショナ出力 相 線式 V kW以上 逆流流 ○有 ※無 交流出力電圧 ○100V ○200V 出力電気方式 ○三相3線式 ○単相3線式 ○単相2線式
	○外部移報	○有 ○無
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
通信 配線設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
構内 交換設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保安器用接地	○本工事 ○別途工事
	○形式	○電子交換機 ○ボタン電話装置
情報 表示設備	○工事種類	○マルチサイン装置 ○出退表示設備 ○時刻表示設備
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○親時計及び付属装置	○CR -P M ○CW -P M ○プログラムタイマ（○カード式 ○キー式 ○ ○子時計 特記なきものは ○SWA\$3\$3－G\$PB\$2 ○
映像 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
拡 声 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○増幅器	用途 ○全館放送用（○一般放送 ○非常放送） ○ローカル放送用 ○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	○スピーカ	特記なきものは ○SC\$6Hi－1V\$3－M ○
誘 導 支 援 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○工事内容	○音声誘導装置 検出方式（○磁気式 ○無線式 ○画像認識） ○インターホン ○電話式 ○相互式 ○テレビインターホン ○親機に子機カメラ角度調整機能（上下）を設ける。 ○トイレ等呼出し装置 ○1室 ○3室 ○5室 ○ 呼出しボタン ○壁付ボタン（プルスイッチの長さは0.2m程度とする） ○壁付握りボタン（握りボタンの長さは1.2m程度とする） ○通話機能 ○受付呼出し装置 ○誘導音
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○アンテナ	○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○AM用 ○FM用 ○CATV
	○アンテナマスト	○壁面取付形 ○自立形 ○配管用ステンレス鋼鋼管 ○一般構造用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ） ○圧力配管用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
	○電界強度測定	電界強度及び面質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○アンテナ	○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○AM用 ○FM用 ○CATV
テレ レ ビ 共同受信設備	○アンテナマスト	○壁面取付形 ○自立形 ○配管用ステンレス鋼鋼管 ○一般構造用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ） ○圧力配管用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
	○電界強度測定	電界強度及び面質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

章	項 目	特 記 事 項
監視 カメラ設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○画像	○カラー ○白黒
	○伝送方式	○ネットワーク伝送方式 ○デジタル同軸伝送方式 ○
管制 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○車両検出方式	○ループコイル方式 ○光線方式
防犯・ 入退室 管理設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○工事種類	○機械警備用配管 ○防犯装置 ○入退室管理制御装置
火 災 報 知 設 備	○自動火災報知装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○受信機 ○形 級 回線 ○壁掛形 ○自立形 ○単独形 ○複合形 ○副受信機 窓 ○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。 ○光警報装置 ○ ○消火ポンプ始動 ○消火栓箱内押ボタン ○発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。） ○機器収容箱 ○消火栓一体形 ○単独形 ○工事範囲 ○配管 ○機器取付 ○連動制御器 回線 【予備電源（蓄電池）内蔵】 ○単独 ○自火報受信機と一体 ○自動閉鎖装置 ○防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 ○防煙ダンパ用 ○ 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構（電動式）DC24V 0.7A以下】 ○防火シャッター用 ○ 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
	○非常警報装置	○工事範囲 ○配管 ○機器取付 ○電気方式 DC24V ○電源装置 ○非常電源（蓄電池） ○自動火災報知設備と兼用
	○ガス漏れ火災警報装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○受信機 ○単独形 ○自火報受信機と一体 ○ガスの種類 ○都市ガス（13A） ○液化石油ガス
	○諸警報表示	受信機に諸警報表示窓（ 窓）を設ける。
中央 監視 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○監視方式	○警報盤 ○監視制御装置
医療 関係 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○非接地電源用分電盤	キャビネット ○鋼製 ○ステンレス製
構 内 配 線	○オースコール装置	トイレ及び浴室等の 呼出押ボタン ○有線式 ○無線式 ○防滴 ○防湿
	○その他	○オプション等の試験は、監督職員の指示による。
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○電気方式	高压 ○三相3線式 6kV 低圧 ○三相3線式 200V ○ ○単相3線式 100/200V ○単2線式（○100V ○200V）
	○ふ設方式	○地中線 ○管路式 ○波付硬質合成樹脂管（FEP） ○ポリエチレン被覆管（PLP） ○埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装下面） から300mm以上とする。
	○架空線	電柱 ○遠心力プレストレストコンクリートボール
	○区分開閉器	○高压負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 ○架空引込用 ○地中引込用 構 ○耐中埋じん用 ○耐重埋じん用 形式 ○引外し装置付き（SOG形） ○引外し装置なし ○避雷器内蔵 ○制御電源用変圧器内蔵
	○マンホール及び ハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ○図示による。 蓋の文字 ○蓋の用途表示は電力とする。 ○ ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	○高压ケーブル	屋外に使用する高压ケーブルはEM－高压架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6 600V 架構ポリエチレンケーブル（3層押出型）」に（※による ○よらない
	○余長	高压ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
電 線 路	○碍子、高压ケーブル 端未処理	○一般用 ○耐塩用 ○重耐塩用
	○避雷器	○屋外形 ○耐塩形
	○装柱材	○一般用 ○耐塩形
	○外灯	基礎 ○本工事 ○別途工事 ○外灯ボールの材質が鋼製（SPC）の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗 装とする。
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○ふ設方式	○地中線 ○管路式 ○波付硬質合成樹脂管（FEP） ○ポリエチレン被覆管（PLP） ○埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装（表層）下面） から300mm以上とする。
	○架空線	電柱 ○遠心力プレストレストコンクリートボール
	○マンホール及び ハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ○図示による。 蓋の文字 ○蓋の用途表示は通信とする。 ○ ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○ふ設方式	○地中線 ○管路式 ○波付硬質合成樹脂管（FEP） ○ポリエチレン被覆管（PLP） ○埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装（表層）下面） から300mm以上とする。
構 内 通 信 線 路	○マンホール及び ハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ○図示による。 蓋の文字 ○蓋の用途表示は通信とする。 ○ ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付

章	項 目	特 記 事 項
調 査 害	○調査範囲	○測定のみ ○対策工実施設計書作成まで
	○測定時期	○工事前 ○工事中 ○完成後
	○測定箇所	箇所
	○測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

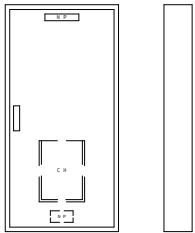
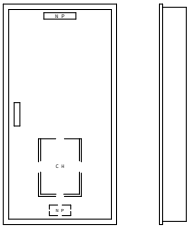
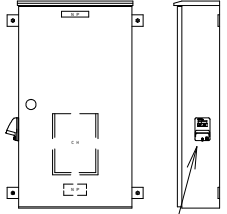
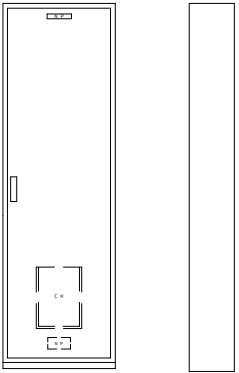
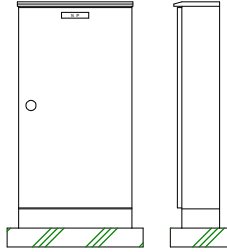
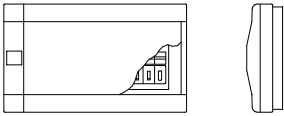
別表	付属品・予備品
○イージーキャビネット	箱 ○キーボックス ○テスター ○マンホールフック
○工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー）	
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。

試験・検査一覧
工事完成に際しては、各種試験，検査に合格の責任を持つ。
検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。
○受変電機器○動力盤及び電灯盤○耐圧試験●絶縁抵抗測定○接地抵抗測定○機器機能試験○その他監督職員の指示するもの
○工事着手に際し、事前に必要な機器（照明機器、空調機器、放送設備等）の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。
○工事着工前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。（照度測定箇所は監督員の指示する箇所とする。）
○着工前・工事完成後、空調機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
○着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
○後施工アンカーの施工確認試験（引張試験機による引張試験）は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。
例 盤・ケーブルラック・ケーブルダクト等

その他
○試験機器類の校正記録を提出する。
●停電工事の必要な時は、当該高压受電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。（関西電気保安協会）
○工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高压電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
○分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針（令和4年度版）の資料5（P1119）に基づき施工する。
○鉄筋コンクリートをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
●整備不良の電動工具等持ち込まない。
●構外搬出適切な廃処分とする（電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する）。
○交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
○カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
主要なブルボックス内にはケーブル札を取り付ける。

機器取付高さ（参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。）							
電力 共通	名称	測点	取付高（mm）	電 話	名称	測点	取付高（mm）
	取引用計器	地上～上端	2,000		端子盤	床上～上端	1,900
動 力	引込開閉器	〃	1,800	拡 音 時 計	保安器箱	天井下～上端	200
					壁付位置ボックス	床上～中心	300
	壁掛型制御盤	床上～上端	1,900		〃（和室）	〃	150
	手元開閉器	床上～中心	1,500	イ ン タ ー ホ ン	壁掛スピーカー	天井下～上端	200
電 灯	操作スイッチ	〃	1,300		アッテネーター	床上～中心	1,300
					壁掛型親時計	床上～上端	1,900
					子時計	天井下～上端	200
	分電盤	床上～上端	1,900	テ レ レ 共 聴	壁掛インターホン	床上～中心	1,500
	スイッチ（一般）	床上～中心	1,300		〃（身障者）	〃	1,100
	〃（身障者便所）	〃	900		壁付位置ボックス	〃	300
	コンセント（一般）	〃	300		〃（和室）	〃	150
	〃（和室）	〃	150	機 器 収 納 函			
	〃（台上）	台上～中心	300		機器収納函	天井下～上端	200
	〃（土間）	床上～中心	1,300		直列ユニット	床上～中心	300
	ブラケット（一般）	〃	2,100		〃（和室）	〃	150
	〃（踊場）	〃	2,500				
	〃（鏡上）	鏡上端～中心	150				

特記仕様		 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 令和 8. 8. 訂正年月日 監修 設計 製図		建 築 主 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事 工事名称 図面名称 電気設備工事特記仕様書 - 2	縮尺	図面番号
							No E-02 号図
							枚ノ内

盤形式	
A	B
	
露出型埋込型	
C	D
	
屋外型（屋根付）自立型	
E	F
	
屋外自立型（屋根付）プラスチック製 フタ付 露出、半埋込両用型	
分電盤回路記号	
AC 100V 電源回路 301 ~ 30n	
AC 200V 電源回路 401 ~ 40n	
分岐開閉器は協約形（コンパクトサイズ）とする。	
（注記）	
1、中扉は全ての盤に取付の事。	
2、全ての盤の側面に点検用コンセントを取付とする。	
接地防水コンセント（WK4105 パナソニック）とする。	
取付位置は現場の設置状態により決定の事。	
3、盤名称、負荷名称用ネームプレートはアクリル製エッチング文字とする。	
尚取付は必ず止めとする。	
4、鍵付とする。（200番）	
5、盤銅板厚は1.6mm以上とする。	
6、製造者標準仕様とする。	

盤名称 盤形式	主回路	回路	負荷名称	負荷容量 (VA)	分岐開閉器						備 考
					MCB	ELB	P	AF	AT	電圧	
LP-1 C W: 700 H: 1200 D: 200 撤去	AC1φ3W 100/200V L11 EM-CET 14° EM-1E5.5° Σ = 3.14 KVA	MCB 3P 50/30A	401 室内機 北1F	1,265	○	2	50	20	200	EM-CE3.5° -3C(1E)	
			402 室内機 北2F	1,012	○	2	50	20	200	EM-CE3.5° -3C(1E)	
			403 室内機 北3F	759	○	2	50	20	200	EM-CE3.5° -3C(1E)	
			404 予備		○	2	50	20	200		
			301 点検用コンセント	100	○	2	50	20	100	注記 2	
	AC3φ3W 200V M11 EM-CET 14° Σ = 4.29 KW	ED ◎									
			室外機 GHP 710	1.43	○	3	50	20	200	EM-CE3.5° -4C(1E)	
			室外機 GHP 710	1.43	○	3	50	20	200	EM-CE3.5° -4C(1E)	
			室外機 GHP 710	1.43	○	3	50	20	200	EM-CE3.5° -4C(1E)	
					○	3	50	30	200		
LP-2 C 残置	AC1φ3W 100/200V L12 EM-CET 22° EM-1E5.5° Σ = 4.93 KVA	MCB 3P 50/30A	401 室内機 南1・2・3F	1,059	○	2	50	20	200	EM-CE3.5° -3C(1E)	
			402 室内機 南2F	1,707	○	2	50	20	200	EM-CE3.5° -3C(1E)	
			403 室内機 南3F	1,960	○	2	50	20	200	EM-CE3.5° -3C(1E)	
			404 予備		○	2	50	20	200		
			301 集中リモコ	100	○	2	50	20	100	EM-CE3.5° -3C(1E)	
	AC3φ3W 200V M12 EM-CET 22° Σ = 4.29 KW	ED ◎	302 点検用コンセント	100	○	2	50	20	100	注記 2	
			予備		○	2	50	20	100		
			室外機 GHP 710	1.43	○	3	50	20	200	EM-CE3.5° -4C(1E)	
			室外機 GHP 710	1.43	○	3	50	20	200	EM-CE3.5° -4C(1E)	
LP-3 C 残置	AC1φ3W 100/200V L13 EM-CE 8° -3C EM-1E5.5° Σ = 1.06 KVA	MCB 3P 50/30A	401 室内機 厨房	960	○	2	50	20	200	EM-CE3.5° -3C(1E)	
			402 予備		○	2	50	20	200		
			301 点検用コンセント	100	○	2	50	20	100	注記 2	
			予備		○	2	50	20	100		
	AC3φ3W 200V M13 EM-CE 8° -3C Σ = 1.07 KW	ED ◎									
			室外機 GHP 560	1.07	○	3	50	20	200	EM-CE3.5° -4C(1E)	
					○	3	50	30	200		

盤名称 盤形式	主回路	回路	負荷名称	負荷容量 (KW)	分岐開閉器						備 考
					MCB	ELB	P	AF	AT	電圧	
M-PW E W: 700 H: 1300 D: 250 撤去	AC3φ3W 200V M2 EM-CET 38° MB 3P 7.5KW ED ◎	A 61F A Y-△ ED ◎	揚水ポンプ(1)	7.5							CV 8° -3C E5.5°
			警報盤								EM-CEE 2° -6C
			高架水槽								1.6×5
			受水槽								1.6×4
			揚水ポンプ(2)	7.5							CV 8° -3C E5.5°
	AC3φ3W 200V M5 EM-CET 38° E5.5° ED ◎	ED ◎									
			旧消防ポンプ								
			警報盤								
2M-CP A W: 500 H: 500 D: 125 撤去	AC3φ3W 200V M5 EM-CET 38° E5.5° ED ◎	ED ◎	既設空調機			○	3	50	30	200	
			〃			○	〃	〃	〃	〃	
2M-ST A W: 500 H: 500 D: 125 撤去	AC3φ3W 200V M5 EM-CET 22° E 8°	ED ◎	既設空調機			○	3	50	30	200	
			〃			○	〃	〃	〃	〃	

(A)	×	6KV EM-CET 38'	(FEP80)	高圧引込	地中埋設配管配線
	×	EM-CEES 2' - 3C	(FEP50)	制御	
	×	EM-CEE 2' - 6C		制御	
(A)	×	6KV EM-CET 38'	(PE70)	高圧引込	コンクリート柱立上配管
	×	EM-CEES 2' - 3C	(PE42)	制御	
	×	EM-CEE 2' - 6C		制御	
	×	EM-IE 14'	(VE22)	EA 接地線	

(B)	×	CV 60' -3C	1φ3W	×	(VE82)	L1	北棟	1L-1	地中埋設配管配線
	×	CV100' -3C	1φ3W	×	(VE82)	L2	南棟	1L-2	
	×	CV 80' -3C	1φ3W	×	(VE82)	L3	体育館	1L-T	
	×	CV 38' -3C	3φ3W	×	(VE82)	M3	給食調理室動力	1M-K	
	×	CV 8' -3C	3φ3W	×	(VE82)	M10	浄化槽	****	
	×	予備		×	(VE82)				
	×			×	(VE82)				

(C)	×	CV 8' -3C	1φ3W	×	(GP42)	L6	防火戸電源盤	1L-FD	地中埋設配管配線
-----	---	-----------	------	---	--------	----	--------	-------	----------

(D)	×	CV 60' -3C	1φ3W	×	(VE82)	L1	北棟	1L-1	地中埋設配管配線
	×	CV 80' -3C	1φ3W	×	(VE82)	L3	体育館	1L-T	

(E)	×	CV100' -3C	1φ3W	×	(VE82)	L2	南棟	1L-2	地中埋設配管配線
	×	CV 38' -3C	3φ3W	×	(VE82)	M3	給食調理室動力	1M-K	
	×	CV 8' -3C	3φ3W	×	(VE82)	M10	浄化槽	****	
	×			×	(VE82)				

(J)	×	CV 8' -3C	3φ3W	×	架空	M9	生ごみ処理機	M-KG	メッセージャー吊り
-----	---	-----------	------	---	----	----	--------	------	-----------

(K)	×	CV 8' -2C	1φ2W	(VE28)	L4	プール電灯	LM-P	地中埋設配管配線
	×	CV 14' -3C	3φ3W	(VE36)	M4	プール動力	LM-P	

(L)	×	EM-CET 60'	1φ3W	×	(FEP65)	L5	ラジウム	3LM-L	地中埋設配管配線
	×	EM-CET 38'	1φ3W	×	(FEP50)	L7	職員室コンセント	1L-S	
	×	EM-CET 14'	1φ3W	×	(FEP40)	L11	G H P 空調機	LP-1	
	×	EM-CET 22'	1φ3W	×	(FEP40)	L12	G H P 空調機	LP-2	
	×	EM-CE5.5' -3C	1φ3W	×	(FEP30)	L13	G H P 空調機	LP-3	
	×	EM-FP 38' -3C	3φ3W	×	(FEP50)	M1	消火ポンプ	M-PF	
	×	EM-CET 38'	3φ3W	×	(FEP50)	M2	揚水ポンプ	M-PW	
	×	EM-CET 38'	3φ3W	×	(FEP50)	M5	コンピュータ室空調機	2M-CP	
	×	EM-CET 22'	3φ3W	×	(FEP40)	M6	図書室空調機	2M-ST	
	×	EM-CET 22'	3φ3W	×	(FEP40)	M7	職員室空調機	1M-S	
	×	EM-CET 22'	3φ3W	×	(FEP40)	M8	ラジウム	3LM-L	
	×	EM-CE 8' -3C	3φ3W	×	(FEP30)	M9	生ごみ処理機	M-KG	
	×	EM-CET 14'	3φ3W	×	(FEP40)	M11	G H P 空調機	LP-1	
	×	EM-CET 22'	3φ3W	×	(FEP50)	M12	G H P 空調機	LP-2	
	×	EM-CE5.5' -3C	3φ3W	×	(FEP30)	M13	G H P 空調機	LP-3	
	×	EM-IE 38'		×	(FEP30)	ED	接地母線		
	×	EM-CEE 2' - 6C		×	(FEP30)	AL1	漏電警報	K-1	
	×	予備		×	(FEP65)				
	×			×	(FEP65)				
	×			×	(FEP65)				
	×			×	(FEP65)				

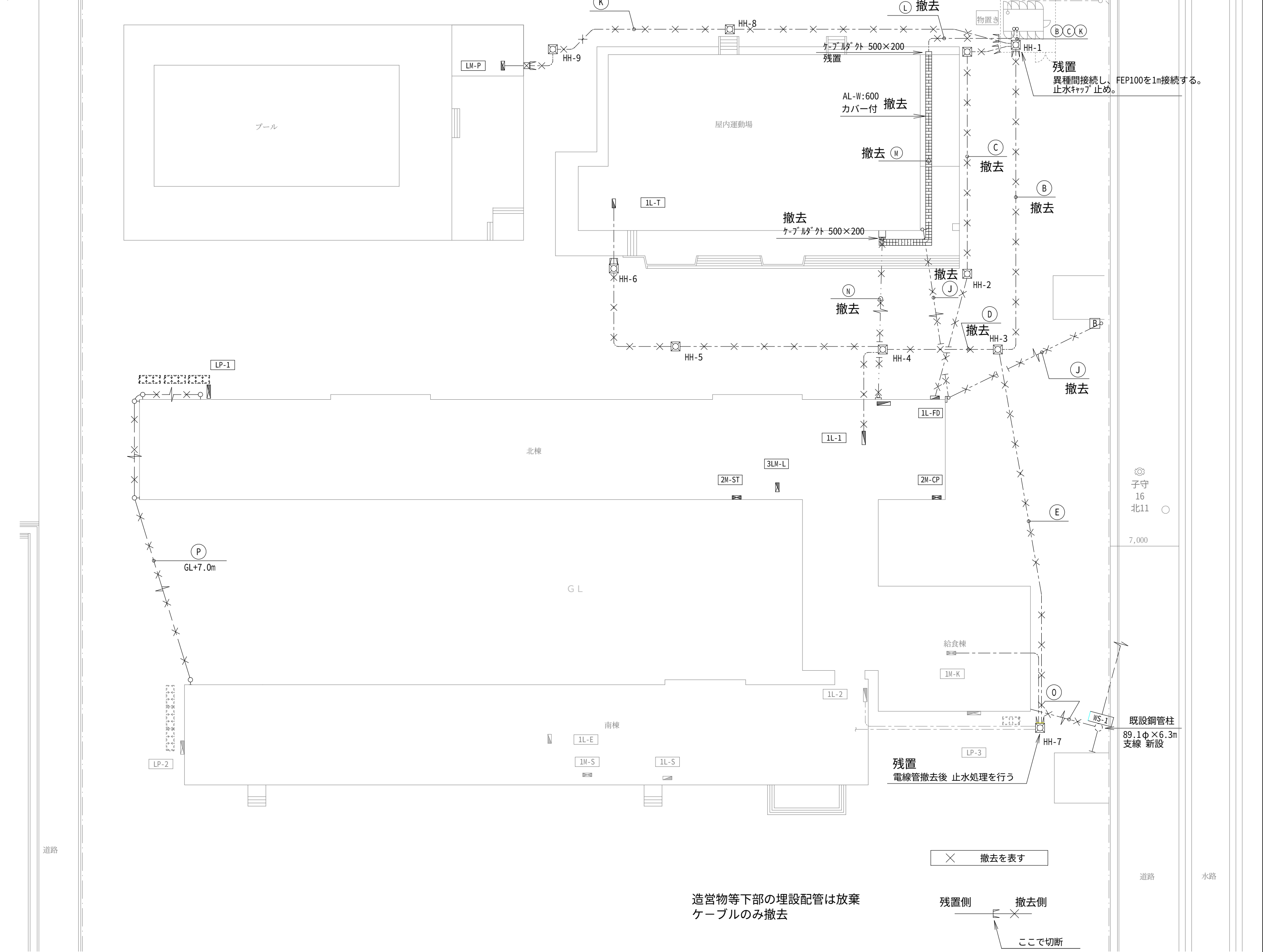
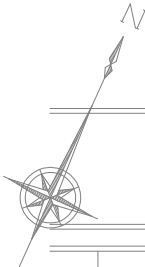
(M)	×	EM-CET 60'	1φ3W		L5	ラジウム	3LM-L	ケーブルラック × 700mm-W:600mm × カバー付
	×	EM-CET 38'	1φ3W		L7	職員室コンセント	1L-S	
	×	EM-CET 14'	1φ3W		L11	G H P 空調機	LP-1	
	×	EM-CET 22'	1φ3W		L12	G H P 空調機	LP-2	
	×	EM-CE5.5' -3C	1φ3W		L13	G H P 空調機	LP-3	
	×	EM-FP 38' -3C	3φ3W		M1	消火ポンプ	M-PF	
	×	EM-CET 38'	3φ3W		M2	揚水ポンプ	M-PW	
	×	EM-CET 38'	3φ3W		M5	コンピュータ室空調機	2M-CP	
	×	EM-CET 22'	3φ3W		M6	図書室空調機	2M-ST	
	×	EM-CET 22'	3φ3W		M7	職員室空調機	1M-S	
	×	EM-CET 22'	3φ3W		M8	ラジウム	3LM-L	
	×	EM-CE 8' -3C	3φ3W		M9	生ごみ処理機	M-KG	
	×	EM-CET 14'	3φ3W		M11	G H P 空調機	LP-1	
	×	EM-CET 22'	3φ3W		M12	G H P 空調機	LP-2	
	×	EM-CE5.5' -3C	3φ3W		M13	G H P 空調機	LP-3	
	×	EM-IE 38'			ED	接地母線		
	×	EM-CEE 2' - 6C			AL1	漏電警報	K-1	
	×							
	×							
	×							
	×							

(N)	×	EM-CET 60'	1φ3W	×	架空	L5	ラジウム	3LM-L	メッセージャー吊り
	×	EM-CET 38'	1φ3W	×	架空	L7	職員室コンセント	1L-S	
	×	EM-CET 14'	1φ3W	×	架空	L11	G H P 空調機	LP-1	
	×	EM-CET 22'	1φ3W	×	架空	L12	G H P 空調機	LP-2	
	×	EM-CE5.5' -3C	1φ3W	×	架空	L13	G H P 空調機	LP-3	
	×	EM-FP 38' -3C	3φ3W	×	架空	M1	消火ポンプ	M-PF	
	×	EM-CET 38'	3φ3W	×	架空	M2	揚水ポンプ	M-PW	
	×	EM-CET 38'	3φ3W	×	架空	M5	コンピュータ室空調機	2M-CP	
	×	EM-CET 22'	3φ3W	×	架空	M6	図書室空調機	2M-ST	
	×	EM-CET 22'	3φ3W	×	架空	M7	職員室空調機	1M-S	
	×	EM-CET 22'	3φ3W	×	架空	M8	ラジウム	3LM-L	
	×	EM-CE 8' -3C	3φ3W	×	架空	M9	生ごみ処理機	M-KG	
	×	EM-CET 14'	3φ3W	×	架空	M11	G H P 空調機	LP-1	
	×	EM-CET 22'	3φ3W	×	架空	M12	G H P 空調機	LP-2	
	×	EM-CE5.5' -3C	3φ3W	×	架空	M13	G H P 空調機	LP-3	
	×	EM-IE 38'		×	架空	ED	接地母線		
	×	EM-CEE 2' - 6C		×	架空	AL1	漏電警報	K-1	
	×								
	×								
	×								

(J)	×	DV 2.0-2C	1φ2W	架空		仮設便所	
-----	---	-----------	------	----	--	------	--

(O)	×	DV 2.0-2C	1φ2W	架空		仮設便所	
-----	---	-----------	------	----	--	------	--

(P)	×	DV 2.0-2C×2	1φ2W	架空			
-----	---	-------------	------	----	--	--	--



株式会社 木下建築設計事務所
611-0026 宇治市開町37-10
TEL(0774)41-6514 FAX(0774)44-1080

一級建築士登録 第125477号

細野幹生

製図年月日 令和 8. 8.

訂正年月日

監修 設計 製図

工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称 電気設備 改修外構図

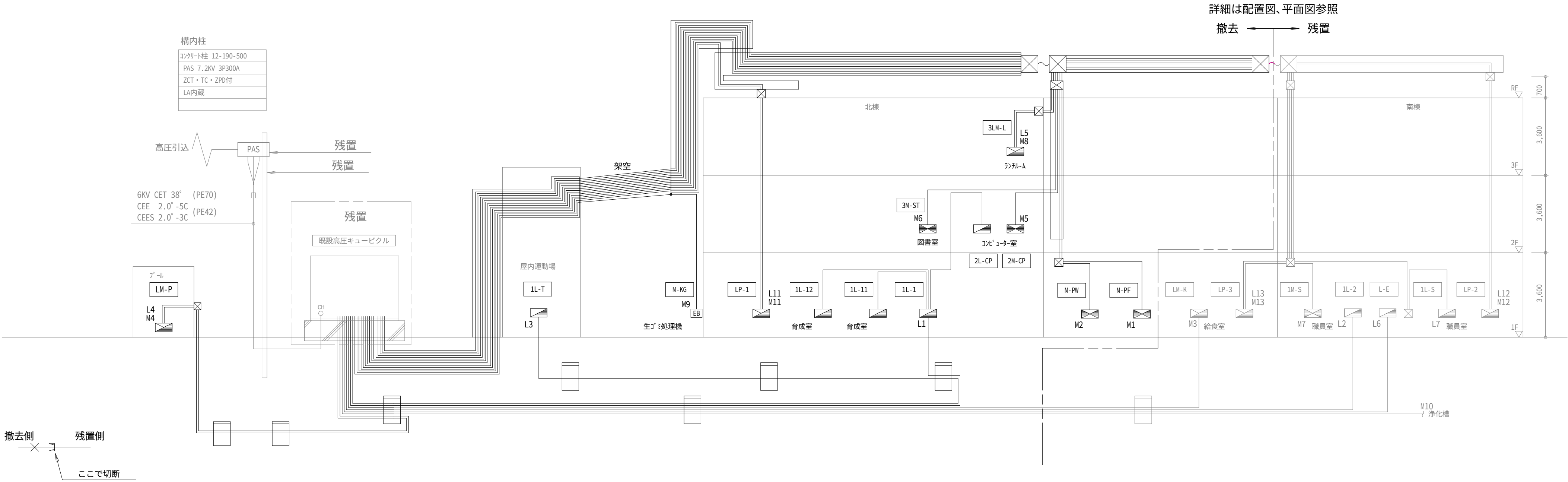
縮尺

1/300

図面番号

E-06 号図

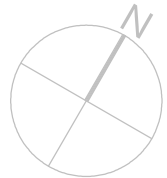
枚ノ内

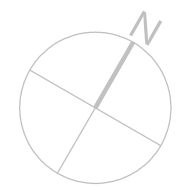


至る屋外キュービクルへ ← 3相 200V 注記：既設電気容量は既設図面による。				
M1 撤去 MCB 3P 100/100A FPC 38°-3C 消火ポンプ M-PF 11.0 KW	M2 撤去 MCB 3P 100/100A CET 38° 揚水ポンプ M-PW 7.5 KW	M3 部分撤去 MCB 3P 225/150A CV 38°-3C 給食室 LM-K 21.9 KW	M4 部分撤去 MCB 3P 100/100A CV 14°-3C プール LM-P 5.5 KW	M5 撤去 MCB 3P 100/100A CET 38° コンピュータ室 2M-CP 10.8 KW
M6 撤去 MCB 3P 100/100A CET 22° 図書室空調 2M-ST 8.5 KW	M7 部分撤去 MCB 3P 100/100A CET 38° 職員室空調 1M-S 10.8 KW	M8 撤去 MCB 3P 100/ 75A CET 22° ラジエータ空調 3LM-L 6.6 KW	M9 撤去 MCB 3P 50/ 50A CE 8°-3C CV 8°-3C 生ゴミ処理機 M-KG 4.8 KW	M10
M11 撤去 MCB 3P 50/ 50A CET 14° GHP LP-1 4.29KW	M12 部分撤去 MCB 3P 50/ 50A CET 22° GHP LP-2 4.29KW	M13 部分撤去 MCB 3P 50/ 30A CE5.5°-3C GHP LP-3 1.07KW		

至る屋外キュービクルへ ← 1相 100/200V 注記：既設電気容量は既設図面による。			
L1 撤去 MCB 3P 225/200A CV 60°-3C 管路変更 北棟 1L-1 23.01 KVA 育成室 1L-11 1.48 KVA 育成室空調盤 1L-12 3.74 KVA コンピュータ室 2L-CP 7.4 KVA 35.63 KVA	L2 部分撤去 MCB 3P 225/200A CV100°-3C 南棟 1L-2 39.26 KVA	L3 部分撤去 MCB 3P 225/200A CV 80°-3C 屋内運動場 1L-T 11.58 KVA	L4 部分撤去 MCB 2P 50/ 30A CV 8°-2C プール LM-P 1.0 KVA
L5 撤去 MCB 3P 100/100A CET 60° CVT 38° ラジエータ 3LM-L 17.58 KVA	L6 部分撤去 MCB 3P 50/ 30A CV 8°-3C 防災電源 L-E 1.5 KVA	L7 部分撤去 MCB 3P 100/100A CET 38° 職員室セント 1L-S 7.5 KVA	
L11 撤去 MCB 3P 50/ 30A CET 14° GHP LP-1 3.29KVA	L12 部分撤去 MCB 3P 50/ 50A CET 22° GHP LP-2 4.67KVA	L13 部分撤去 MCB 3P 50/ 30A CE5.5°-3C GHP LP-3 1.06KVA	

		株式会社	木下建築設計事務所	一級建築士登録	第125477号	製図年月日	令和 8. 8.			工事名称	旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺	1/200	図面番号	E-09 号図
						訂正年月日									
				611-0026	宇治市開町 3 7 - 1 0	細野幹生		監修	設計	製図	図面名称	幹線・動力設備 1 階平面図			





L5	EM-CET 60° IE14° (GP70)
M8	EM-CET 22° IE14° (GP42)

撤去範圍

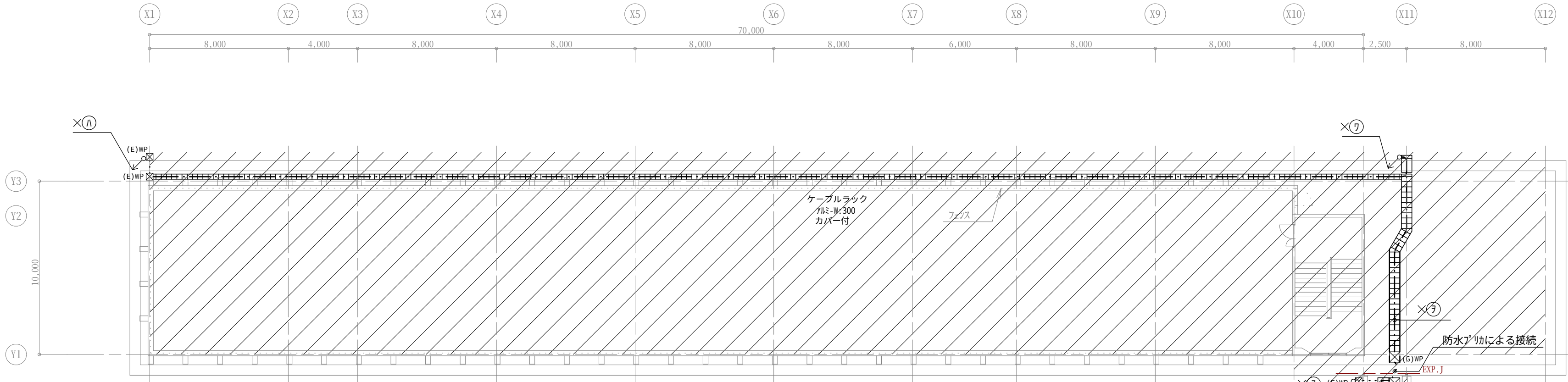


1	2	3	4
Ⓐ	×	EM-CET 22° IE14° 1φ3W (GP42) L11	LP-1
	×	EM-CET 14° 3φ3W (GP36) M11	LP-1
	×	EM-CE3.5° -3C(1E) 1φ2W (GP28) (403)	
			× 露出配管配線

Ⓐ	×	EM-CET 22° IE14° 1φ3W (GP42) L11	LP-1
	×	EM-CET 14° 3φ3W (GP36) M11	LP-1
			× 露出配管配線

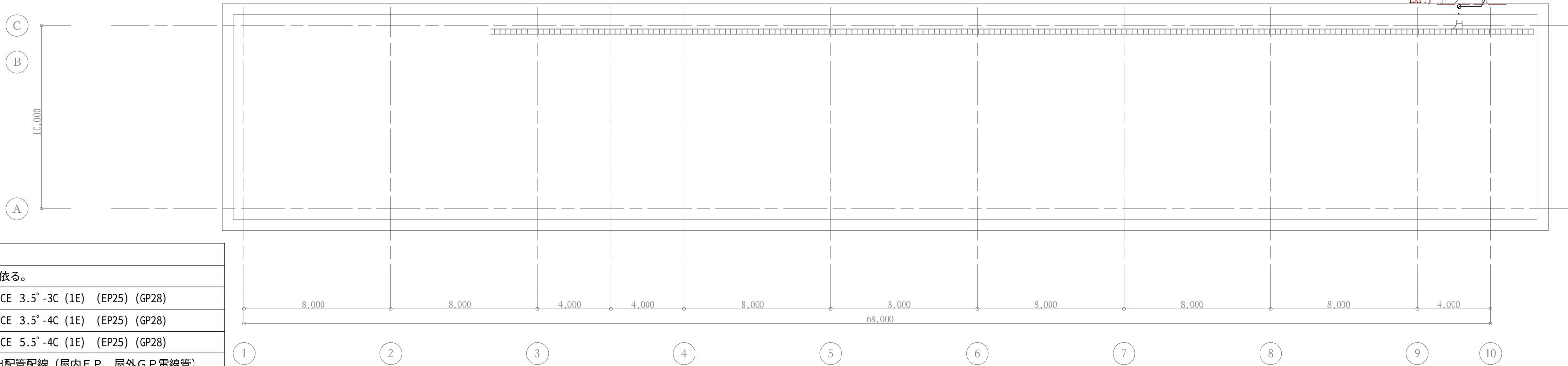
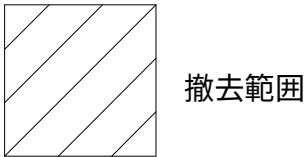
————	天井いんぺい
-----	床いんぺい
-----	露出
-----	地中埋設

× 撤去を表す



⑦	×	EM-CET 60°	1φ3W	L5	ランルーム	3LM-L	×ケーブルラック 70ミ-W:600 カバー付
	×	EM-CET 38°	1φ3W	L7	職員室コンセント	1L-S	
	×	EM-CET 38°	1φ3W	L12	GHP空調機	LP-2	
	×	EM-CE 5.5°-3C	1φ3W	L13	GHP空調機	LP-3	
	×	EM-FP 38°-3C	3φ3W	M1	消火ポンプ	M-PF	
	×	EM-CET 38°	3φ3W	M2	揚水ポンプ	M-PW	
	×	EM-CET 22°	3φ3W	M5	コンピュータ室空調機	2M-CP	
	×	EM-CET 22°	3φ3W	M6	図書室空調機	2M-ST	
	×	EM-CET 38°	3φ3W	M7	職員室空調機	1M-S	
	×	EM-CET 22°	3φ3W	M8	ランルーム	3LM-L	
	×	EM-CET 38°	3φ3W	M12	GHP空調機	LP-2	
	×	EM-CE 5.5°-3C	3φ3W	M13	GHP空調機	LP-3	
	×	EM-IE 38°		ED	接地母線		
	×	EM-CEE 2°-6C		AL1	漏電警報	K-1	

⑦	×	EM-CET 60°	1φ3W	L5	ランルーム	3LM-L	×ケーブルダクト 500×200 指定色（焼き付け塗装）
	×	EM-CET 38°	1φ3W	L7	職員室コンセント	1L-S	
	×	EM-CET 22°	1φ3W	L11	GHP空調機	LP-1	
	×	EM-CET 38°	1φ3W	L12	GHP空調機	LP-2	
	×	EM-CE 5.5°-3C	1φ3W	L13	GHP空調機	LP-3	
	×	EM-FP 38°-3C	3φ3W	M1	消火ポンプ	M-PF	
	×	EM-CET 38°	3φ3W	M2	揚水ポンプ	M-PW	
	×	EM-CET 22°	3φ3W	M5	コンピュータ室空調機	2M-CP	
	×	EM-CET 22°	3φ3W	M6	図書室空調機	2M-ST	
	×	EM-CET 38°	3φ3W	M7	職員室空調機	1M-S	
	×	EM-CET 22°	3φ3W	M8	ランルーム	3LM-L	
	×	EM-CET 14°	3φ3W	M11	GHP空調機	LP-1	
	×	EM-CET 38°	3φ3W	M12	GHP空調機	LP-2	
	×	EM-CE 5.5°-3C	3φ3W	M13	GHP空調機	LP-3	



①	×	EM-CET 22° IE14°	1φ3W	×	(GP42)	L11	LP-1	×	露出配管配線
	×	EM-CET 14°	3φ3W	×	(GP36)	M11	LP-1		

②	×	EM-CET 60° IE14°	1φ3W	L5	ランルーム	3LM-L	×ケーブルラック 70ミ-W:300 カバー付
	×	EM-FP 38°-3C IE14°	3φ3W	M1	消火ポンプ	M-PF	
	×	EM-CET 38° IE14°	3φ3W	M2	揚水ポンプ	M-PW	
	×	EM-CET 22° IE14°	3φ3W	M5	コンピュータ室空調機	2M-CP	
	×	EM-CET 22° IE14°	3φ3W	M6	図書室空調機	2M-ST	
	×	EM-CET 22° IE14°	3φ3W	M8	ランルーム	3LM-L	
	×	EM-CEE 2°-6C		AL1		1K-1	

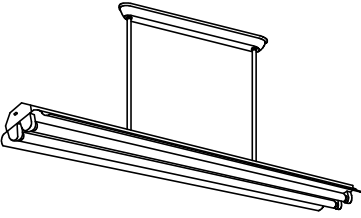
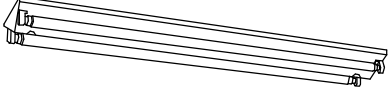
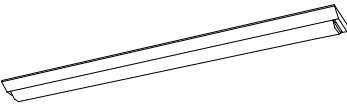
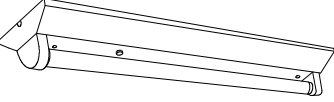
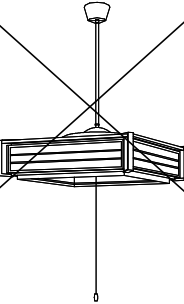
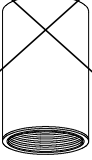
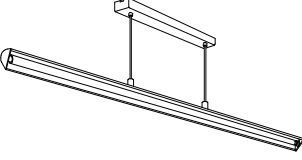
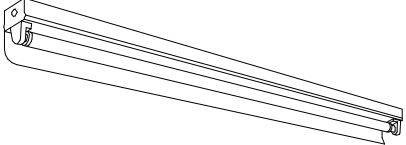
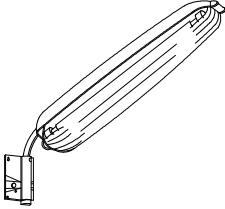
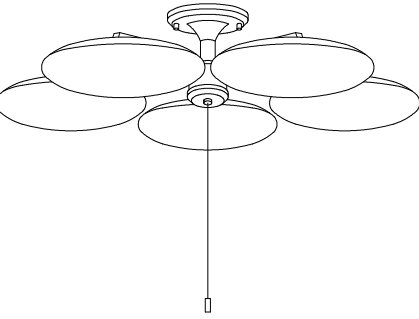
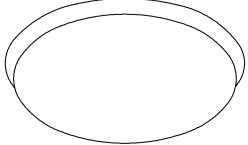
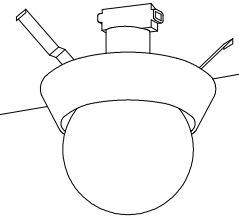
③	×	EM-CET 38° IE14°	1φ3W	L7	職員室コンセント	×ケーブルラック 70ミ-W:300 カバー付
	×	EM-CET 38° IE14°	1φ3W	L12	LP-2	
	×	EM-CE5.5°-3C IE5.5°	1φ3W	L13	LP-3	
	×	EM-CET 38° IE14°	3φ3W	M7	職員室空調機	
	×	EM-CET 22°	3φ3W	M12	LP-2	
	×	EM-CEE 2°-6C		AL1	1K-1	

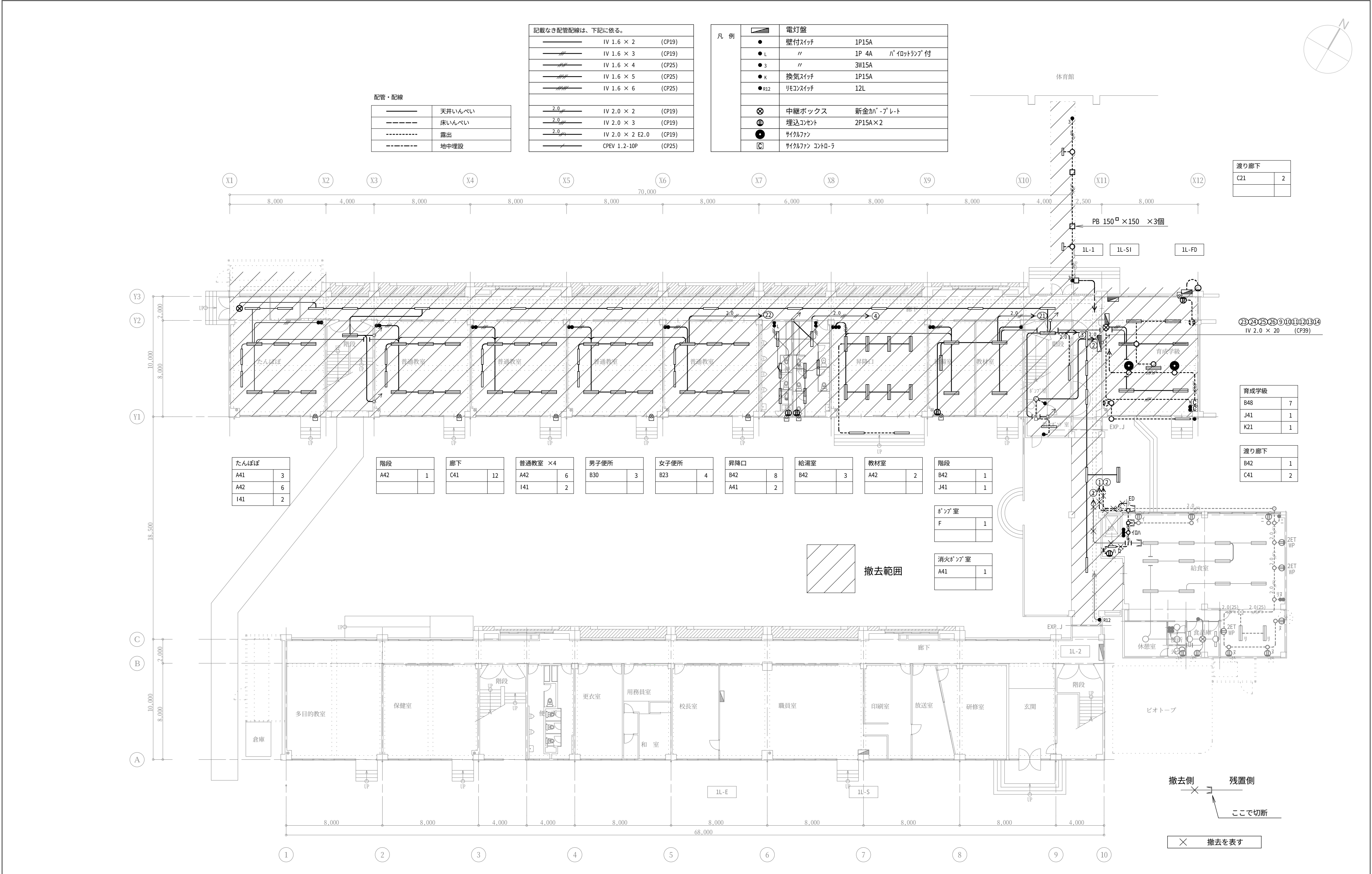
配管・配線	
——	天井いんべい
----	床いんべい
-----	露出
-----	地中埋設

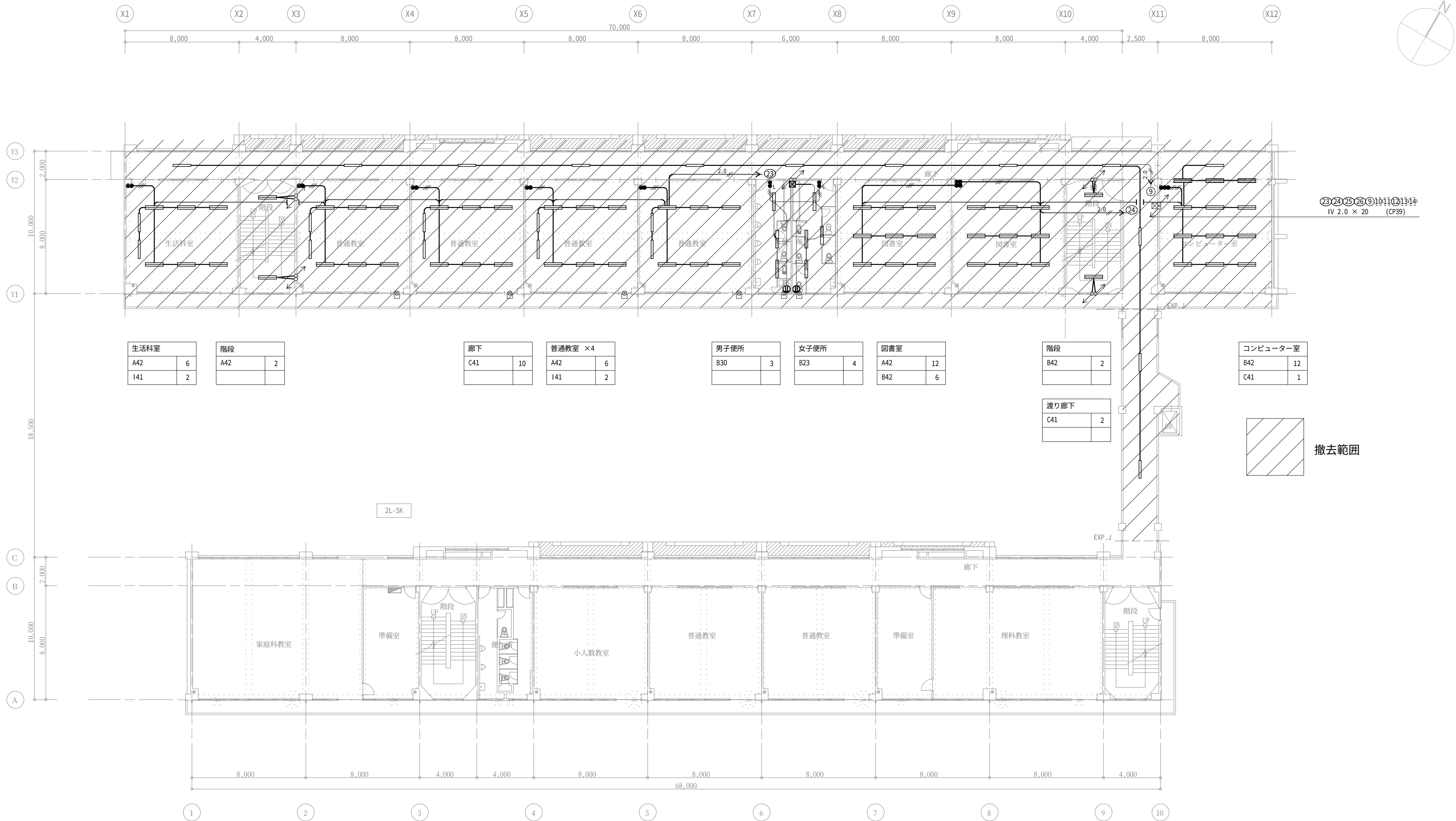
× 撤去を表す

(特記事項)		
記載なき配管配線は、下記に依る。		
-----	EM-CE 3.5°-3C (1E) (EP25) (GP28)	
-----	EM-CE 3.5°-4C (1E) (EP25) (GP28)	
-----	EM-CE 5.5°-4C (1E) (EP25) (GP28)	
凡 例	露出配管配線（屋内EP、屋外GP電線管）	
	☒ _(A)	P,BOX SS 150×150×100 SUS WPは防水仕様
	☒ _(B)	P,BOX SS 150×150×150 SUS //
	☒ _(C)	P,BOX SS 200×200×100 SUS //
	☒ _(D)	P,BOX SS 200×200×200 SUS //
	☒ _(E)	P,BOX SS 300×300×300 SUS //
	☒ _(F)	P,BOX SS 400×400×400 SUS //
	☒ _(G)	P,BOX SS 600×600×400 SUS //
- - - - 丸型露出BOX		
⊙ 壁貫通(ダクトカッター) 貫通処理は国交省大臣認定工法		
☒、☒ EXP.J		

		株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 宇治市開町 3 7 - 1 0 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080	一級建築士登録 第125477号 細野幹生	製図年月日 令和 8. 8.			工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事	縮尺 1/200	図面番号 E-12 号図
				訂正年月日					
				監修	設計	製図	図面名称 幹線・動力設備 R階平面図		枚ノ内

A41	FL 40W-1	B22	FL 20W-2	B23	LED 16.3W×1	C21	FL 20W-1	E32	FCL 30W-2
A42	FL 40W-2	B42	FL 40W-2	B30	LED 20.6W×1	C41	FL 40W-1		
				B48	LED 31.9W×1				
				B65	LED 43.1W×1				
									
F	IL 40W-1	G	IL 100W-1	H11	FL 10W-1	I41	FL 40W-1	J41	FL 40W-1
									
J41	FL 40W-1			L1	FCL 30W-5	L2	FCL190W11	L3	EFG 25W-1
									

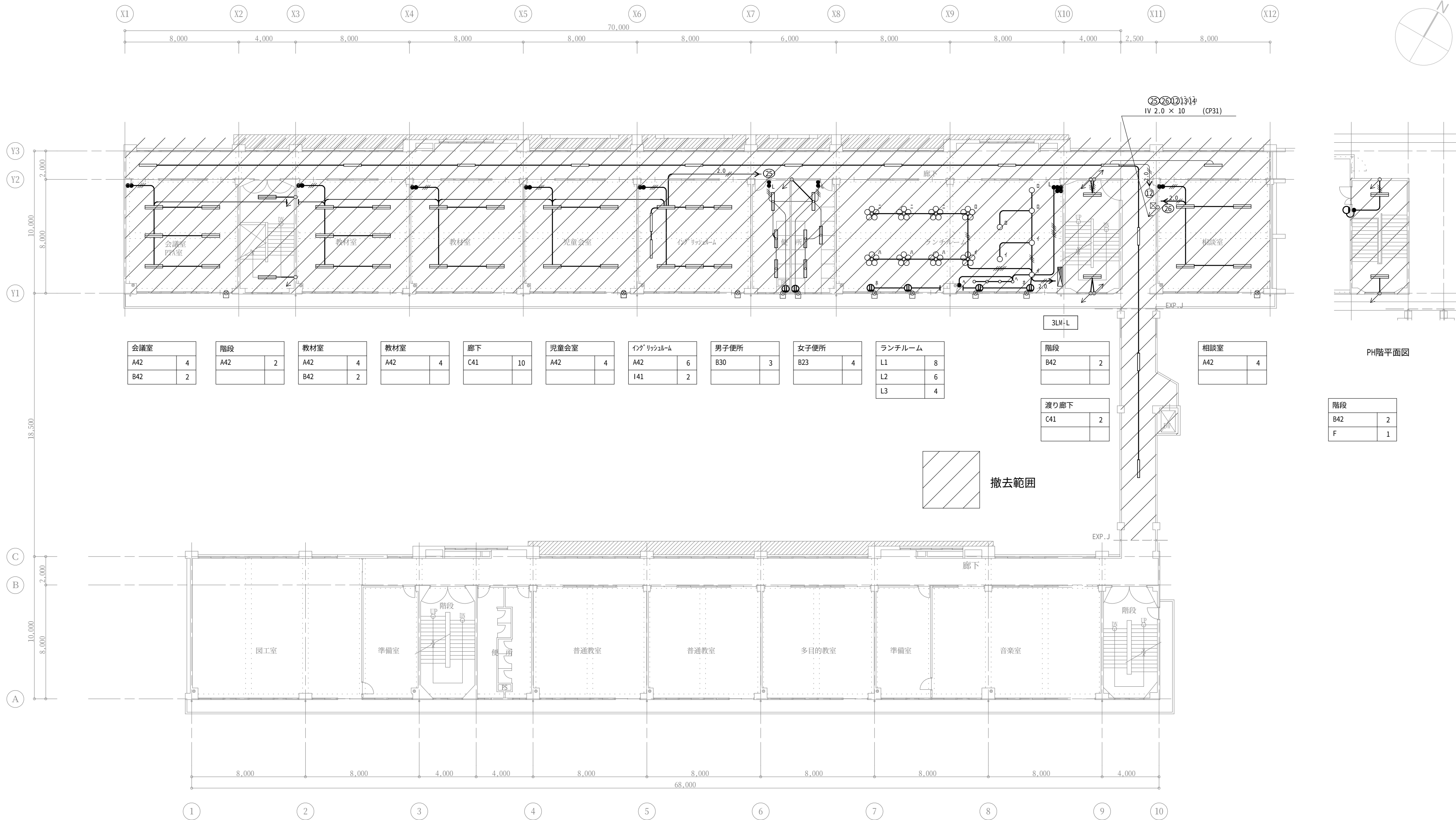




配管・配線	
———	天井いんべい
-----	床いんべい
-----	露出
-----	地中埋設

記載なき配管配線は、下記に依る。		
———	IV 1.6 × 2	(CP19)
———	IV 1.6 × 3	(CP19)
———	IV 1.6 × 4	(CP25)
———	IV 1.6 × 5	(CP25)
———	IV 1.6 × 6	(CP25)
———	IV 2.0 × 2	(CP19)
———	IV 2.0 × 3	(CP19)
———	CPEV 1.2-10P	(CP25)

凡 例		電灯盤
	●	壁付スイッチ 1P15A
	● L	1P 4A ハイドラランプ付
	● 3	3W15A
	● K	換気スイッチ 1P15A
	● R12	リモコンスイッチ 12L
	⊗	中継ボックス 新金加バ-プレート
	Ⓜ	埋込コンセント 2P15A×2



会議室	
A42	4
B42	2

階段	
A42	2

教材室	
A42	4
B42	2

教材室	
A42	4

廊下	
C41	10

児童会室	
A42	4

イングリッシュルーム	
A42	6
I41	2

男子便所	
B30	3

女子便所	
B23	4

ランチルーム	
L1	8
L2	6
L3	4

3LM+L

階段	
B42	2

相談室	
A42	4

渡り廊下	
C41	2

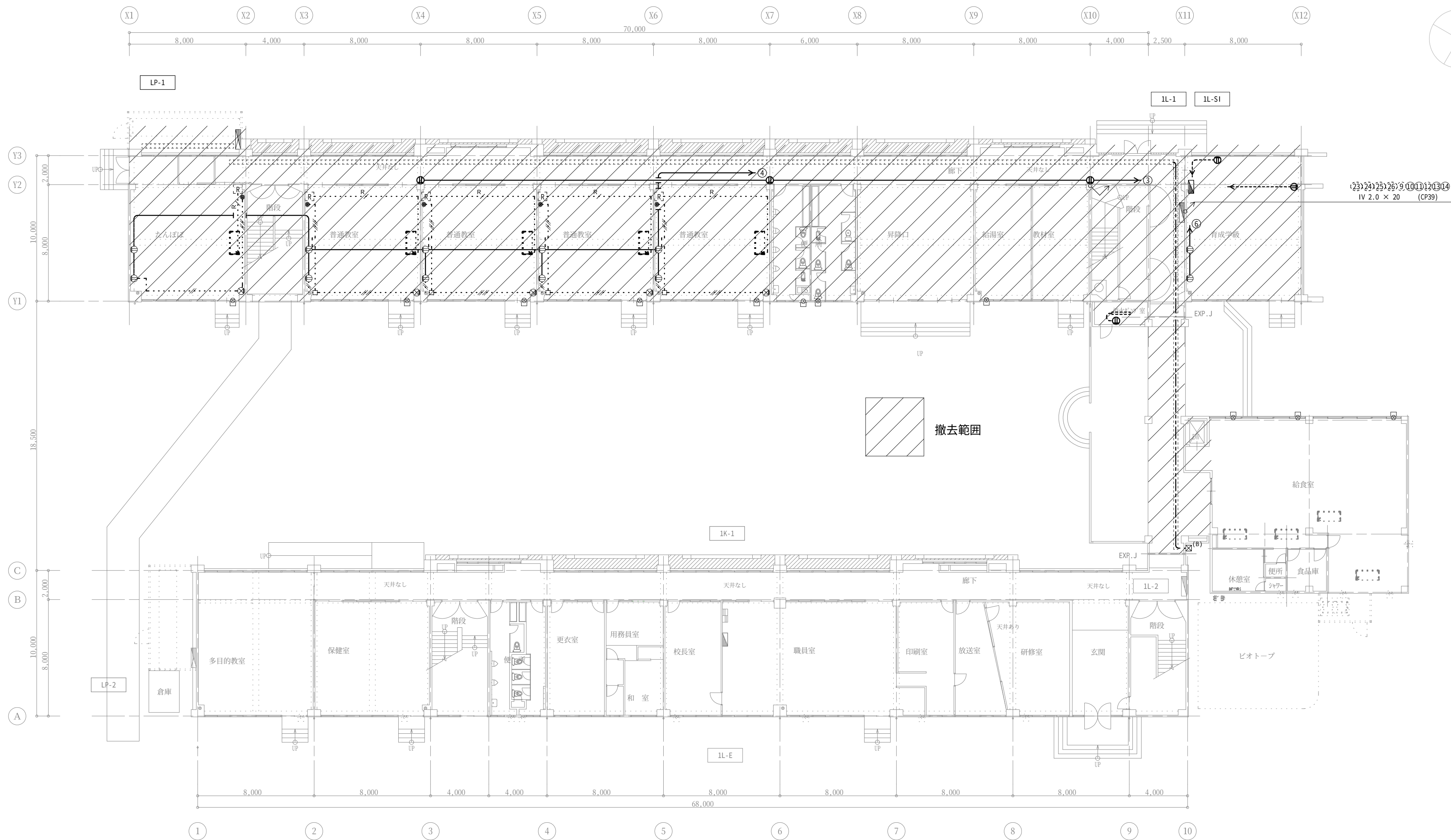
階段	
B42	2
F	1

配管・配線

——	天井いんべい
----	床いんべい
-----	露出
-----	地中埋設

記載なき配管配線は、下記に依る。		
——	IV 1.6 × 2	(CP19)
——	IV 1.6 × 3	(CP19)
——	IV 1.6 × 4	(CP25)
——	IV 1.6 × 5	(CP25)
——	IV 1.6 × 6	(CP25)
——	IV 2.0 × 2	(CP19)
——	IV 2.0 × 3	(CP19)
——	CPEV 1.2-10P	(CP25)

凡 例		電灯盤
	●	壁付スイッチ 1P15A
	● L	1P 4A ハ イロットランプ 付
	● 3	3W15A
	● K	換気スイッチ 1P15A
	● R12	リモコンスイッチ 12L
	⊗	中継ボックス 新金加バ - プレート
	Ⓜ	埋込コンセント 2P15A×2

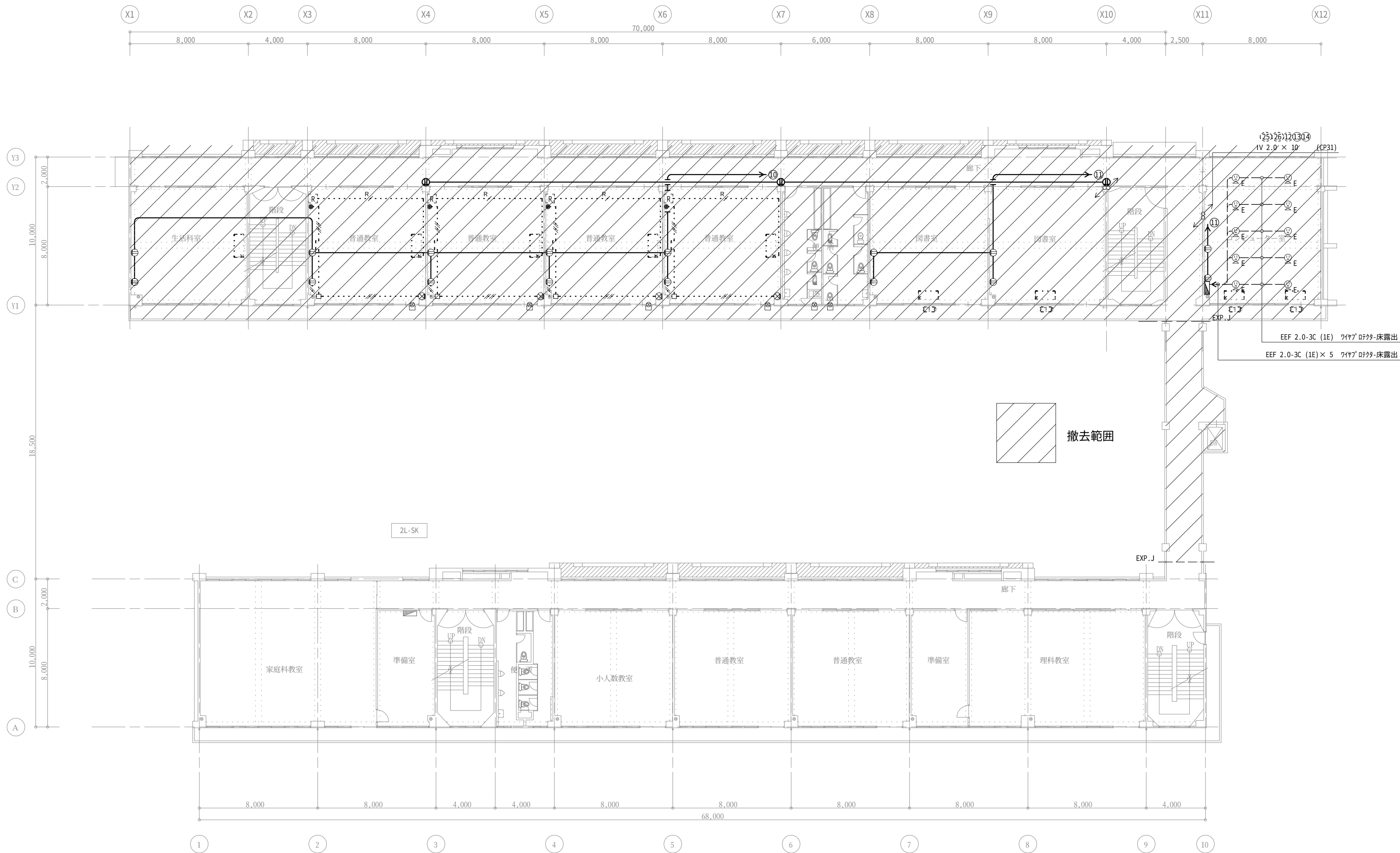


配管・配線

———	天井いんべい
-----	床いんべい
-----	露出
-----	地中埋設
-----	ラック配線

記載なき配管配線は、下記に依る。		
コンセント		
———	IV 2.0 × 2	(CP19)
———	IV 2.0 × 2 E2.0	(CP19)
換気		
-----	EM-EEF	1.6-3C(1E) (EP19)
-----	EM-IE	1.6×2 (XAE-IIA)
-----	EM-IE	1.6×4 (XAE-IIA)
空調機リモコン		
-----	EM-CPEES	1.2-2C×1 (XAE-IIA)

凡 例		電灯盤	
		埋込コンセント	2P15A×2
		"	2P15A×2 接地極付
		床埋込コンセント	2P15A×1 接地極付
		丸型露出BOX	
		24時間換気スイッチ	
		換気扇用J.BOX	新金加プレート
		空調機リモコン	

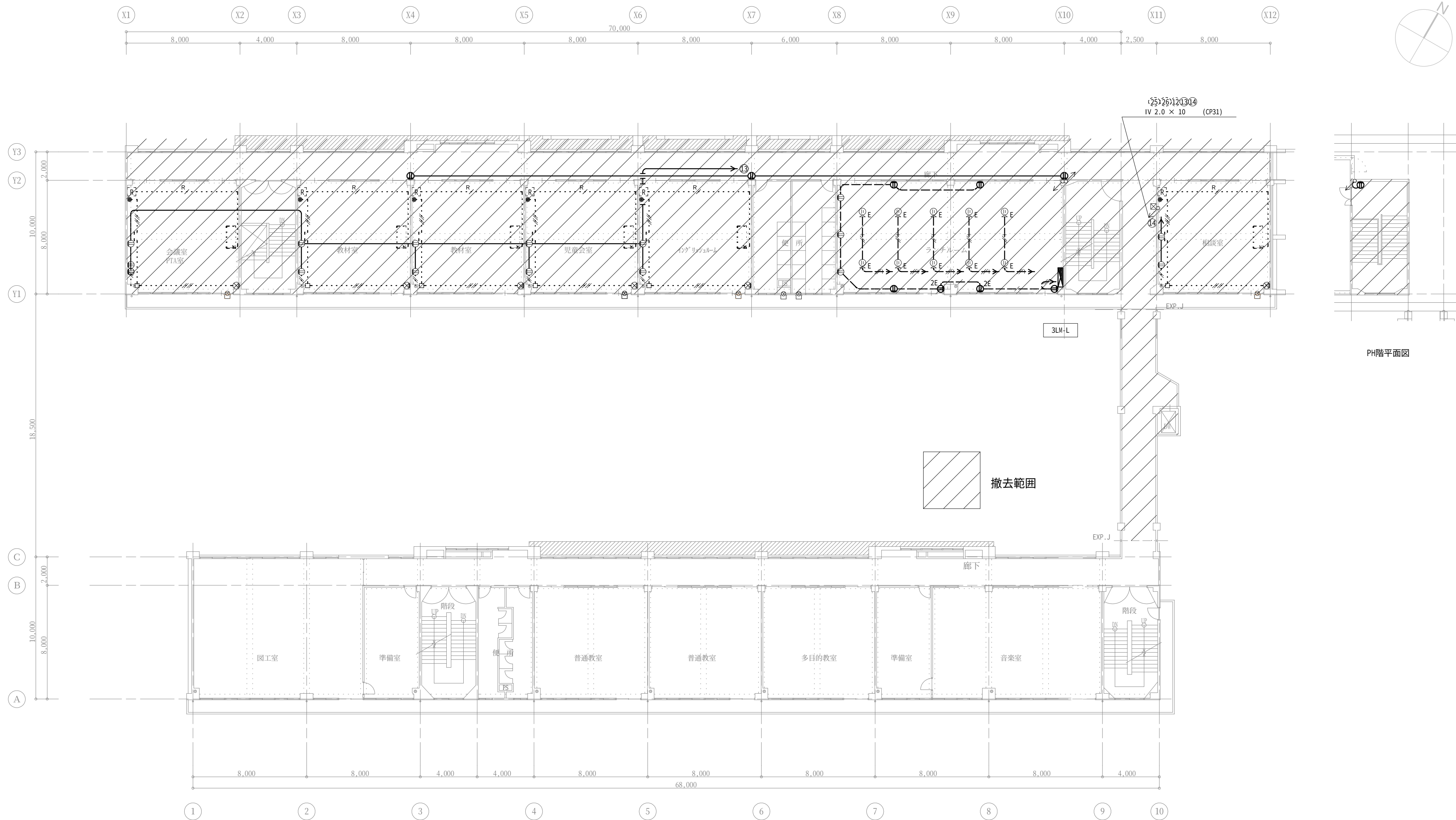


配管・配線

———	天井いんべい
-----	床いんべい
-----	露出
-----	地中埋設
-----	ラック配線

記載なき配管配線は、下記に依る。		
コンセント		
———	IV 2.0 × 2	(CP19)
———	IV 2.0 × 2 E2.0	(CP19)
換気		
-----	EM-EEF	1.6-3C(1E) (EP19)
-----	EM-1E	1.6×2 (X9E-11A)
-----	EM-1E	1.6×4 (X9E-11A)
空調機リモコ		
-----	EM-CPEES	1.2-2C×1 (X9E-11A)

凡 例		電灯盤	
		埋込コンセント	2P15A×2
		"	2P15A×2 接地極付
		床露出コンセント	2P15A×1 接地極付
		丸型露出BOX	
		24時間換気スイッチ	
		換気扇用J.BOX	新金加"-プレート
		空調機リモコ	

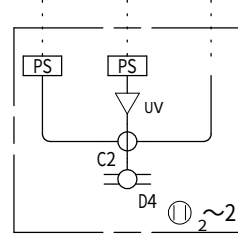
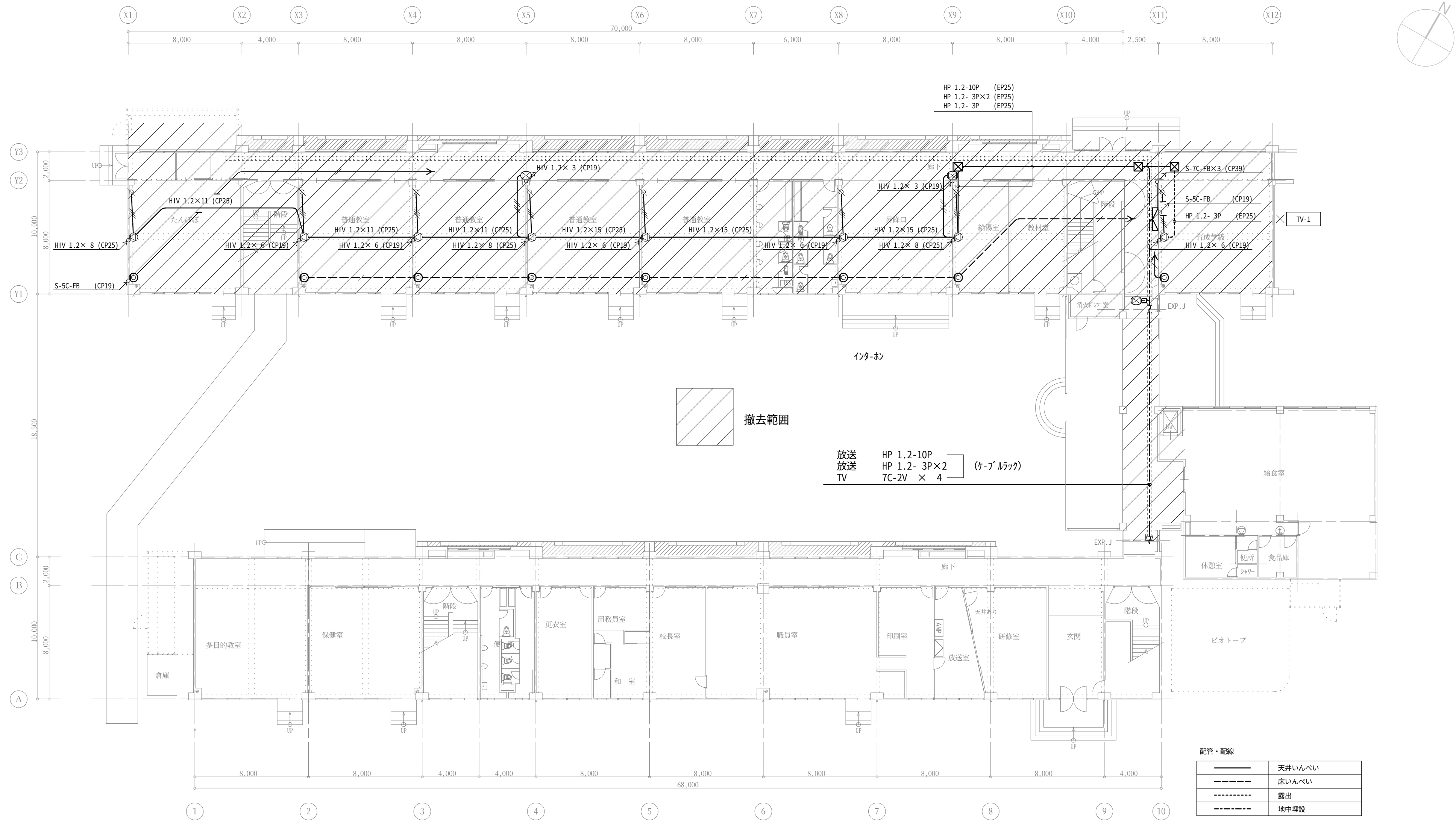


記載なき配管配線は、下記に依る。		
コンセント		
	IV 2.0 × 2	(CP19)
	IV 2.0 × 2 E2.0	(PF16)
	CV 5.5' -2C E2.0	(PF22)
換気		
	EM-EEF 1.6-3C(1E)	(EP19)
	EM-IE 1.6×2	(X9E-IA)
	EM-IE 1.6×4	(X9E-IA)
空調機リモコン		
	EM-CPEES 1.2-2C×1	(X9E-IA)

配管・配線

	天井いんべい
	床いんべい
	露出
	地中埋設
	ラック配線

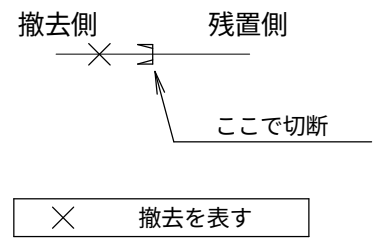
凡 例		電灯盤
		埋込コンセント 2P15A×2
		埋込コンセント 2P15A×2 接地極付
		床埋込コンセント 2P15A×1 接地極付
		丸型露出BOX
		24時間換気スイッチ
		換気扇用J.BOX 新金加付プレート
		空調機リモコン
		空調機リモコン
		空調機リモコン

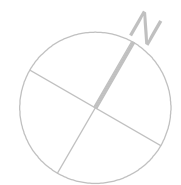


撤去
TV-1 (廊下・通路)

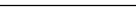
凡 例		弱電用端子盤
		テレビ用アウトレット
		電話用アウトレット
		壁付スピーカー 3W
		壁付スピーカー (両面) 6W
		アッテネータ 3W
		インターホン 12局
		中継ボックス
		新金ガ* -プレート

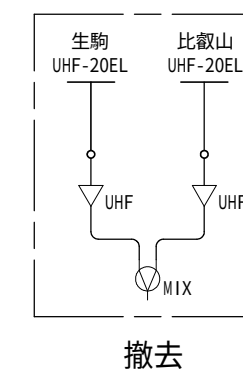
記載なき配管配線は、下記に依る。		
	HIV 1.2 × 2	(CP19)
	HIV 1.2 × 3	(CP19)
	HIV 1.2 × 4	(CP19)
	S-5C-FB	(CP19)
	空配管	(CP19)
二重天井内はころがし配線とする。		



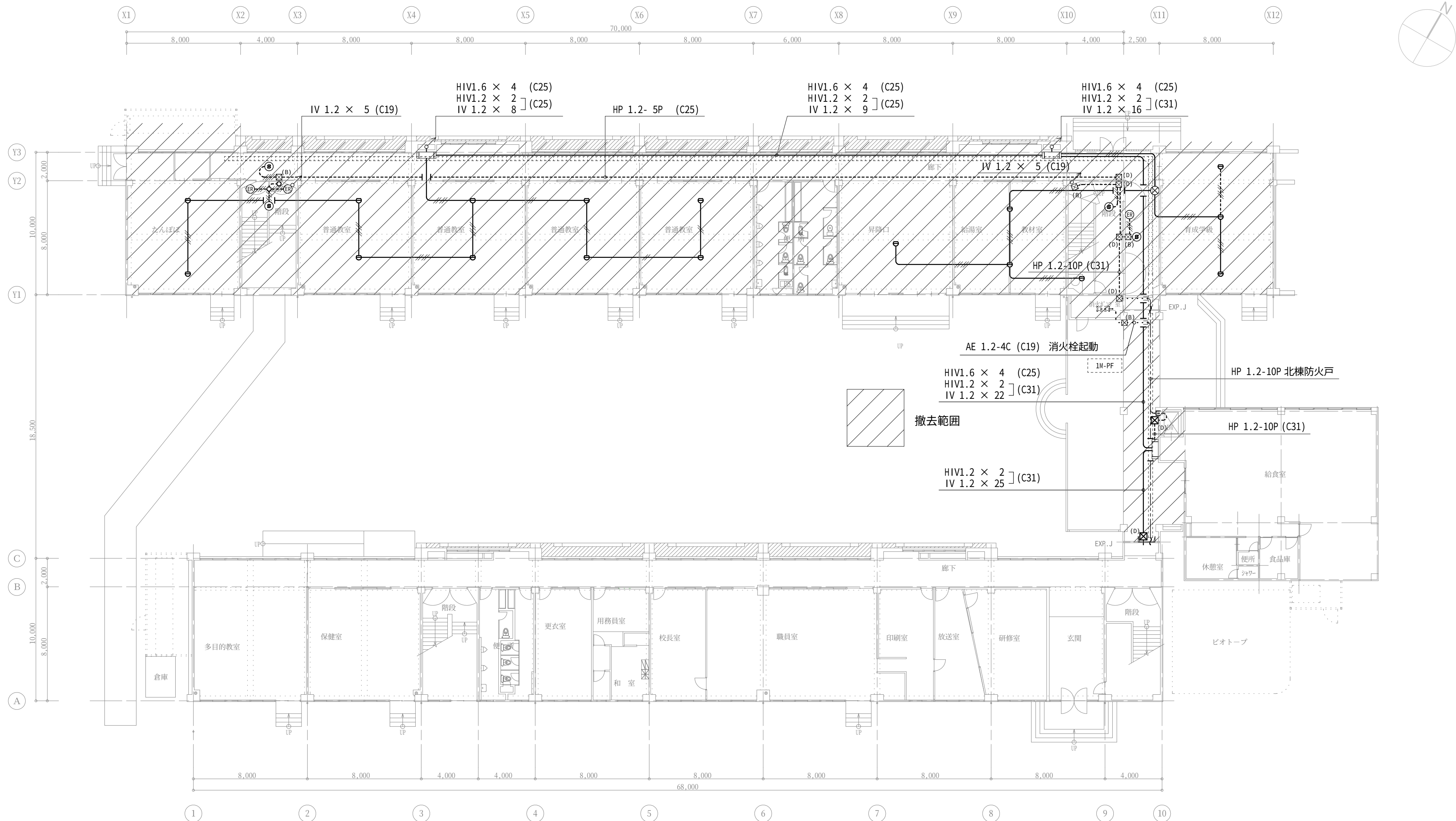


—————	天井いんぺい
-----	床いんぺい
-----	露出
-----	地中埋設
-----	ラック配線

記載なき配管記号は、下記に依る。		
	HIV 1.2 × 2	(CP19)
	HIV 1.2 × 3	(CP19)
	HIV 1.2 × 4	(CP19)
	S-5C-FB	(CP19)
	空配管	(CP19)
二重天井内はこががし配線とする。		



記載なき配管記號は、下記に依る。		
	HIV 1.2 × 2	(CP19)
	HIV 1.2 × 3	(CP19)
	HIV 1.2 × 4	(CP19)
	S-5C-FB	(CP19)
	空配管	(CP19)
二重天井内はころがし配線とする。		

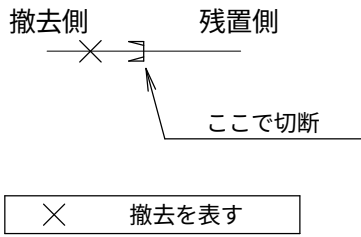


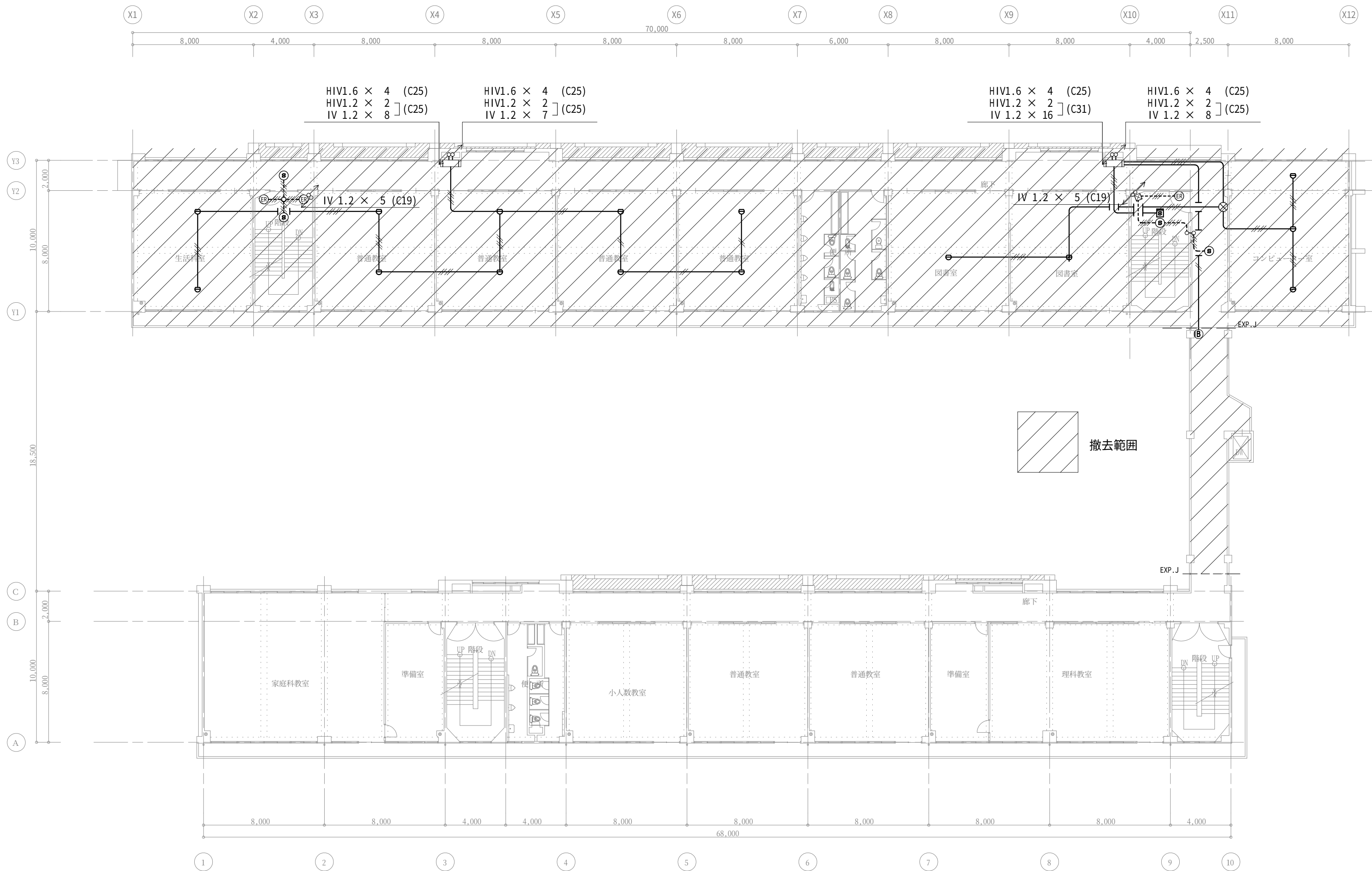
凡 例	☒ (A)	P,BOX SS 150×150×100 SUS	WPIは防水仕様
	☒ (B)	P,BOX SS 150×150×150 SUS	〃
	☒ (C)	P,BOX SS 200×200×100 SUS	〃
	☒ (D)	P,BOX SS 200×200×200 SUS	〃
	☒ (E)	P,BOX SS 300×300×300 SUS	〃

配管・配線	
——	天井いんべい
----	床いんべい
-----	露出
-----	地中埋設
-----	ラック配線

記載なき配管配線は、下記に依る。	
——//——	IV 1.2 × 2 (CP19)
——///——	IV 1.2 × 4 (CP19)
—— ——	HIV 1.6 × 4 (CP25)
——/——	AE 1.2-4C (CP19)

凡 例	☒	複合盤
	☒	総合盤 横 埋込型 ⑧ ⑨ ⑩ 内蔵 屋内消火栓組込
	☒	総合盤 縦 露出型 ⑧ ⑨ ⑩ 内蔵
	⑧	電鈴 150φ DC 24V
	⑨	感知器 差動式スポット 2種
	⑩	感知器 定温式スポット 1種 防水
	⑪	感知器 光電式 煙 2種
	⑫	
	⑬	防火戸自動閉鎖装置
	⑭	感知器 光電式 煙 3種
	⑮	
	⑯	中継・分岐ボックス



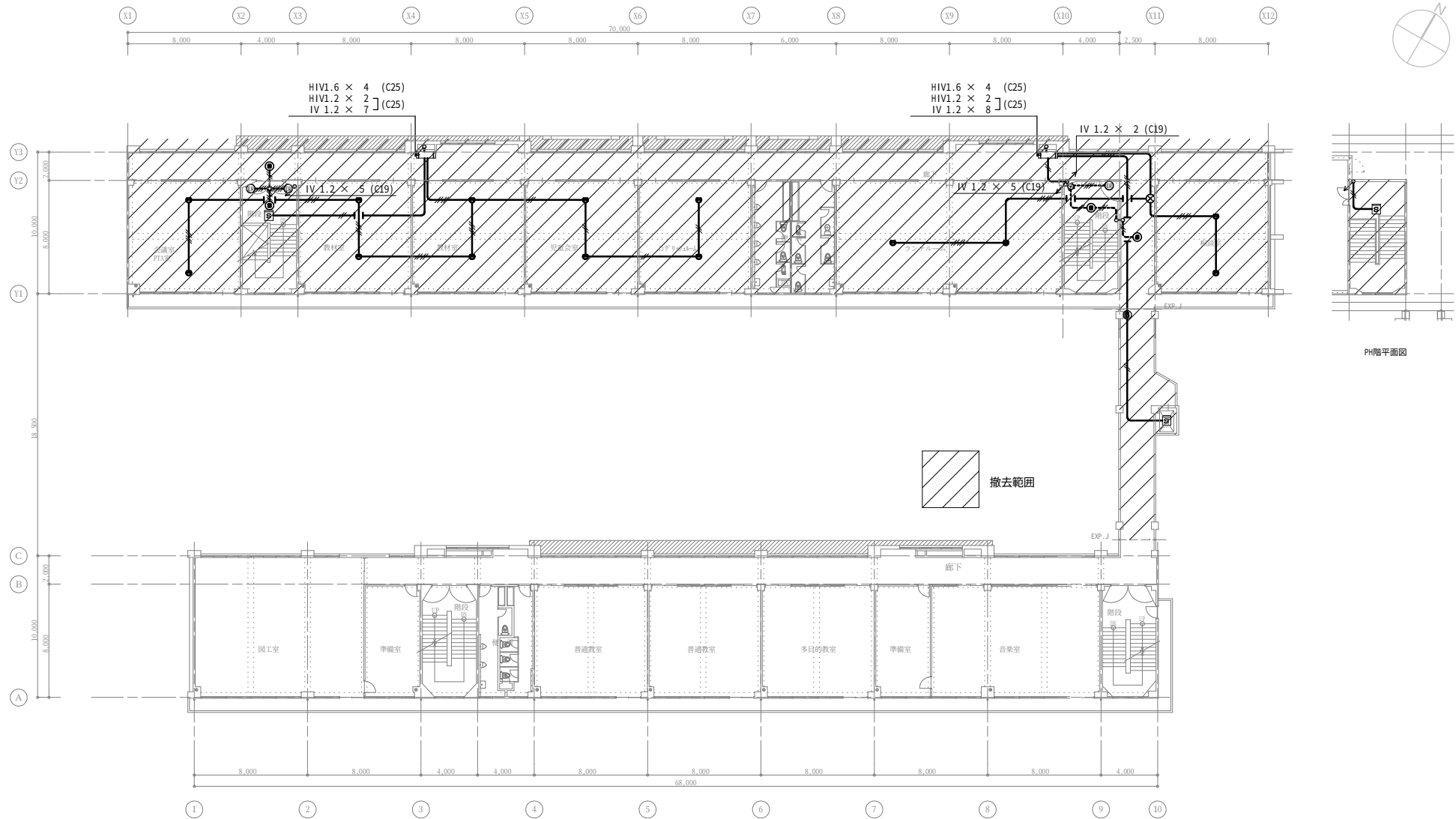


配管・配線

———	天井いんべい
-----	床いんべい
-----	露出
-----	地中埋設
-----	ラック配線

記載なき配管配線は、下記に依る。		
———	IV 1.2 × 2	(CP19)
———	IV 1.2 × 3	(CP19)
———	IV 1.2 × 4	(CP19)
———	IV 1.2 × 5	(CP19)
———	HIV 1.6 × 4	(CP25)
———	AE 1.2-4C	(CP19)

凡例		複合盤
		総合盤 横 埋込型 ⑧ ① ② 内臓 屋内消火栓組込
		総合盤 縦 露出型 ⑧ ① ② 内臓
	⑧	電鈴 150φ DC 24V
		感知器 差動式スポット 2種
		感知器 定温式スポット 1種 防水
		感知器 光電式 煙 2種
	⑧	防火戸自動閉鎖装置
	⑧	感知器 光電式 煙 3種
		中継・分岐ボックス



3階平面図

配管・配線

天井いんべい	
床いんべい	
露出	
地中埋設	
ラック配線	

記載なき配管配線は、下記に依る。

IV 1.2 × 2 (CP19)	
IV 1.2 × 4 (CP19)	
HIV 1.6 × 4 (CP25)	
AE 1.2-4C (CP19)	

凡例	複合盤
凡例	総合盤 横 埋込型 ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ 内蔵 屋内消火栓箱込
凡例	総合盤 縦 露出型 ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ 内蔵
凡例	電鈴 150φ DC 24V
凡例	感知器 差動式スポット 2種
凡例	感知器 定温式スポット 1種 防水
凡例	感知器 光電式 煙 2種
凡例	防火戸自動閉鎖装置
凡例	感知器 光電式 煙 3種
凡例	中継・分岐ボックス



株式会社 木下建築設計事務所
611-0026 宇治市開町37-10
TEL(0774)41-6514 FAX(0774)44-1080

一級建築士登録 第125477号

細野幹生

製図年月日 令和 8. 8.

訂正年月日

監修

設計

製図

工事名称 旧北小倉小学校北校舎ほか解体工事

図面名称 自火報設備 3階平面図

縮尺 1/200

図面番号 E-25 号図

枚ノ内